

2022年度

# 事業報告書

2022年4月01日から

2023年3月31日まで

公益財団法人 日本水泳連盟

## 2022年度 事業報告

<所信>

2022年度は、一昨年度・昨年度と同様に、新型コロナウイルス感染症と向き合いながら、各事業を推進する1年となりました。このような状況下、ご支援ご協力をいただいた協賛スポンサーの皆さま、加盟団体や多くの関係団体の皆さまに対し、心より感謝と御礼を申し上げます。

選手派遣および選手強化事業では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で世界選手権大会（福岡）が再延期となり、その代わりに急遽開催された世界選手権大会（ブダペスト）において、競泳がメダル4個（銀2・銅2）、飛込が21年振りの表彰台となるメダル2個（銀2）、アーティスティックスイミング（AS）が金を含むメダル7個（金2・銀4・銅1）を獲得しました。また、水球男子が過去最高順位となる9位、オープンウォータースイミング（OWS）も2種目で9位となりました。しかしながら、対世界で考えると、まだまだ課題の残る1年でもありました。戦績の評価と分析を通じて、競泳、飛込、水球、AS、OWSの全部門において、今後の競技力向上に生かしてまいります。

競技大会開催事業では、感染予防対策を徹底し、大半の主要大会を大過なく開催することができましたが、第77回国民体育大会（いちご一会栃木国体）・OWS競技が、アオコの発生により競技前日に中止となりましたことは痛恨の極みであり、選手・監督・加盟団体の皆さまに対し、大変申し訳なく思っております。2度とこのような事案が生じぬよう、大会準備の改善を徹底してまいります。

競技条件整備事業では、競技者登録システム「Web-SWMSYS」の安定稼働に注力するとともに、「記録サイト」の機能追加を実施しました。

普及事業では、水泳指導者数の減少対策を講じる取り組みを継続するとともに、「水泳の日」や「泳力検定」を通じて、コロナ禍による水泳離れに歯止めをかけ、水泳ファミリーの拡大に努めました。

組織運営のための共通事業では、「スポーツ団体ガバナンスコード〈中央競技団体向け〉」に基づく役員・評議員の改選準備を進めるとともに、会議や研修会を通じたガバナンスの強化、コンプライアンスの徹底、インテグリティの向上に努めました。

財務面では、諸経費の削減努力に加えてさらなる自主財源の確立に注力し、より積極的かつ組織的なマーケティング活動、公的機関からの助成金および免税募金などにより、コロナ禍による減収を最小限に食い止め、本年度事業への充当財源を確保することができました。

結びに、新型コロナウイルスの感染拡大により、現在もなお、日本の水泳界は予断を許さない状況に置かれています。しかし、このような時だからこそ、水泳関係者の一致団結が何よりも必要なことと強く確信しています。引き続き、一層のご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

2023年 6月 25日

会長 鈴木 大地

## I 競技大会開催事業

2022年度、予定されていた世界選手権大会（福岡）が新型コロナウイルス感染症拡大の影響で再延期された。その後、ハンガリー・ブダペストで6月に世界選手権が代替開催されることやジュニアパンパシフィック選手権大会の選手選考などを踏まえて、日本選手権（競泳）の日程・会場が変更になった。

一方で、昨年度は中止となった国民体育大会も含め、全国規模の競技会が万全の感染予防策を立てた上で実施できたことは大きな成果であった。それぞれの競技において、本連盟本部役員、競技委員会委員、開催地の実行委員会、加盟団体競技役員が連携して競技運営に当たり、大会を成功に導くことができた。参加された全ての選手の健闘をたたえとともに、関係各位のご協力に心から感謝申し上げます。

### 1. 国内競技開催事業

2022年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図りながら、競技大会を実施することができた。第98回日本選手権水泳競技大会競泳競技は、日程を変更して4月28日から4日間、会場を横浜国際プールに移して実施された。2021年度は中止となった国民体育大会も3年ぶりに栃木県において開催された。しかし、残念ながらOWSは競技会場である調整池の水質悪化により中止となった。

第62回全国中学校水泳競技大会は、2022年3月に発生した福島県沖地震の被害により、セントラルスポーツ宮城G21プールの天井が一部崩落し、メインプールでの大会開催が不可能となった。中止も検討されたが、関係各位のご尽力により、競泳競技は同施設のサブプール（25m）で、飛込競技は盛岡市で開催することができた。

各大会の開催に当たっては、主管・共催団体との連絡調整を緊密に行い、企画・立案・運営・予算管理を徹底し、準備から大会終了までを統括した。感染予防対策に万全を期し、「安全で安心な水泳競技会」を目指し、選手が自己の持てる力を最大限発揮できる競技会を実現することができた。

また長年、国内水泳競技の中心会場として、様々な競技会を開催してきた東京辰巳国際水泳場が、3月の第45回全国JOCジュニアオリンピック春季大会を最後に、その歴史に幕を閉じ、新たな施設へと転換することとなった。これまで数多くのスイマーの活躍と数々の名勝負の舞台となった東京辰巳国際水泳場に心から感謝したい。

大会名	開催日程	会場	参加者数
第98回日本選手権水泳競技大会（競泳競技）	4月28日(木)～ 5月1日(日)	神奈川県 横浜国際プール	参加団体 231 男子350／女子265
第98回日本選手権水泳競技大会(AS競技)	5月1日(日)～ 3日(火)	東京都 東京辰巳国際水泳場	参加団体 19 男子10／女子215
OWSオーシャンズカップ2022	6月12日(日)	千葉県 館山市北条海岸	参加団体 47 男子101／女子56
第67回日本大学・中央大学対抗水泳競技大会	7月2日(土)	東京都 東京辰巳国際水泳場	参加団体 2 男子112／女子17
第94回早慶対抗水上競技大会	7月3日(日)	東京都 東京辰巳国際水泳場	参加団体 3 男子19／女子74

第98回日本選手権水泳競技大会 (飛込競技)	8月5日(金)～ 7日(日)	栃木県 日環アリーナ栃木	参加団体 48 男子36/女子42
日本ASチャレンジカップ2022	8月10日(水)～ 12日(金)	東京都 東京辰巳国際水泳場	参加団体 28+JAPANJr 男子10/女子289
第69回全国国公立大学選手権水泳競技大会	8月10日(水)～ 12日(金)	石川県 金沢プール	参加団体 83 男子546/女子322
第90回日本高等学校選手権水泳競技大会 (競泳競技)	8月15日(月)～ 18日(木)	高知県 くろしおアリーナ	参加団体 364 男子844/女子756
(飛込競技)	8月17日(水)～ 20日(土)	高知県 県立春野総合運動公園	参加団体 55 男子42/女子62
(水球競技)	8月20日(土)～ 23日(火)	高知県 くろしおアリーナ	参加団体 20 男子245
第62回全国中学校水泳競技大会 (競泳競技)	8月17日(水)～ 19日(金)	宮城県 セントラルスポーツ宮城G21プール 短水路	参加団体 423 男子250/女子225
(飛込競技)	8月17日(水)～ 18日(木)	岩手県 盛岡市立総合プール	参加団体 39 男子21/女子19
第45回全国JOCジュニアオリンピックカップ 夏季水泳競技大会 (競泳競技)	8月22日(月)～ 26日(金)	東京都 東京辰巳国際水泳場	参加団体 710 男子1,213 女子1,166
(飛込競技)	8月21日(日)～ 25日(木)	大阪府 丸善インテックプール	参加団体 52 男子58/女子78
(水球競技)	8月22日(月)～ 26日(金)	京都府 京都アクアリーナ	参加団体 80 男子554/女子421
(AS競技)	8月22日(月)～ 25日(木)	神奈川県 横浜国際プール	参加団体 28 男子10/女子354
第98回日本学生選手権水泳競技大会 (競泳競技)	8月28日(日)～ 31日(水)	東京都 東京辰巳国際水泳場	参加団体 92 男子800/女子481
(飛込競技)	9月3日(土)・ 4日(日)	大阪府 丸善インテックプール	参加団体 17 男子13/女子19
(水球競技)	8月30日(火)～ 9月1日(木)	神奈川県 横浜国際プール	参加団体 21 男子294/女子97
(AS競技) 第11回マーメイドカップ	9月4日(日)	神奈川県 横浜国際プール	参加団体 20 男子2/女子36
日本スポーツマスターズ2022	9月3日(土)・ 4日(日)	岩手県 盛岡市立総合プール	参加団体 38 男子372/女子187
第77回国民体育大会水泳競技大会 (競泳競技)	9月17日(土)～ 19日(月)	栃木県 日環アリーナ栃木	参加団体 47 男子580/女子442
(飛込競技)	9月13日(火)～ 15日(木)	栃木県 日環アリーナ栃木	参加団体 32 男子37/女子41

(水球競技)	9月10日(土)～ 13日(火)	栃木県 県立温水プール館	参加団体 男子16/女子12 男子174/女子127
(AS競技)	9月11日(日)	栃木県 日環アリーナ栃木	参加団体 19 女子38
(OWS競技)	9月10日(土)	栃木県市貝町 塩田調整池特設会場	中止 申込46団体 男子43/女子42
日本選手権最終予選会 (水球競技)	9月23日(金)～ 25日(日)	静岡県 浜松市総合水泳場	参加団体 28 男子201/女子179
第39回日本マスターズ水泳選手権大会	9月28日(水)～ 10月2日(日)	大阪府 丸善インテックプール	参加団体 993 男子1,766 女子1,476
第98回日本選手権水泳競技大会 (水球競技)	10月7日(金)・ 10月9日(日)	東京都 東京辰巳国際水泳場	参加団体 16 男子115/女子116
第98回日本選手権水泳競技大会 (OWS競技)	10月15日(土)・ 16日(日)	千葉県 館山市北条海岸	参加団体 89 男子85/女子58
第64回日本選手権水泳競技大会 (25m)	10月22日(土)・ 23日(日)	東京都 東京辰巳国際水泳場	参加団体 229 男子292/女子240
第5回日本社会人選手権水泳競技大会	11月5日(土)・ 6日(日)	佐賀県 SAGAアクア	参加団体 202 男子447/女子96
ジャパンオープン2022 (50m)	12月1日(木)～ 4日(日)	東京都 東京辰巳国際水泳場	参加団体 330 男子469/女子394
第15回全日本ユース (U15) 水球選手権大会 (桃太郎カップ)	12月24日(土)～ 27日(火)	岡山県 倉敷市屋内水泳センター 児島マリンプール	参加団体 24 男子182/女子152
第26回13-15歳ソロ・デュエット大会	1月28日(土)	東京都 東京辰巳国際水泳場	参加団体 18 女子62
ASナショナルトライアル2023	1月29日(日)	東京都 東京辰巳国際水泳場	参加団体 18 女子110
第9回全日本ジュニア (U17) 水球競技選手権大会 (かしわざき潮風カップ)	3月18日(土)～ 21日(火)	新潟県 県立柏崎アクアパーク	参加団体 28 男子201/女子145
第45全国JOCジュニアオリンピックカップ 春季水泳競技大会 (競泳競技)	3月27日(月)～ 30日(木)	東京都 東京辰巳国際水泳場	参加団体 784 男子1,542 女子1,342
(飛込競技)	3月25日(土)・ 26日(日)	東京都 東京辰巳国際水泳場	参加団体 20 男子17/女子28
(水球競技)	3月26日(日)～ 30日(木)	千葉県 千葉県国際総合水泳場	参加団体 64 男子552/女子216

## 2. 国際競技開催事業

5月に福岡市で開催予定であった第19回世界選手権大会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により再度延期となった。その後ハンガリー・ブダペストでの開催が決定し、福岡大会は2023年7月に第20回大会として改めて実施されることとなった。

### 3. 競技委員会事業

#### (1) マーケティング事業

コロナ禍の影響でマーケティング対象大会が無観客開催になるなどしたが、協賛金額の大幅な減額などは無く、継続的なご支援をいただいた。オフィシャルスポンサー、オフィシャルパートナー、オフィシャルサプライヤーをはじめ、協賛各社に心より感謝したい。

#### (2) 競技事業

全国大会の開催に当たっては、各大会の開催地、加盟団体、(公財)日本スポーツ協会(JSPO)、(公財)全国高等学校体育連盟、(公財)日本中学校体育連盟などと連絡調整を図りながら、徹底した感染予防策を講じた。全参加者に健康チェックシートの提出義務付け、マスク・フェイスシールドの着用、招集所や控え場所などでの選手間の距離確保、インタビュー方式の変更、消毒作業の実施やアルコール消毒液の設置等々を徹底して行った。その結果、感染者を最小に抑えて実施することができた。全国競技委員長会議は、4月10日にJapan Sport Olympic Squareからリモート会議形式で開催した。全国大会開催地への競技会指導を実施し、会場レイアウトから選手動線、競技役員動きに至るまで実地で指導を行った。

#### (3) 学生競技会事業

第69回全国国公立大学選手権大会は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、大会当日に感染者が出るなど大変厳しい大会運営となった。本年度も監督者会議日にメドレーリレーを実施し、選手の負担を軽くした。

第98回日本学生選手権水泳競技大会(インカレ)は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図りながら従来の大会に近づけることを目標に、参加人数の削減なし、シート校席の設置、マッサージエリアの確保、保護者・OBOG・大学関係者の一部入場許可を行った。声を出しての応援はできなかったが、拍手やスティックバルーンなどでの応援で選手たちを後押しすることができた。

ドーピング違反の再発防止のための「学生向けアンチ・ドーピング講習会」も各支部にてリモートで実施した。

世界選手権大会(福岡)の成功に向けて、学生の競技役員養成を継続する。

## II 競技条件整備事業

### 1. 競技者登録事業

水泳競技大会への参加者および記録を管理するため、競技者（選手、団体）の登録管理の安定化を図る事業を推進した。Web-SWMSYS は、2019 年度のサーバー移行に伴い、年間を通じて安定稼働した。Web-SWMSYS の稼働開始から 10 数年が経過し、今後、性能の低下、セキュリティリスクなどさまざまなリスクが発生する可能性があるため、Web-SWMSYS の刷新へ向けたシステムの見直しを行った。

### 2. 競技規則制定事業

2022 年 10 月、AQUA（当時 FINA）の「Technical Congress」において AQUA 競技規則の改定が行われ、2023 年 1 月 1 日から新たな国際規則が施行された。2 月 1 日付でさらなる規則改定が行われ、規則全体の構成や規則の名称なども含めた全面的な改定が実施された。

国内においては、各競技の AQUA 規則の邦訳、新たな国内規則の制定作業を進め、3 月 26 日の臨時評議員会で承認された。

### 3. 競技役員養成・登録事業

公認競技役員・審判員養成のためのブロック研修会ならびに加盟団体主催の講習会は、リモート形式や会場を工夫するなどして、全て予定どおり実施できた。また、本連盟の主催大会における加盟団体競技委員長などの実技研修も 3 年ぶりに実施できた。競泳では、4 月の日本選手権、10 月の日本選手権（25m）、12 月のジャパンオープンの 3 大会に、全国各都道府県から 68 名が競技役員として参加した。参加者が最新の運営方法について研修し、各加盟団体に持ち帰ることで、全国で共通した競技会運営が浸透する一助となった。今後も、競技役員資格取得者数を維持して、本連盟の方針や競技会運営の方法を全国各地に浸透させるための取り組みを継続する。

### 4. 競技記録公認・管理事業

#### （競技結果公認報告）

競技者の競技結果を公認し、管理する事業を行った。加盟団体の協力により、3 日以内の結果報告は定着しつつある。

#### （超速システム）

運用実施率の向上に取り組み、半数以上の加盟団体で実施された。

超速システムの老朽化に伴い、刷新へ向けたシステムの見直しを行った。

#### （記録管理）

構築した記録報告サイトを活用し、公認大会競技結果の記録管理および記録報告システムの安定化を推進した。

## 5. 施設用具公認事業

(1) 競技場であるプールおよび競技に係る施設用具に関して、公認規則に基づき検査を行い、公認する事業を行った。

公認プール	50m	25m	飛込	水球	標準
新規	0件	0件	0件	0件	0件
再公認	28件	44件	8件	0件	0件

(2) 「水泳および水泳競技に使用される用器具類やシステム等の公認・推薦規程」に基づく推薦商品認定を行った。

新規公認企業	0 企業	0 商品
新規推薦企業	1 企業	1 商品

## 6. アンチ・ドーピング事業

<主催・主管大会でのドーピング検査事業>

(公財) 日本アンチ・ドーピング機構 (JADA) と連携し、主催大会においてドーピング検査 (競技会検査) を実施し、選手の権利を守る立場である NF 代表役員をドーピング検査会場に派遣した。

競技会名 (検査日)		NF 代表役員	スポーツ ファーマシスト
競 泳	日本選手権 (4/28~5/1)	内田、福田、元島、清水、上原、浅	派遣無し
A S	日本選手権 (5/3)	半谷、坂口	派遣無し
飛 込	日本選手権 (8/6)	上原、塚越、大谷	派遣無し
競 泳	日本学生選手権 (8/29~31)	内田、元島、黒木、半谷、上原、福	派遣無し
栃木国体	競泳 (9/17~19)	辰村、塚越、深谷	派遣無し
水 球	日本選手権 (10/9)	清水、藤森	派遣無し
OWS	日本選手権 (10/15)	上原、嶋田	派遣無し
競 泳	日本選手権(25m) (10/22~23)	塚越、深谷、坂口	派遣無し

対象者：ドーピング検査は JADA の指示による指定や抽選で対象選手を決定し検査が行われた。

<その他の事業>

(1) ホームページ (HP) 掲載資料作成、薬の治療目的使用に係る除外措置 (TUE) 書類審査

- ・本連盟 HP および競技会掲載用のアンチ・ドーピング資料の作成をした。  
全国大会出場レベル選手から国際大会出場レベル選手向けの内容とした。
- ・JADA から通達のあった連絡事項を本連盟 HP にも掲載し、注意喚起を行った。
- ・選手より届いた TUE 申請の書類チェック、および ITA、JADA への提出・確認を行った。

(2) 強化合宿・研修会などへの講師派遣

- ・連盟強化合宿中やコーチ研修会にて、オンラインでのアンチ・ドーピング講習会を行った。



期日	催事名称	場所	担当者	担当者所属
2022/4/9	水球女子日本代表オンライン研修会	オンライン	杉山 純也	浜松市リハビリテーション病院
12月～3月	公認水泳コーチ3・コーチ4研修会	オンライン (e-learning)	大友謙太郎	医療法人鉄蕉会 亀田クリニック薬剤室
11月中	公認水泳コーチ4養成講習会	オンライン	村田 大樹	新潟県立中央病院
2023/1/14	OWS 日本代表オンライン研修会	オンライン	村田 大樹	新潟県立中央病院

(3) 競技会相談担当スポーツファーマシスト派遣

- ・例年、出場選手・コーチ向けに薬の使用についての相談ブースの設置、スポーツファーマシスト派遣をドーピング検査実施競技会において実施していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点により、2021年度に引き続き、設置、派遣は行わなかった。

(4) JADA 会議への国内競技団体 (NF) 代表役員としての参加

- ・年数回開催される JADA の連絡会議およびシンポジウム (オンライン開催) などに参加し、最新情報を収集した。

(5) 競技会におけるアンチ・ドーピング啓発活動 (アウトリーチプログラムの実施)

- ・全国 JOC ジュニアオリンピックカップ水泳競技大会での本連盟主体のアウトリーチプログラムは、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により中止となった。

(6) 学術活動

- ・水と医学研究会誌23巻に総説「コロナ禍における FINA 飛込ワールドカップ2021でのドーピング検査体制の記録～世界水泳選手権2022福岡大会に向けたアンチ・ドーピング～」を寄稿し、ドーピング検査実施体制に関する知見を集積した。

(7) JSPO 公認水泳コーチ研修会にて

- ・アンチ・ドーピング活動に関する講義を行い、コーチに対する啓発活動を行った。

(8) スポーツファーマシストによる医薬品相談・ホットライン体制

- ・本連盟独自に、本連盟 HP 上で医薬品使用可否に関する相談対応を実施した。
- ・競技会の中止が相次いだ2020年に相談件数が減ったが、その後は漸増傾向となり、年間200件弱の問い合わせに対応している。

(9) JADA 承認 Educator 候補者

- ・2023年度以降、アンチ・ドーピング講習の担当講師は JADA 承認 Educator である必要があり、アンチ・ドーピング委員会から承認 Educator 候補者を輩出し、事前 e-learning を受講した。

### Ⅲ 選手派遣事業

本年度も新型コロナウイルス感染症拡大による大きな影響を受け、世界選手権大会（福岡）、ワールドユニバーシティゲームズ、アジア大会などが延期となった。しかし、そのような状況ながらも、世界選手権大会（ブダペスト）が代替開催されるなど徐々に国際大会も実施されるようになり、コロナ禍と共存しながら強化の足を止めない一年となった。国際大会を経験できたことにより、パリオリンピック（2024年）に向けた強化戦略プランを見直し、修正し、各派遣の目標・目的を明確にし、変則的ではあったがオリンピックの中間年としての強化・選手派遣を実施することができた。

#### 1. JOC 事業

##### (1) 第19回アジア競技大会

① 期間・場所 2022年9月10日～9月25日 中国・杭州 延期

##### (2) FISU ワールドユニバーシティゲームズ

① 期間・場所 2022年6月26日～7月7日 中国・成都 延期

#### 2. 本連盟派遣事業（主要大会）

##### (1) 世界選手権大会

① 期間・場所 2022年6月17日～7月3日 ハンガリー・ブダペスト

##### ② 競技種目・日程

(ア) 競泳 6月18日～6月25日

(イ) 飛込 6月26日～7月3日

(ウ) 水球 6月20日～7月3日

(エ) AS 6月17日～6月25日

(オ) OWS 6月26日～6月30日

##### ③ 選手団編成

	役員	選手			合計
		男子	女子	計	
本部	4	—	—	—	4
競泳	14	8	10	18	32
飛込	4	4	5	9	13
水球	4	13	0	13	17
AS	7	1	12	13	20
OWS	4	3	4	7	11
合計	37	29	31	60	97

##### 【本部】

役員 団長 坂元 要  
総監督 村松 さやか  
ドクター 坂口 健史 南條 成輝

##### 【競泳】

役員 監督 梅原 孝之  
 コーチ 平井 伯昌 萱原 茂樹 石松 正考 茅原 直人  
 下山 好充 塚田 陽一 藤森 善弘  
 トレーナー 杉本 啓 藤田 敬 松浦 由生子  
 分析 林 勇樹  
 総務 草薙 あゆ美 遠藤 百茄  
 選手 男子 松元 克央 入江 陵介 武良 竜也 花車 優  
 水沼 尚輝 本多 灯 寺田 拓未 瀬戸 大也  
 女子 難波 実夢 小堀 倭加 青木 玲緒樹 林 希菜  
 水口 知保 大本 里佳 谷川 亜華葉 大橋 悠依  
 増田 葵 吉井 萌萌花

【飛込】

役員 ヘッドコーチ 安田 千万樹  
 コーチ 馬淵 崇英 松本 行夫  
 トレーナー 桐山 大輔  
 選手 男子 玉井 陸斗 大久保 終 坂井 丞 須山 晴貴  
 女子 三上 紗也可 榎本 遼香 金戸 凜 板橋 美波  
 荒井 祭里

【水球】

役員 ヘッドコーチ 塩田 義法  
 コーチ 長沼 敦 筈井 翔太  
 トレーナー 高橋 利一  
 選手 男子 棚村 克行 足立 聖弥 荻原 大地 渡邊 太陽  
 伊達 清武 鈴木 透生 眞板 悠貴 高田 充  
 荒井 陸 稲場 悠介 大川 慶悟 荒木 健太  
 福島 丈貴

【AS】

役員 チームリーダー 滝田 理砂子  
 ヘッドコーチ 中島 貴子  
 コーチ 片山 満津芳 酒井 麻里子 井村 雅代  
 トレーナー 大辻 裕樹 吉岡 大翼  
 選手 女子 乾 友紀子 吉田 萌 安永 真白 佐藤 友花  
 木島 萌香 比嘉 もえ 柳澤 明希 藤井 萌夏  
 吉田 理恵 鈴木 ひかり 細川 朝香 川瀬 由華  
 男子 佐藤 陽太郎

【OWS】

役員 ヘッドコーチ 藤森 善弘  
 コーチ 中條 和之 吉田 龍平  
 トレーナー 及川 広太  
 選手 男子 南出 大伸 野中 大暉 古畑 海生  
 女子 蝦名 愛梨 藤 優実 加藤 はなの 森山 幸美

④ 成績

(ア)競泳

6月18日～6月25日

男子	種目	予/決	ベストタイム	記録	順位	ベスト	備考
松元克央	男子 100m 自由形	予選	00:48.37	00:48.83	23		IN-C
	男子 200m 自由形	予選	01:44.65	01:46.72	10		IN-C
		準決勝		01:46.63	12		IN-C
	男子 100m バタフライ	予選	00:51.18	00:51.78	11		IN-C

		準決勝		00:51.57	13		IN-C
入江陵介	男子 50m 背泳ぎ	予選	00:24.79	00:24.85	8		
		男子 100m 背泳ぎ	予選	00:52.24	00:53.16	2	
		準決勝		00:52.85	7		IN-B
		決勝		00:52.83	7		IN-B
武良竜也	男子 100m 平泳ぎ	予選	00:59.31	00:59.90	7		IN-C
		準決勝		00:59.64	10		IN-C
	男子 200m 平泳ぎ	予選	02:07.58	02:10.20	8		
		準決勝		02:09.69	8		IN-C
	決勝		02:08.86	4		IN-C	
花車優	男子 200m 平泳ぎ	予選	02:07.99	02:09.86	6		IN-C
		準決勝		02:08.75	3		IN-C
		決勝		02:08.38	2		IN-C
水沼尚輝	男子 50m バタフライ	予選	00:23.32	00:23.60	20		
	男子 100m バタフライ	予選	00:50.86	00:51.46	5		IN-C
		準決勝		00:50.81	2	ベスト	IN-B/ 日本新
		決勝		00:50.94	2		IN-B
本多灯	男子 200m バタフライ	予選	01:53.53	01:54.92	3		IN-B
		準決勝		01:54.01	2		IN-A
		決勝		01:53.61	3		IN-A
	男子 400m 個人メドレー	予選	04:10.75	04:12.24	6		IN-B
		決勝		04:12.20	7		IN-B
寺田拓未	男子 200m バタフライ	予選	01:55.21	01:56.70	15		
		準決勝		01:56.07	13		IN-C
瀬戸大也	男子 200m 個人メドレー	予選	01:55.98	01:58.29	3		IN-C
		準決勝		01:56.74	3		IN-B
		決勝		01:56.22	3		IN-B
	男子 400m 個人メドレー	予選	04:06.09	04:10.51	4		IN-B
		決勝		04:11.93	6		IN-B

女子	種目	予/決	ベストタイム	記録	順位	ベスト	備考
難波実夢	女子 400m 自由形	予選	04:05.25	04:08.07	9		IN-C
	女子 800m 自由形	予選	08:26.61	08:32.91	10		
	女子 1500m 自由形	予選	16:12.97	16:20.45	10		IN-C
小堀倭加	女子 400m 自由形	予選	04:05.57	04:08.55	11		IN-C
青木玲緒樹	女子 50m 平泳ぎ	予選	00:30.27	00:30.80	12		
		準決勝		00:30.71	11		
	女子 100m 平泳ぎ	予選	01:05.19	01:07.35	16		IN-C
		準決勝		01:06.07	5		IN-B
	決勝		01:06.38	5		IN-C	
林希菜	女子 200m バタフライ	予選	02:06.41	02:08.63	3		IN-C
		準決勝		02:08.32	9		IN-C
水口知保	女子 200m バタフライ	予選	02:08.22	02:11.65	16		
		準決勝		02:12.54	16		
大本里佳	女子 50m 自由形	予選	00:24.75	00:25.38	18		
	女子 200m 個人メドレー	予選	02:08.64	02:11.28	14		IN-C
		準決勝		02:10.65	7		IN-C
	決勝		02:10.01	4		IN-B	
谷川亜華葉	女子 400m 個人メドレー	予選	04:36.45	04:40.70	8		IN-C
		決勝		04:44.28	8		
大橋悠依	女子 200m 個人メドレー	予選	02:07.91	02:12.22	8		
		準決勝		02:12.05	13		IN-C

	女子 400m 個人メドレー	予選	04:30.82	04:39.52	6		IN-C
		決勝		04:37.99	5		IN-C
日本	男子 4x100m メドレーリレー	予選	03:29.91	03:34.17	9		入江・武良 水沼・松元
日本	女子 4x200m フリーリレー	予選	07:48.96	07:58.67	7		吉井・難波
		決勝		08:00.03	8		増田・小堀
日本	混合 4x100m メドレーリレー	予選	03:40.98	03:45.08	6		入江・青木
		決勝		03:45.28	7		水沼・大本

(イ)飛込 6月26日～7月3日

種目名	出場者名	参加チーム	予選順位	得点	準決勝順位	得点	決勝順位	得点
男子高飛込	大久保柁	39	12位	381.10	12位	373.75	12位	370.25
	玉井陸斗		3位	455.50	3位	471.95	2位	488.00
男子 3 m 飛板飛込	坂井 丞	55	5位	401.95	12位	360.95	6位	424.00
	須山晴貴		18位	364.45	9位	392.75	12位	344.90
男子 1 m 飛板飛込	玉井陸斗	48	5位	366.70			11位	326.60
女子高飛込	板橋美波	33	21位	239.75				
	荒井祭里		17位	270.60	5位	316.7	6位	307.00
女子 3m 飛板飛込	榎本遼香	38	14位	273.45	10位	280.9	10位	281.05
	三上紗也可		6位	298.65	6位	297.5	7位	294.20
女子 3 m シンクロ	三上紗也可	13	5位	275.10			2位	303.00
	金戸凜							
女子高飛込シンクロ	板橋美波	9	4位	275.46			4位	297.84
	荒井祭里							
3m ミックスシンクロ	須山晴貴	13					9位	266.46
	榎本遼香							

(ウ)水球男子 6月20日～7月3日

【男子】日本戦の結果				最終順位				
日本	13	—	12	ドイツ	1位	スペイン	7位	ハンガリー
日本	7	—	18	ギリシャ	2位	イタリア	8位	モンテネグロ
日本	13	—	21	クロアチア	3位	ギリシャ	9位	日本
日本	9	—	10	モンテネグロ	4位	クロアチア		
日本	15	—	7	オーストラリア	5位	セルビア		
日本	16	—	15	ジョージア	6位	アメリカ		

(エ)AS 6月17日～6月25日

ソロ テクニカル決勝

NOC	Name	Execution	Impression	Elements	得点
1 日本	乾 友紀子	28.2000	28.2000	36.4662	92.8662
2 ウクライナ	FIEDINA Marta	27.9000	28.2000	35.8555	91.9555
3 ギリシャ	PLATANIOTI Evangelia	27.4000	27.2000	34.9110	89.5110
4 イタリア	CERRUTI Linda	27.1000	27.2000	34.7142	89.0142

5	オーストリア	ALEXANDRI Vasiliki	26.8000	26.6000	35.5841	88.9841
6	アメリカ	ALVAREZ Anita	26.2000	26.2000	33.8807	86.2807
7	イギリス	SHORTMAN Kate	25.6000	25.8000	33.7632	85.1632
8	メキシコ	JIMENEZ GARCIA J.	25.4000	25.3000	33.1394	83.8394

ソロ フリー決勝

	NOC	Name	Execution	Artistic Impression	Difficulty	得点
1	日本	乾 友紀子	28.6000	38.2667	28.5000	95.3667
2	ウクライナ	FIEDINA Marta	28.2000	37.6000	28.0000	93.8000
3	ギリシャ	PLATANIOTI Evangelia	27.4000	37.0667	27.3000	91.7667
4	イタリア	CERRUTI Linda	27.3000	36.6667	27.0000	90.9667
5	オーストリア	ALEXANDRI Vasiliki	26.6000	36.1333	27.4000	90.1333
6	スペイン	TIO CASAS Iris	26.9000	36.0000	26.8000	89.7000
7	アメリカ	ALVAREZ Anita	26.3000	34.9333	26.4000	87.6333
8	フランス	PLANEIX Eve	26.3000	35.0667	26.1000	87.4667

デュエット テクニカル決勝

	NOC	Name	Execution	Impression	Elements	得点
1	中国	WANG Liuyi WANG Liuyi	28.2000	28.4000	37.1536	93.7536
2	ウクライナ	ALEKSIIVA Maryna ALEKSIIVA V. ALEXANDRI Anna-	27.7000	27.9000	36.2617	91.8617
3	オーストリア	Maria ALEXANDRI Eirini	27.7000	27.5000	36.0622	91.2622
4	日本	吉田 萌 比嘉 もえ	27.0000	27.3000	35.6444	89.9444
5	イタリア	CERRUTI Linda FERRO Costanza	27.2000	27.1000	35.5733	89.8733
6	メキシコ	DIOSDADO GARCIA N. JIMENEZ GARCIA J.	26.4000	26.6000	34.1936	87.1936
7	アメリカ	ALVAREZ Anita FIELD Megumi	25.9000	26.3000	34.2262	86.4262
8	オランダ	de BROUWER Bregie STEENBEEK Marloes	26.1000	26.2000	33.8420	86.1420

ミックスデュエット テクニカル決勝

	NOC	Name	Execution	Impression	Elements	得点
1	イタリア	MINISINI Giorgio RUGGIERO Lucrezia	27.3000	27.1000	34.8685	89.2685
2	日本	佐藤友花 佐藤陽太郎	26.4000	26.6000	33.5939	86.5939
3	中国	SHI Haoyu ZHANG Yayi	26.2000	26.3000	33.9425	86.4425
4	スペイン	GARCIA Emma RIBES Pau	25.2000	25.7000	33.5829	84.4829
5	アメリカ	COLETTI Claudia GAUDET Kenneth	25.0000	25.0000	32.8966	82.8966

6	コロンビア	CERQUERA HATIUSCA SANCHEZ Gustavo	24.2000	24.9000	32.1272	81.2272
7	カザフスタン	KIM Eduard YAKIMOVA Zhaklin	23.7000	23.9000	31.6599	79.2599
8	メキシコ	BENAVIDES LEPE J. MEZA RODRIGUEZ T.	23.3000	23.5000	30.7890	77.5890

ミックスデュエット フリー決勝

	NOC	Name	Execution	Artistic Impression	Difficulty	得点
1	イタリア	MINISINI Giorgio RUGGIERO Lucrezia	27.2000	36.6667	27.1000	90.9667
2	日本	佐藤友花 佐藤陽太郎	26.8000	36.1333	26.8000	89.7333
3	中国	SHI Haoyu ZHANG Yayi	26.7000	35.2000	36.5000	88.4000
4	スペイン	GARCIA Emma RIBES Pau	25.9000	35.3333	25.9000	87.1333
5	アメリカ	COLETTI Claudia GAUDET Kenneth	25.6000	34.4000	25.2000	85.2000
6	コロンビア	CERQUERA HATIUSCA SANCHEZ Gustavo	24.7000	33.4667	24.9000	83.0667
7	カザフスタン	KIM Eduard YAKIMOVA Zhaklin	24.6000	33.2000	24.5000	82.3000
8	ブラジル	FERREIRA Fabiano REGLY Gabriela	23.2000	31.8667	23.7000	78.7667

チーム テクニカル決勝

	NOC	Name	Execution	Impression	Elements	得点
1	中国		28.7000	28.6000	37.4202	94.7202
2	日本	吉田、安永、佐藤、木島、比嘉、 柳澤、藤井、吉田、R鈴木、R細川	27.8000	27.9000	36.5261	92.2261
3	イタリア		27.3000	27.5000	36.2191	91.0191
4	フランス		27.0000	26.5000	34.8558	88.3558
5	ギリシャ		26.4000	26.3000	34.5261	87.2261
6	アメリカ		26.2000	26.4000	34.3907	86.9907
7	イスラエル		25.5000	25.6000	33.4315	84.5315
8	カナダ		25.4000	25.4000	33.6817	84.4817

チーム フリー決勝

	NOC	Name	Execution	Artistic Impression	Difficulty	得点
1	中国		29.1000	38.8000	28.8000	96.7000
2	ウクライナ		28.5000	38.0000	28.5000	95.0000
3	日本	吉田、安永、佐藤、木島、比嘉、 柳澤、藤井、鈴木、R吉田、R細川	27.9000	37.3333	27.9000	93.1333

4	スペイン	27.5000	37.2000	27.3000	92.0000
5	イタリア	27.5000	36.8000	27.6000	91.9000
6	フランス	27.0000	36.2667	27.0000	90.2667
7	メキシコ	26.6000	35.8667	26.5000	88.9667
8	ギリシャ	26.5000	35.4667	26.2000	88.1667

フリーコンビネーション決勝

	NOC	Name	Execution	Artistic Impression	Difficulty	得点
1	ウクライナ		28.4000	38.1333	28.5000	95.0333
2	日本	吉田、安永、木島、比嘉、柳澤、藤井、吉田、鈴木、細川、川瀬、R佐藤(友)	28.0000	37.4667	28.1000	93.5667
3	イタリア		27.6000	36.9333	27.5000	92.0333
4	ギリシャ		26.3000	35.2000	26.7000	88.2000
5	イスラエル		25.8000	34.2667	25.9000	85.9667
6	イギリス		25.3000	33.7333	25.6000	84.6333
7	カザフスタン		24.8000	32.9333	24.9000	82.6333
8	ハンガリー		23.9000	32.2667	24.3000	80.4667

(オ)OWS 6月26日～6月30日

<6km ミックスリレー>

氏名 (所属)	順位	タイム	1位とのタイム差
日本	9位	1時間06分32秒90	1分52秒40

<5km 男子>

氏名 (所属)	順位	タイム	1位とのタイム差
南出大伸 (木下グループ)	16位	56分22秒30	3分33秒5
古畑海生 (佐藤製菓)	18位	56分24秒60	3分35秒80

<5km 女子>

氏名 (所属)	順位	タイム	1位とのタイム差
蝦名愛梨 (日本体育大学)	11位	1時間00分00秒00	2分07秒10
森山幸美 (SWANS)	13位	1時間00分03秒70	2分10秒80

<10km 男子>

氏名 (所属)	順位	タイム	1位とのタイム差
南出大伸 (木下グループ)	16位	1時間54分28秒50	3分31秒70
野中大暉 (木下グループ)	29位	1時間58分42秒50	7分45秒70

<10km 女子>

氏名 (所属)	順位	タイム	1位とのタイム差
蝦名愛梨 (日本体育大学)	21位	2時間05分51秒7	3分22秒5
藤優実 (三重県スポーツ協会)	40位	2時間10分32秒2	8分03秒0

<25km 男子>

氏名 (所属)	順位	タイム	1位とのタイム差
南出大伸 (木下グループ)	14位	5時間09分26秒10	7分04秒60

<25km 女子>



氏名 (所属)	順位	タイム	1位とのタイム差
加藤はなの (ダッシュユ三条)	9位	5時間26分30秒90	2分15秒90

(2) アジア選手権大会

① 期間・場所                      未定                      未定                      延期

(3) アジアエージ選手権大会

① 期間・場所                      未定                      台湾・台中                      延期

## IV 選手強化事業

世界選手権大会（福岡）は延期となったが、代替の世界選手権大会（ブダペスト）や各種国際大会が開催されたことにより、パリオリンピック（2024年）に向けて、トップ選手だけでなくジュニアの選手も国際大会を経験することができた。選手強化がようやく全ての年代にて実施できたことから、現状の実力を把握し、選手強化事業の方向性がより明確になった。

月1回開催の特別強化委員会を通じて強化5部門で情報共有・連携を図り、それぞれの強化計画に基づき、シニア・ジュニアの強化事業を推進した。中間年の位置づけではあったが、土台拡大と実力をつけることに注力した1年であった。

### 1. 競泳強化事業

2022年度の国際競技会への派遣については多くの変更が生じた。世界選手権大会（福岡）をはじめ、ワールドユニバーシティゲームズやアジア大会も延期となってしまった。

その中で、代替開催となった世界選手権大会（ブダペスト）は最重要な大会であった。結果は、銀メダル2個・銅メダル2個、入賞数14種目（全31種目）であった。金メダルが獲得できず、入賞数も決して多いとは言えず、課題を残す結果となった。

一方ジュニアの大会として8月に急遽開催されたジュニアパンパシフィック選手権大会では、金メダル8個・銀メダル11個・銅メダル10個を獲得し、国別メダル獲得数でオーストラリアを抜いてアメリカに次ぐ2位の成績を収めた。また選手を絞ってそのまま遠征に臨んだ世界ジュニア選手権大会では、金メダル7個・銀メダル8個・銅メダル4個を獲得し、国別メダル獲得数で1位となった。このことから、次世代選手は大きく飛躍し今後トップでの活躍を期待させる兆候が見えた。

12月には延期になっていた世界選手権大会（25m）がメルボルンで開催された。結果は金メダル2個・銀メダル2個・銅メダル2個となり、夏に達成できなかった金メダル獲得を果たした。

1月には昨年中止となったジュニア選抜遠征を実施することができた。パリオリンピックに直結するジュニア選手を派遣する目的で選抜したため、少数精鋭で実施した。前半後半に分けオーストラリアとの合同合宿に2回臨み、合宿強化はもちろん、海外選手との交流による国際競技力向上も目指した。英語での練習説明やコーチとのコミュニケーション、時には自身が英語で日本の練習を紹介するなど、貴重な経験を積むことができた。

上期はコロナ禍の影響を受けた2022年度であったが、徐々にその状況は改善し、ようやく正常な国際大会が機能し始めた。来年度はオリンピック前年となる重要な年であり、世界選手権大会（福岡）も自国開催される。確実に好成績を残し、競泳界を盛り上げていきたい。

#### (1) 国際競技会

##### ①ヨーロッパグランプリサーキット

(ア) スペイン・バルセロナ 2022年5月25日・26日

(イ) フランス・カネ 2022年5月28日・29日

選手団編成

コーチ	平井 伯昌	石松 正考	茅原 直人	下山 好充
	塚田 陽一	藤森 善弘	鈴木 陽二	
トレーナー	鱈渕 和也	杉本 啓		
男子	松元 克央	入江 陵介	武良 竜也	花車 優

女子 水沼 尚輝 寺田 拓未  
 難波 実夢 小堀 倭加 青木 玲緒樹 林 希菜  
 水口 知保 大本 里佳 谷川 亜華葉 大橋 悠依  
 増田 葵 吉井 萌萌花

成績 (ア)

男子	種目名	予/決	ベストタイム	記録	順位	ベスト	備考
松元克央	男子 100m 自由形	予選	00:48.37	00.49.61	9		
		B 決勝	00:48.37	00.49.95	4		
	男子 200m 自由形	予選	01:44.65	01.48.10	3		
		決勝	01:44.65	01.46.46	3		IN-C
入江陵介	男子 50m 背泳ぎ	予選	00:24.79	00.25.44	3		
		決勝	00:24.79	00.24.94	3		
	男子 100m 背泳ぎ	予選	00:52.24	00.53.80	1		IN-C
		決勝	00:52.24	00.53.46	2		IN-C
武良竜也	男子 100m 平泳ぎ	予選	00:59.31	01.00.61	3		
		決勝	00:59.31	01.00.26	3		
	男子 200m 平泳ぎ	予選	02:07.58	02.11.96	2		
		決勝	02:07.58	02.11.86	3		
花車優	男子 50m 平泳ぎ	予選	00:28.21	00.28.20	10	Best	
		B 決勝	00:28.21	00.28.27	2		
	男子 100m 平泳ぎ	予選	00:59.72	01.00.96	4		
		決勝	00:59.72	01.00.38	4		
	男子 200m 平泳ぎ	予選	02:07.99	02.12.11	3		
		決勝	02:07.99	02.10.79	2		
男子 200m 個人メドレー	予選	02:00.72	02.02.69	8			
	決勝	02:00.72	02.03.02	8			
水沼尚輝	男子 50m バタフライ	予選	00:23.32	00.23.88	8		
		決勝	00:23.32	00.23.88	7		
	男子 100m バタフライ	予選	00:50.86	00.51.75	2		IN-C
		決勝	00:50.86	00.51.46	1		IN-B
寺田拓未	男子 100m バタフライ	予選	00:52.77	00.53.29	13		
		B 決勝	00:52.77	00.53.44	4		
	男子 200m バタフライ	予選	01:55.21	01.58.19	8		
		決勝	01:55.21	01.56.68	6		

女子	種目名	予/決	ベストタイム	記録	順位	ベスト	備考
難波実夢	女子 400m 自由形	予選	04:05.25	04.10.43	1		
		決勝	04:05.25	04.09.59	3		
	女子 800m 自由形	タイム決勝	00:28.36	08.36.71	2		
小堀倭加	女子 100m 自由形	予選	00:56.57	00.57.64	49		
	女子 200m 自由形	予選	01:58.70	02.00.89	6		

		決勝	01:58.70	02.00.08	5		
	女子 400m 自由形	予選	04:05.57	04.10.68	3		
		決勝	04:05.57	04.10.26	4		
	女子 400m 個人メドレー	予選	04:38.90	04.48.89	12		
青木玲緒樹	女子 50m 平泳ぎ	予選	00:30.27	00.31.58	11		
		B 決勝	00:30.27	00.30.77	1		
	女子 100m 平泳ぎ	予選	01:05.19	01.07.10	2		IN-C
		決勝	01:05.19	01.06.43	2		IN-B
	女子 100m バタフライ	予選	01:00.89	01.00.32	17	Best	
B 決勝		01:00.89	01.01.02	8			
林希菜	女子 100m バタフライ	予選	00:59.36	01.00.43	19		
		B 決勝	00:59.36	01.00.88	6		
	女子 200m バタフライ	予選	02:06.41	02.08.83	1		IN-C
		決勝	02:06.41	02.07.27	2		IN-B
水口知保	女子 50m 自由形	予選	00:27.11	00.27.07	60	Best	
	女子 50m バタフライ	予選	00:27.17	00.27.77	29		
	女子 100m バタフライ	予選	00:59.47	01.00.94	24		
	女子 200m バタフライ	予選	02:08.22	02.11.61	9		
		B 決勝	02:08.22	02.12.38	7		
大本里佳	女子 50m 自由形	予選	00:24.75	00.25.56	12		
		B 決勝	00:24.75	00.25.55	7		
	女子 50m バタフライ	予選	00:26.38	00.27.64	25		
	女子 200m 個人メドレー	予選	02:08.64	02.13.41	5		
		決勝	02:08.64	02.12.68	7		
谷川亜華葉	女子 200m バタフライ	予選	02:10.13	02.11.67	11		
		B 決勝	02:10.13	02.15.31	8		
	女子 400m 個人メドレー	予選	04:36.45	04.43.83	1		
		決勝	04:36.45	04.40.50	2		
大橋悠依	女子 100m 背泳ぎ	予選	01:02.21	01.03.12	17		
	女子 50m バタフライ	予選	00:26.54	00.27.52	22		
	女子 100m バタフライ	予選	00:57.83	00.59.53	8		
		決勝	00:57.83	00.59.50	6		
	女子 200m バタフライ	予選	02:07.03	02.11.62	10		
		B 決勝	02:07.03	02.11.56	4		
増田葵	女子 50m 自由形	予選	00:26.07	00.26.43	37		
	女子 100m 自由形	予選	00:55.66	00.56.51	27		
	女子 200m 自由形	予選	01:58.86	02.02.00	16		
		B 決勝	01:58.86	02.03.87	8		B
吉井萌萌花	女子 100m 自由形	予選	00:55.61	00.56.40	24		
	女子 200m 自由形	予選	01:59.69	02.03.48	28		

	女子 200m バタフライ	予選	02:14.93	02.14.23	17		
--	---------------	----	----------	----------	----	--	--

成績 (イ)

男子	種目名	予/決	ベストタイム	記録	順位	ベスト	備考
松元克央	男子 100m 自由形	予選	00:48.37	00.49.22	6		
		決勝	00:48.37	00.48.98	5		
	男子 200m 自由形	予選	01:44.65	01.48.71	2		
		決勝	01:44.65	01.47.18	2		
	男子 50m バタフライ	予選	00:23.50	00.24.30	17		
		決勝	00:23.50	00.24.30	17		
入江陵介	男子 50m 背泳ぎ	予選	00:24.79	00.25.46	4		
		決勝	00:24.79	00.25.21	5		
	男子 100m 背泳ぎ	予選	00:52.24	00.54.04	2		
		決勝	00:52.24	00.53.00	1		IN-B
武良竜也	男子 100m 平泳ぎ	予選	00:59.31	01.00.66	3		
		決勝	00:59.31	00.59.99	2		
	男子 200m 平泳ぎ	予選	02:07.58	02.12.82	3		
		決勝	02:07.58	02.10.75	3		
花車優	男子 50m 平泳ぎ	予選	00:28.21	00.28.38	9		
		B 決勝	00:28.21	00.28.64	6		
	男子 100m 平泳ぎ	予選	00:59.72	01.01.66	6		
		決勝	00:59.72	01.00.55	4		
	男子 200m 平泳ぎ	予選	02:07.99	02.13.61	4		
		決勝	02:07.99	02.09.61	2		IN-C
水沼尚輝	男子 50m バタフライ	予選	00:23.32	00.24.31	18		
		決勝	00:23.32	00.00.00			
	男子 100m バタフライ	予選	00:50.86	00.51.62	1		IN-B
		決勝	00:50.86	00.51.42	1		IN-B
寺田拓未	男子 100m バタフライ	予選	00:52.77	00.52.97	8		
		決勝	00:52.77	00.52.77	8	Best タイ	
	男子 200m バタフライ	予選	01:55.21	01.59.10	8		
		決勝	01:55.21	01.56.53	2		

女子	種目名	予/決	ベストタイム	記録	順位	ベスト	備考
難波実夢	女子 200m 自由形	予選	01:58.24	02.00.13	6		
		決勝	01:58.24	01.59.39	5		
	女子 400m 自由形	予選	04:05.25	04.13.57	2		
		決勝	04:05.25	04.08.48	1		IN-C
小堀倭加	女子 200m 自由形	予選	01:58.70	02.02.60	19		
	女子 400m 自由形	予選	04:05.57	04.13.80	3		
		決勝	04:05.57	04.10.18	3		

	女子 200m 背泳ぎ	予選	02:12.00	02.16.41	9		
		B 決勝	02:12.00	02.14.93	2		
青木玲緒樹	女子 100m 自由形	予選	00:57.40			棄権	
	女子 50m 平泳ぎ	予選	00:30.27	00.31.44	6		
		決勝	00:30.27	00.31.48	6		
	女子 100m 平泳ぎ	予選	01:05.19	01.07.49	3		IN-C
		決勝	01:05.19	01.06.74	2		IN-B
女子 100m 自由形	決勝	00:57.40	00.00.00				
林希菜	女子 100m バタフライ	予選	00:59.36	01.00.18	12		
		B 決勝	00:59.36	01.00.39	7		
	女子 200m バタフライ	予選	02:06.41	02.09.66	1		
		決勝	02:06.41	02.08.32	1		IN-B
水口知保	女子 50m 自由形	予選	00:27.11	00.26.98	43	Best	
	女子 100m バタフライ	予選	00:59.47	01.00.20	13		
		B 決勝	00:59.47	01.00.17	5		
	女子 200m バタフライ	予選	02:08.22	02.11.86	9		
B 決勝		02:08.22	02.12.47	3			
大本里佳	女子 50m 自由形	予選	00:24.75	00.25.89	17		
	女子 100m 自由形	予選	00:54.16	00.56.12	20		
		B 決勝	00:54.16	00.56.87	8		
	女子 50m バタフライ	予選	00:26.38	00.27.28	12		
		B 決勝	00:26.38	00.27.73	8		
	女子 200m 個人メドレー	予選	02:08.64	02.13.79	8		
決勝		02:08.64	02.11.99	4		IN-C	
谷川亜華葉	女子 200m 個人メドレー	予選	02:14.66	02.16.81	14		
		B 決勝	02:14.66	02.18.19	6		
	女子 400m 個人メドレー	予選	04:36.45	04.42.49	1		
		決勝	04:36.45	04.38.89	2		IN-C
大橋悠依	女子 50m 自由形	予選	00:25.80	00.26.83	41		
	女子 50m バタフライ	予選	00:26.54			棄権	
	女子 200m 個人メドレー	予選	02:07.91	02.12.49	1		
		決勝	02:07.91	02.11.28	2		IN-C
	女子 400m 個人メドレー	予選	04:30.82	04.45.32	3		
		決勝	04:30.82	04.44.08	4		
増田葵	女子 50m 自由形	予選	00:26.07	00.26.38	27		
	女子 100m 自由形	予選	00:55.66	00.56.32	23		
	女子 200m 自由形	予選	01:58.86	02.01.48	8		
		決勝	01:58.86	02.03.05	7		
吉井萌萌花	女子 100m 自由形	予選	00:55.61	00.56.93	35		
	女子 200m 自由形	予選	01:59.69	02.02.17	14		

		B 決勝	01:59.69	02.01.92	4		
	女子 400m 自由形	予選	04:18.18	04.22.92	15		
		B 決勝	04:18.18	04.19.30	3		

②ジュニアパンパシフィック選手権大会 2022年8月24日～27日 アメリカ・ハワイ

選手団編成

監督	立川 道宣				
ドクター	小宮 枝里子				
ヘッドコーチ	櫻井 裕司				
コーチ	太田 伸	薩摩 将広	海老澤 雄介	上木 健嗣	
	大野 高広	賀門 哲教	谷口 志乃		
トレーナー	猪俣 伸晃	名執 康二			
分析	林 勇樹	佐藤 大典			
男子	山口 遼大	成嶋 義徳	蓮沼 椋祐	スコット 龍海	
	岡留 大和	桐山 真葵	渡邊 裕太	宮木 宏悦	
	中山 響	山口 哩駟	養日 聖	竹原 秀一	
	川島 朝陽	上川畑 英	新開 誠也	松下 知之	
	阿部 力樹				
女子	伊東 開耶	二宮 歌梨	梅木 陽向	竹澤 瑠珂	
	奥園 心咲	青木 虹光	佐々木 美莉	山本 千晶	
	長岡 愛海	成田 実生	水野 柚希	加藤 心富	
	松本 悠里	楠田 夢乃	平井 瑞希	長谷川 葉月	
	三井 愛梨	藤本 穏	鈴木 彩心		

成績

男子	種目名	予/決	ベストタイム	記録	順位	ベスト	備考
山口遼大	男子 50m 自由形	予選	0:22.94	0:23.57	6		
		決勝		0:23.42	7		
	男子 100m 自由形	予選	0:51.40	0:52.10	28		
	男子 100m バタフライ	予選	0:53.76	0:54.51	11		
		B 決勝		0:54.69	11		
成嶋義徳	男子 50m 自由形	予選	0:23.30	0:23.99	15		
		B 決勝		0:24.05	15		
	男子 100m 自由形	予選	0:50.34	0:51.08	13		
		B 決勝		0:51.44	13		
	男子 100m バタフライ	予選	0:53.86	0:54.47	10		
B 決勝			0:54.15	10			
蓮沼椋祐	男子 50m 自由形	予選	0:23.07	0:23.64	7		
		決勝		0:23.30	5		
	男子 100m 自由形	予選	0:50.72	0:51.34	14		
		B 決勝		0:51.58	15		
	男子 200m 自由形	予選	1:53.22	1:52.84	15	ベスト	
B 決勝			1:53.18	16			
スコット	男子 50m 自由形	予選	0:23.65	0:23.82	12		

龍海		B 決勝		0:24.11	16		
	男子 100m 自由形	予選	0:50.30	0:50.78	5		
		決勝		0:51.04	6		
	男子 200m 自由形	予選	1:50.09	1:50.77	7		ナショナル
		決勝		1:51.44	8		
	男子 200m 個人メドレー	予選	2:04.48	2:06.46	12		
B 決勝			2:06.14	13			
岡留大和	男子 100m 平泳ぎ	予選	1:01.16	1:00.70	1	ベスト	ナショナル
		決勝		1:01.35	2		ナショナル
	男子 200m 平泳ぎ	予選	2:14.07	2:13.77	1	ベスト	
		決勝	<b>2:13.77</b>	2:12.19	2	ベスト	ナショナル
桐山真葵	男子 100m 自由形	予選	0:50.51	0:51.52	25		
	男子 200m 自由形	予選	1:49.29	1:51.23	13		
		B 決勝		1:50.37	11		ナショナル
	男子 400m 自由形	予選	3:52.77	3:55.43	5		
		決勝		3:54.00	5		ナショナル
男子 800m 自由形	タイム決勝	8:10.57	8:10.23	10	ベスト	ナショナル	
渡辺裕太	男子 100m 自由形	予選	0:50.60	0:50.95	6		
		決勝		0:50.93	5		
	男子 200m 自由形	予選	1:50.26	1:50.53	6		ナショナル
		決勝		1:50.99	6		
	男子 200m 個人メドレー	予選	2:01.03	2:02.47	3		ナショナル
		決勝		2:01.83	4		ナショナル
宮木宏悦	男子 400m 自由形	予選	3:50.83	3:59.33	13		
		B 決勝		3:56.08	12		
	男子 800m 自由形	タイム決勝	8:00.80	7:57.64	2	ベスト	ナショナル
	男子 1500m 自由形	タイム決勝	15:19.62	15:31.82	5		
中山響	男子 400m 自由形	予選	3:56.62	3:58.14	12		
		B 決勝		3:56.23	13	ベスト	
	男子 800m 自由形	タイム決勝	8:05.37	8:10.77	12		ナショナル
	男子 1500m 自由形	タイム決勝	15:26.66	15:47.94	10		
山口哩駈	男子 400m 自由形	予選	3:59.21	3:56.01	6	ベスト	
		決勝		3:57.52	8		
	男子 800m 自由形	タイム決勝	8:07.02	8:03.77	4	ベスト	ナショナル
	男子 1500m 自由形	タイム決勝	15:32.73	15:28.06	4	ベスト	ナショナル
	男子 400m 個人メドレー	予選	4:17.31	DSQ			
養日聖	男子 50m 自由形	予選	0:24.63	0:24.36	27	ベスト	
	男子 100m 背泳ぎ	予選	0:56.34	0:58.14	13		
		B 決勝		0:56.97	12		
	男子 200m 背泳ぎ	予選	2:05.38	2:09.22	16		



		B 決勝		2:05.73	13		
竹原秀一	男子 100m 自由形	予選	0:52.26	0:52.92	35		
	男子 100m 背泳ぎ	予選	0:55.11	0:56.34	3		ナショナル
		決勝		0:55.51	3		ナショナル
	男子 200m 背泳ぎ	予選	1:57.33	1:58.39	1		ナショナル
		決勝		1:57.00	1	ベスト	IN-C
川島朝陽	男子 200m 平泳ぎ	予選	2:13.30	2:14.05	3		
		決勝		2:11.81	1	ベスト	ナショナル
	男子 400m 個人メドレー	予選	4:20.08	4:26.01	10		
		B 決勝		4:21.05	9		
上川畑英	男子 200m バタフライ	予選	1:58.71	1:58.83	3		ナショナル
		決勝		1:58.32	3	ベスト	ナショナル
	男子 200m 個人メドレー	予選	2:02.67	2:02.70	9		ナショナル
		B 決勝		2:02.00	9	ベスト	ナショナル
	男子 400m 個人メドレー	予選	4:16.61	4:14.95	1	ベスト	IN-C
		決勝		4:15.23	1		ナショナル
新開誠也	男子 100m 自由形	予選	0:50.74	0:52.48	31		
	男子 100m バタフライ	予選	0:53.62	0:54.32	5		
		決勝		0:54.14	7		
	男子 200m バタフライ	予選	1:57.93	1:58.89	4		ナショナル
決勝			1:58.36	4		ナショナル	
松下知之	男子 100m バタフライ	予選	0:54.15	0:54.10	4	ベスト	
		決勝	<b>0:54.10</b>	0:53.38	3	ベスト	ナショナル
	男子 200m バタフライ	予選	2:02.45	2:00.32	9	ベスト	
		B 決勝	<b>2:00.32</b>	1:59.82	9	ベスト	
	男子 200m 個人メドレー	予選	2:00.00	2:01.01	2		ナショナル
		決勝		2:00.64	2		ナショナル
	男子 400m 個人メドレー	予選	4:18.88	4:20.48	9		
B 決勝			4:21.05	9			
阿部力樹	男子 100m バタフライ	予選	なし	0:55.65	19		
	男子 200m 平泳ぎ	予選	2:14.07	2:16.98	10		
		B 決勝		2:16.72	10		
	男子 400m 個人メドレー	予選	4:18.46	4:19.84	3		ナショナル
		決勝		4:17.96	3	ベスト	ナショナル
日 本	男子 4×100m フリーリレー	タイム決勝		3:19.94	3	スコット・成嶋 岡留・蓮沼	
日 本	男子 4×200m フリーリレー	タイム決勝		7:22.26	3	桐山・渡辺 スコット・松下	
日 本	男子 4×100m メドレーリレー	タイム決勝		3:40.35	3	竹原・岡留 松下・渡辺	
日 本	混合 4×100m メドレーリレー	タイム決勝		3:50.81	3	竹原・岡留 長谷川・伊藤	

\*男子 4×100m フリーリレーは高校新記録

\*B 決勝または決勝欄ベスト太字は予選で更新

女子	種目名	予/決	ベストタイム	記録	順位	ベスト	備考
伊東開耶	女子 50m 自由形	予選	0:25.64	0:26.29	8		
		決勝		0:26.20	8		
	女子 100m 自由形	予選	0:55.53	0:56.94	15		
		B 決勝		0:56.94	14		
	女子 200m 自由形	予選	2:00.11	2:02.00	14		ナショナル
B 決勝			2:04.60	15			
二宮歌梨	女子 50m 自由形	予選	0:26.18	0:26.52	16		
		B 決勝		0:26.38	15		
	女子 100m 自由形	予選	0:55.94	0:56.86	8		
		決勝		0:56.40	8		
	女子 200m 自由形	予選	2:00.40	2:02.28	15		
B 決勝			2:02.02	13			
梅木陽向	女子 100m 自由形	予選	0:56.43	0:57.06	16		
		B 決勝		0:57.01	15		
	女子 200m 自由形	予選	2:01.08	2:01.48	8		
		決勝		2:00.16	5	ベスト	ナショナル
	女子 400m 自由形	予選	4:17.63	4:17.20	11	ベスト	
B 決勝		<b>4:17.20</b>	4:15.50	12	ベスト		
竹澤瑠珂	女子 200m 自由形	予選	2:00.14	2:02.28	15		ナショナル
	女子 400m 自由形	予選	4:10.56	4:15.46	6		ナショナル
		決勝		4:10.13	4	ベスト	ナショナル
	女子 800m 自由形	タイム決勝	8:36.67	8:36.91	4		ナショナル
女子 1500m 自由形	タイム決勝	16:31.29	16:25.19	2	ベスト	ナショナル	
奥園心咲	女子 100m 自由形	予選	0:57.55	0:58.21	37		
	女子 200m 自由形	予選	2:00.68	2:01.31	7		
		決勝		2:01.40	8		
	女子 400m 自由形	予選	4:12.07	4:11.95	4	ベスト	ナショナル
		決勝		4:12.26	5		ナショナル
	女子 1500m 自由形	タイム決勝	16:45.76	16:33.67	5	ベスト	ナショナル
女子 200m 個人メドレー	予選	2:14.97	2:15.68	4			
	決勝		2:14.86	6	ベスト		
青木虹光	女子 400m 自由形	予選	4:14.39	4:18.12	12		ナショナル
		B 決勝		4:16.01	13		
	女子 800m 自由形	タイム決勝	8:37.67	8:48.37	7		
	女子 1500m 自由形	タイム決勝	16:23.02	16:49.88	11		
佐々木美莉	女子 50m 自由形	予選	0:26.66	0:27.25	32		
	女子 100m 背泳ぎ	予選	1:01.19	1:02.62	12		

		B決勝		1:01.94	12		
	女子 200m 背泳ぎ	予選	2:14.92	2:16.98	22		
山本千晶	女子 100m 自由形	予選	0:56.65	0:58.10	36		
	女子 100m 背泳ぎ	予選	1:01.03	1:02.40	7		
		決勝		1:02.27	7		ナショナル
	女子 200m 背泳ぎ	予選	2:10.64	2:13.32	11		ナショナル
		B決勝		2:14.05	12		ナショナル
長岡愛海	女子 50m 自由形	予選	なし	0:26.94	27		
	女子 100m 自由形	予選	0:57.63	0:58.57	39		
	女子 100m 背泳ぎ	予選	1:00.92	1:02.71	22		
	女子 200m 背泳ぎ	予選	2:13.94	2:15.93	21		
成田実生	女子 200m 背泳ぎ	予選	2:10.45	2:10.79	2		ナショナル
		決勝		2:09.67	2	ベスト	IN-C
	女子 200m 個人メドレー	予選	2:11.41	2:13.59	1		ナショナル
		決勝		2:11.22	1	ベスト	IN-C
	女子 400m 個人メドレー	予選	4:36.71	4:42.33	1		ナショナル
決勝			4:36.79	1		IN-B	
水野柚希	女子 100m 背泳ぎ	予選	1:01.62	1:02.65	13		
		B決勝		1:01.66	11		ナショナル
	女子 200m 背泳ぎ	予選	2:11.59	2:10.04	1	ベスト	IN-C
		決勝	<b>2:10.04</b>	2:09.17	1	ベスト	IN-C
加藤心富	女子 100m 平泳ぎ	予選	1:08.52	1:09.49	2		
		決勝		1:09.10	2		
	女子 200m 平泳ぎ	予選	2:27.32	2:28.35	1		
		決勝		2:26.55	1	ベスト	ナショナル
松本悠里	女子 100m 平泳ぎ	予選	1:09.14	1:10.79	9		
		B決勝		1:11.55	11		
	女子 200m 平泳ぎ	予選	2:27.29	2:29.46	3		
		決勝		2:27.46	2		ナショナル
楠田夢乃	女子 200m バタフライ	予選	なし	2:20.89	13		
		B決勝	<b>2:20.89</b>	2:18.82	13	ベスト	
	女子 100m 平泳ぎ	予選	1:09.78	1:10.15	4		
		決勝		1:09.79	4		
	女子 200m 平泳ぎ	予選	2:26.89	2:29.53	9		
B決勝			2:28.10	9		ナショナル	
平井瑞希	女子 50m 自由形	予選	0:26.68	0:27.24	31		
	女子 100m 自由形	予選	0:56.90	0:59.04	40		
	女子 100m 背泳ぎ	予選	1:01.63	1:03.78	23		
	女子 100m バタフライ	予選	0:59.31	1:00.23	10		ナショナル
		B決勝		1:00.23	9		ナショナル

長谷川葉月	女子 50m 自由形	予選	0:26.08	0:26.68	17		
	女子 100m 自由形	予選	0:57.44	0:57.79	33		
	女子 100m バタフライ	予選	0:58.92	0:59.55	4		ナショナル
		決勝		0:58.97	4		ナショナル
三井愛梨	女子 100m 自由形	予選	0:57.25	0:57.79	32		
	女子 100m バタフライ	予選	0:58.97	0:59.25	2		ナショナル
		決勝		0:58.67	2	ベスト	ナショナル
	女子 200m バタフライ	予選	2:08.51	2:10.18	1		ナショナル
		決勝		2:07.82	1	ベスト	IN-C
	女子 200m 個人メドレー	予選	2:22.92	2:18.53	14	ベスト	
B 決勝		<b>2:18.53</b>	2:15.94	11	ベスト		
藤本穂	女子 100m バタフライ	予選	0:59.50	1:00.67	11		
		B 決勝		1:00.27	10		
	女子 200m バタフライ	予選	2:09.88	2:12.14	5		
		決勝		2:09.63	2	ベスト	IN-C
	女子 100m 平泳ぎ	予選	1:13.42	1:13.77	17		
	女子 200m 平泳ぎ	予選	なし	2:36.79	12		
		B 決勝	<b>2:36.79</b>	2:33.90	10	ベスト	
	女子 200m 個人メドレー	予選	2:19.50	2:19.87	26		
	女子 400m 個人メドレー	予選	4:53.29	4:57.78	12		
		B 決勝		4:58.26	12		
鈴木彩心	女子 200m 自由形	予選	2:02.21	2:03.17	22		
	女子 200m 背泳ぎ	予選	2:12.27	2:13.98	12		
		B 決勝		2:13.97	11		
	女子 200m 個人メドレー	予選	2:16.94	2:17.84	12		
		B 決勝		2:17.60	14		
	女子 400m 個人メドレー	予選	4:44.39	4:47.18	3		
決勝			4:43.70	3	ベスト	ナショナル	
日 本	女子 4×100m フリーリレー	タイム決勝		3:44.88	4	二宮・梅木 成田・伊藤	
日 本	女子 4×200m フリーリレー	タイム決勝		8:01.38	3	梅木・奥園 二宮・竹澤	
日 本	女子 4×100m メドレーリレー	タイム決勝		4:04.01	2	水野・加藤 三井・二宮	

\*女子 4×200m フリーリレーは高校新記録

\*B 決勝または決勝欄ベスト太字は予選で更新した記録

③世界ジュニア選手権大会

2022年8月30日～9月4日

ペルー・リマ

選手団編成

監督 立川 道宣

ドクター 小宮 慎之介

ヘッドコーチ 海老澤 雄介

コーチ 櫻井 裕司 薩摩 将広 谷口 志乃

トレーナー	名執	康二			
分析	林	勇樹			
男子	竹原	秀一	川島	朝陽	上川畑 英
	渡邊	裕太	山口	哩駟	阿部 力樹
女子	竹澤	瑠珂	青木	虹光	山本 千晶
	成田	実生	水野	柚希	松本 悠里
	平井	瑞希	鈴木	彩心	松下 知之
					長岡 愛海
					楠田 夢乃

成績

氏名	種目名	予/決	ベストタイム	記録	順位	ベスト	備考
竹原秀一	男子 100m 背泳ぎ	予選	0:55.11	0:56.46	6		ナショナル
		準決勝		0:55.79	5		ナショナル
		決勝		0:55.48	6		ナショナル
	男子 200m 背泳ぎ	予選	<b>1:57.00</b>	1:59.07	1		ナショナル
		決勝		1:58.22	2		ナショナル
川島朝陽	男子 200m 平泳ぎ	予選	<b>2:11.81</b>	2:14.80	1		
		決勝		2:12.61	1		ナショナル
上川畑英	男子 200m バタフライ	予選	<b>1:58.32</b>	2:00.94	3		
		決勝		1:58.37	3		ナショナル
松下知之	男子 200m 個人メドレー	予選	2:00.00	2:02.64	3		
		決勝		2:00.89	2		ナショナル
渡辺裕太	男子 200m 個人メドレー	予選	2:01.03	2:03.73	7		
		決勝		2:01.39	3		ナショナル
山口哩駟	男子 800m 自由形	タイム決勝	<b>8:03.77</b>	8:04.71	8		ナショナル
	男子 1500m 自由形	タイム決勝	<b>15:28.06</b>	15:29.54	5		ナショナル
	男子 400m 個人メドレー	予選	4:17.31	4:16.26	1	ベスト	ナショナル
		決勝		4:14.88	1	ベスト	IN-C
阿部力樹	男子 200m 平泳ぎ	予選	2:14.07	2:18.07	6		
		決勝		2:15.15	4		ナショナル
	男子 400m 個人メドレー	予選	<b>4:17.96</b>	4:29.85	13		
竹澤瑠珂	女子 200m 自由形	予選	2:00.14	2:03.55	6		
		決勝		2:01.53	5		ナショナル
	女子 400m 自由形	予選	<b>4:10.13</b>	4:16.28	3		ナショナル
		決勝		4:11.83	2		ナショナル
	女子 800m 自由形	タイム決勝	8:36.67	8:36.80	2		ナショナル
	女子 1500m 自由形	タイム決勝	<b>16:25.19</b>	16:24.61	2	ベスト	ナショナル
青木虹光	女子 400m 自由形	予選	4:14.39	4:18.45	7		
		決勝		4:14.25	4		ナショナル
	女子 800m 自由形	タイム決勝	8:37.67	8:43.26	4		
	女子 1500m 自由形	タイム決勝	16:23.02	16:30.74	3		ナショナル
山本千晶	女子 50m 背泳ぎ	予選	0:29.09	0:29.63	5		
		準決勝		0:29.31	5		
		決勝		0:29.22	6		

	女子 100m 背泳ぎ	予選	1:01.03	1:03.32	7		
		準決勝		1:02.76	6		
		決勝		1:02.10	3		ナショナル
長岡愛海	女子 50m 背泳ぎ	予選	なし	0:29.34	2		
		準決勝		0:29.14	3	ベスト	
		決勝		0:28.70	2	ベスト	
	女子 100m 背泳ぎ	予選	1:00.92	1:01.74	1		ナショナル
		準決勝		1:02.24	3		
決勝		1:01.45	2		ナショナル		
成田実生	女子 200m 背泳ぎ	予選	<b>2:09.67</b>	2:12.05	2		ナショナル
		決勝		2:11.10	4		ナショナル
	女子 200m 個人メドレー	予選	<b>2:11.22</b>	2:14.74	1		ナショナル
		決勝		2:11.68	1		IN-C
	女子 400m 個人メドレー	予選	4:36.71	4:45.29	1		ナショナル
決勝			4:37.78	1		IN-C	
水野柚希	女子 200m 背泳ぎ	予選	<b>2:09.17</b>	2:12.55	3		ナショナル
		決勝		2:09.79	1		IN-C
松本悠里	女子 50m 平泳ぎ	予選	0:32.36	0:33.25	12		
		準決勝		0:32.77	10		
	女子 100m 平泳ぎ	予選	1:09.14	1:11.13	7		
		準決勝		1:10.84	10		
	女子 200m 平泳ぎ	予選	2:27.29	DSQ	-		
楠田夢乃	女子 50m 平泳ぎ	予選	0:33.45	0:33.32	14	ベスト	
		準決勝		0:33.27	13	ベスト	
	女子 100m 平泳ぎ	予選	1:09.78	1:11.57	10		
		準決勝		1:10.64	7		
		決勝		1:10.46	6		
	女子 200m 平泳ぎ	予選	2:26.89	2:30.96	2		
決勝			2:29.62	2			
平井瑞希	女子 50m バタフライ	予選	0:26.80	0:27.21	4		
		準決勝		0:27.31	5		
		決勝		0:27.09	4		
	女子 100m バタフライ	予選	0:59.31	0:59.90	1		ナショナル
		準決勝		1:00.01	1		ナショナル
		決勝		0:59.53	1		ナショナル
鈴木彩心	女子 200m 個人メドレー	予選	2:16.94	2:17.56	3		
		決勝		2:16.33	4	ベスト	
	女子 400m 個人メドレー	予選	<b>4:43.70</b>	4:48.97	5		
		決勝		4:44.70	4		ナショナル
日 本	男子 4×100m フリーリレー	予選		3:28.62	9	渡辺・松下 上川畑・川島	

日 本	男子 4×200m フリーリレー	予選		7:28.39	5	松下・渡辺
		決勝		7:25.99	7	上川畑・竹原
日 本	男子 4×100m メドレーリレー	予選		3:43.06	1	竹原・川島 松下・渡辺
		決勝		3:44.34	5	竹原・山口 松下・阿部
日 本	女子 4×100m メドレーリレー	予選		4:10.41	2	水野・成田 平井・山本
		決勝		4:06.44	1	水野・楠田 平井・成田
日 本	混合 4×100m フリーリレー	予選		3:38.18	7	渡辺・山本 竹澤・松下
		決勝		3:36.67	6	松下・山本 竹澤・渡辺
日 本	混合 4×100m メドレーリレー	予選		4:01.37	7	水野・楠田
		決勝		3:58.65	4	阿部・山口

\*ベストタイム太字はジュニアパンパシフィック選手権で更新した記録

④世界選手権大会(25m)

2022年12月13日～18日

オーストラリア・メルボルン

選手団編成

団 長	梅原 孝之				
ドクター	塚越 祐太				
ヘッドコーチ	加藤 健志				
コーチ	平井 伯昌	石松 正考	茅原 直人	草薙 健太	
	中川 智之	奈良 梨央			
トレーナー	栗木 明裕	前道 俊宏	松井 ゆかり	森 正一郎	
科 学	郡司 拓実				
総 務	遠藤 百茄				
男 子	松井 浩亮	川根 正大	松元 克央	中村 克	
	眞野 秀成	竹田 涉瑚	尾崎 健太	入江 陵介	
	柳川 大樹	内藤 良太	日本 雄也	新山 政樹	
	渡辺 一平	瀬戸 大也	川本 武史	田中 優弥	
	阪本 祐也	森本 哲平	松本 周也	小方 颯	
	渡邊 天馬				
女 子	白井 璃緒	五十嵐 千尋	難波 実夢	小堀 倭加	
	森山 幸美	高橋 美紀	赤瀬 紗也香	山本 千晶	
	青木 玲緒樹	深澤 舞	楠田 夢乃	加藤 心富	
	津田 萌咲	相馬 あい	三井 愛梨	内田 かりん	
	大橋 悠依	中嶋 碧	鈴木 彩心	神野 ゆめ	

成績

男子	種目名	予/決	ベストタイム	記録	順位	ベスト	備考
松井浩亮	男子 50m 自由形	予選	00.20.95	00.21.17	12		
		準決勝		00.21.42	16		
川根正大	男子 50m 自由形	予選	00.21.18	00.21.55	34		
松元克央	男子 100m 自由形	予選	00.46.85	00.47.13	22		
	男子 200m 自由形	予選	01.41.67	01.41.29	2	Best	
		決勝		01.41.91	8		

	男子 400m 自由形	予選	03.37.94	03.37.96	3		
		決勝		03.36.87	4	Best	
中村 克	男子 100m 自由形	予選	00.46.22	00.47.79	37		
眞野秀成	男子 200m 自由形	予選	01.43.25	01.44.20	19		
竹田涉瑚	男子 400m 自由形	予選	03.40.21	03.42.16	14		
	男子 800m 自由形	タイム決勝	07.39.19	07.33.78	4	Best	アジア
	男子 1500m 自由形	タイム決勝	14.29.92	14.25.95	4	Best	日本新
尾崎健太	男子 1500m 自由形	タイム決勝	14.45.13	14.58.30	13		
入江陵介	男子 50m 背泳ぎ	予選	00.23.25	00.23.38	16		
		準決勝		00.23.49	14		
	男子 100m 背泳ぎ	予選	00.49.66	00.50.37	10		
		準決勝		00.50.08	9		
柳川大樹	男子 100m 背泳ぎ	予選	00.51.25	00.50.99	19	Best	
	男子 200m 背泳ぎ	予選	01.50.94	DNS			
内藤良太	男子 200m 背泳ぎ	予選	01.49.93	01.50.78	7		
		決勝		01.51.67	8		
日本雄也	男子 50m 平泳ぎ	予選	00.26.09	00.26.15	6		
		準決勝		00.26.13	9		
	男子 100m 平泳ぎ	予選	00.55.77	00.56.62	2		
		準決勝		00.56.77	6		
決勝			00.57.29	8			
新山政樹	男子 50m 平泳ぎ	予選	00.26.16	00.26.51	16		
		スイムオフ		00.26.50	2		
渡辺一平	男子 100m 平泳ぎ	予選	00.56.88	00.57.11	6		
		準決勝		00.57.27	9		
	男子 200m 平泳ぎ	予選	02.01.70	02.03.64	3		
		決勝		02.02.53	4		
瀬戸大也	男子 200m 平泳ぎ	予選	02.01.30	02.02.43	1		
		決勝		02.00.35	1	Best	
	男子 200m バタフライ	予選	01.48.24	01.49.99	3		
		決勝		01.49.22	2		
	男子 200m 個人メドレー	予選	01.50.66	01.51.76	1		
		決勝		01.51.39	5		
男子 400m 個人メドレー	予選	03.54.81	04.00.35	1			
	決勝		03.55.75	1			
川本武史	男子 50m バタフライ	予選	00.22.19	00.22.38	11		
		準決勝		00.22.50	15		
	男子 50m 背泳ぎ	予選	00.23.10	00.23.25	11		
		準決勝		00.23.19	12		
田中優弥	男子 50m バタフライ	予選	00.22.41	00.22.54	18		



	男子 100m バタフライ	予選	00.49.72	00.50.22	10		
		準決勝		00.50.21	11		
阪本祐也	男子 100m バタフライ	予選	00.49.93	00.50.09	9		
		準決勝		00.50.16	10		
森本哲平	男子 200m バタフライ	予選	01.50.44	01.50.26	4	Best	
		決勝		01.50.70	6		
松本周也	男子 100m 個人メドレー	予選	00.52.17	00.51.99	4	Best	
		準決勝		00.51.99	9		
小方 颯	男子 200m 個人メドレー	予選	01.52.93	01.53.00	8		
		決勝		01.53.40	8		
	男子 400m 個人メドレー	予選	04.01.67	04.03.29	6		
		決勝		04.02.21	5		

女子	種目名	予/決	ベストタイム	記録	順位	ベスト	備考
白井璃緒	女子 100m 自由形	予選	00.52.85	00.53.88	24		
	女子 100m 背泳ぎ	予選	00.56.00	00.57.71	18		
五十嵐千尋	女子 100m 自由形	予選	00.52.84	00.53.38	17		
	女子 200m 自由形	予選	01.54.66	01.56.22	14		
難波実夢	女子 400m 自由形	予選	03.59.47	04.00.97	5		
		決勝		04.01.13	4		
	女子 800m 自由形	タイム決勝	08.15.47	08.12.98	3	Best	
	女子 1500m 自由形	タイム決勝	16.12.97	15.46.76	2	Best	アジア
小堀倭加	女子 400m 自由形	予選	04.02.86	04.02.05	6	Best	
		決勝		04.02.14	7		
	女子 400m 個人メドレー	予選	04.30.95	04.31.19	3		
		決勝		04.29.03	3	Best	
森山幸美	女子 800m 自由形	タイム決勝	08.21.92	08.25.46	9		
高橋美紀	女子 50m 背泳ぎ	予選	00.26.55	00.26.77	19		
赤瀬紗也香	女子 100m 背泳ぎ	予選	00.57.11	00.57.51	14		
		準決勝		00.57.65	15		
	女子 200m 背泳ぎ	予選	02.02.30	02.05.13	15		
山本千晶	女子 200m 背泳ぎ	予選	02.04.66	02.06.10	18		
青木玲緒樹	女子 50m 平泳ぎ	予選	00.29.59	00.29.81	10		
		準決勝		00.30.01	12		
	女子 100m 平泳ぎ	予選	01.04.01	01.04.58	8		
		準決勝		01.04.13	3		
		決勝		01.04.30	6		
深澤 舞	女子 100m 平泳ぎ	予選	01.04.47	01.04.57	7		
		準決勝		01.04.45	7	Best	
		決勝		01.04.48	7		

楠田夢乃	女子 200m 平泳ぎ	予選	02.21.36	02.20.82	12	Best	
加藤心富	女子 200m 平泳ぎ	予選		DNS			
津田萌咲	女子 50m バタフライ	予選	00.25.26	00.25.47	12		
		準決勝		00.25.41	12		
	女子 100m バタフライ	予選	00.56.71	00.57.22	12		
		準決勝		00.57.25	15		
相馬あい	女子 50m バタフライ	予選	00.25.07	00.25.32	8		
		準決勝		00.25.36	10		
	女子 100m バタフライ	予選	00.56.31	00.56.72	7		
		準決勝		00.56.51	9		
		決勝		00.56.27	5	Best	
三井愛梨	女子 200m バタフライ	予選	02.04.35	02.05.27	5		
		決勝		02.05.40	6		
内田かりん	女子 200m バタフライ	予選	02.04.74	02.05.38	6		
		決勝		02.05.51	7		
大橋悠依	女子 100m 個人メドレー	予選	00.58.69	00.59.49	10		
		準決勝		00.59.45	11		
	女子 200m 個人メドレー	予選	02.03.93	02.08.12	13		
中嶋 碧	女子 200m 個人メドレー	予選	02.09.77	02.09.55	15	Best	
鈴木彩心	女子 400m 個人メドレー	予選	04.32.02	04.40.95	16		
神野ゆめ	女子 50m 自由形	予選	00.24.49	00.24.74	18		

⑤ジュニアオーストラリア遠征 2023年 1月 20日～ 22日 オーストラリア・アデレード

選手団編成

コーチ 梅原 孝之 海老澤 雄介

トレーナー 松浦 由生子

男子 松下 知之 山口 哩駟

女子 中澤 海風 成田 実生

成績

名前	種目名	予/決	ベストタイム	記録	順位	ベスト	ナショナル	エリートA	インターC	備考
山口 哩駟	男子 100m 自由形	予選	0:55.28	0:52.45	11位	BEST	0:50.59	0:49.96	0:49.33	
		決勝		0:52.60	B5位					
	男子 200m 自由形	予選	1:52.75	1:51.51	5位	BEST	1:50.62	1:49.24	1:47.86	
		決勝		1:50.31	B2位	BEST				ナショナル
	男子 400m 自由形	予選	3:56.01				3:53.53	3:51.78	3:50.03	
		決勝		3:51.28	2位	BEST				ジュニアA
	男子 50m 背泳ぎ	予選	0:27.52	26.85	4位	BEST				
		決勝		26.84	B1位	BEST				
	男子 100m 背泳ぎ	予選	0:56.69	57.37	4位		0:55.74	0:55.04	0:54.35	
		決勝		57.46	B1位					
	男子 200m 背泳ぎ	予選	2:04.88	2:00.69	2位	BEST	2:00.89	1:59.38	1:57.87	

		決勝		2:00.01	2位	BEST				ナショナル
	男子 200m 平泳ぎ	予選	2:12.01	2:15.52	1位		2:13.48	2:12.64	2:10.15	
		決勝		2:15.19	1位					
	男子 200m 個人メドレー	予選	2:00.96	2:02.18	3位		2:01.88	2:00.05	1:58.23	
		決勝		2:00.35	2位	BEST				ナショナル
	男子 400m 個人メドレー	予選	4:13.31				4:19.05	4:15.81	4:12.58	
		決勝		4:16.86	2位					ナショナル
松下 知之	男子 100m 自由形	予選	0:50.94	0:50.61	3位	BEST	0:50.59	0:49.96	0:49.33	
		決勝		0:50.58	4位	BEST				ナショナル
	男子 200m 自由形	予選	1:49.99	1:53.66	8位		1:50.62	1:49.24	1:47.86	
		決勝		1:50.57	B3位					ナショナル
	男子 100m 平泳ぎ	予選	1:04.32	1:04.84	4位		1:01.62	1:00.85	1:00.08	
		決勝		1:03.37	2位	BEST				
	男子 200m バタフライ	予選	1:59.82	2:05.13	5位		1:59.09	1:57.60	1:56.12	
		決勝		1:59.95	B1位					
	男子 200m 個人メドレー	予選	1:58.13	2:00.82	1位		2:01.88	2:00.05	1:58.13	
		決勝		1:59.32	1位					ジュニア A
男子 400m 個人メドレー	予選	4:14.46				4:19.05	4:15.81	4:12.58		
	決勝		4:12.20	1位	BEST				インターC	
中澤 海風	女子 100m 自由形	予選	0:57.62	0:58.82	7位		0:55.86	0:55.02	0:54.75	
		決勝		0:58.94						
	女子 200m 自由形	予選	2:08.78	2:08.24	11位	BEST	2:01.13	1:59.92	1:58.71	
		決勝		2:08.02	B5位	BEST				
	女子 50m 平泳ぎ	予選	0:33.09	0:33.26	3位					
		決勝		0:33.44	B1位					
	女子 100m 平泳ぎ	予選	1:09.08	1:09.63	2位		1:09.13	1:08.44	1:07.75	
		決勝		1:10.37	3位					
	女子 200m 平泳ぎ	予選	2:25.57	2:27.02	2位		2:28.00	2:26.14	2:25.78	
		決勝		2:26.95	2位					ナショナル
女子 200m 個人メドレー	予選	2:18.60	2:21.39	3位		2:14.44	2:12.43	2:11.76		
	決勝		2:20.60	3位						
成田 実生	女子 50m 自由形	予選	0:26.58	0:27.12	9位		0:25.84	0:25.36	0:25.20	
		決勝		0:27.55	B7位					
	女子 200m 自由形	予選	2:01.41	2:03.25	2位		2:01.13	1:59.92	1:58.71	
		決勝		2:09.38	7位					
	女子 400m 自由形	予選	4:14.29				4:14.33	4:10.68	4:09.47	
		決勝		4:26.37	8位					
	女子 50m 背泳ぎ	予選	0:29.75	0:30.38	6位					
		決勝		0:30.46	B1位					
	女子 200m 背泳ぎ	予選	2:09.67	2:15.61	1位		2:12.22	2:10.73	2:10.24	
		決勝		2:13.59	1位					

	女子 200m 個人メドレー	予選	2:10.27	2:15.21	1位		2:14.44	2:12.43	2:11.76	
		決勝		2:14.34	1位					ナショナル
	女子 400m 個人メドレー	予選	4:36.79				4:45.03	4:40.75	4:39.33	
		決勝		4:47.40	1位					
リレー	混合 4×50m フリーリレー	予選								
	松下・山口・成田・中澤	決勝	1:40.84		2位					

⑥ジュニアブロックシンガポール遠征 2023年3月14日～19日 シンガポール・シンガポール

選手団編成

団長	片沼 裕二			
ドクター	黒木 崇子			
ヘッドコーチ	糸井 統			
コーチ	熊谷 昌之	及川 雄輝	川俣 貴広	大柳 良弘
	花岡 敏雅	高野 伸	小林 春吉	三宅 俊行
	今井 孝	沖田 祥章		
男子	大橋 遙人	伊藤 瑠飛	佐藤 竜之介	金澤 岳踏
	辻仲 祥康	古江 良	高下 瑠唯	齋藤 龍
	横山 洸一郎	大岩 真海羽	鎌田 望琥人	根岸 歩夢
	西川 我咲	芳賀 樹	佐藤 佑亮	安藤 陽
	秋山 宗凜	林 睦己	山崎 慧	徳田 崇真
	渋谷 琥玲亜	西田 瑞稀		
女子	福井 小遥	玉村 陽葵	高橋 凜	佐々木 珠南
	渡邊 菜月	後藤 結愛	横田 心愛	石川 真菜
	坂本 千紗	石塚 宇海	清水 花峰	大西 琴葉
	吉永 晴香	山口 真理恵	二宮 陽風	谷本 美乃
	岡野 未美	斉藤 あこ	芝 怜菜	漕上 結夢
	牟田 楓	池田 莉央		

成績

男子	種目名	予/決	ベストタイム	記録	順位	ベスト	備考
秋山 宗凜	男子 100m 背泳ぎ	予選	00:56.61	00:59.85	12		
	男子 100m バタフライ	予選	00:55.95	00:55.93	10	Best	
		15-B 決勝	00:55.93	00:55.87	2	Best	
	男子 200m バタフライ	予選	02:04.63	02:04.84	4		
		決勝	02:04.63	02:05.35	4		
	男子 50m 背泳ぎ	予選		00:27.83	15	Best	
男子 50m バタフライ	予選	00:25.84	00:25.96	18			
安藤 陽	男子 100m 自由形	予選	00:51.87	00:51.63	11	Best	
		15-決勝	00:51.63	00:51.35	1	Best	ナショ突破
	男子 100m バタフライ	予選	00:56.00	00:55.46	9	Best	
		15-B 決勝	00:55.46	00:55.09	1	Best	
	男子 200m 自由形	予選	01:52.78	01:53.64	8		
15-B 決勝		01:52.78	01:53.88	2			
男子 400m 個人メドレー	予選	04:52.08	04:40.97	7	Best		

		15-B 決勝	04:40.97	04:35.29	1	Best	
	男子 400m 自由形	予選	04:03.07	04:04.09	6		
		15-決勝	04:03.07	04:02.92	1	Best	
	男子 50m 自由形	予選	00:24.41	00:24.26	18	Best	
	男子 50m バタフライ	予選	00:28.68	00:25.04	7	Best	
		15-決勝	00:25.04	00:25.20	2		
	男子 800m 自由形	15-17 決勝	08:35.68	08:26.36	2	Best	
伊藤 瑠飛	男子 100m 自由形	予選	00:53.36	00:51.97	14	Best	
		15-B 決勝	00:51.97	00:52.12	2		
	男子 200m 自由形	予選	02:00.32	01:57.12	20	Best	
	男子 400m 個人メドレー	予選		04:54.08	19	Best	
	男子 400m 自由形	予選		04:12.77	16	Best	
	男子 50m 自由形	予選	00:24.35	00:24.41	21		
	男子 50m バタフライ	予選		00:25.58	14	Best	
大岩真海羽	男子 100m 平泳ぎ	予選	01:03.63	01:03.32	5	Best	
		15-決勝	01:03.32	01:03.24	1	Best	
	男子 200m 個人メドレー	予選	02:07.23	02:08.68	4		
		15-決勝	02:07.23	02:07.71	1		
	男子 200m 自由形	予選	02:05.87	02:01.46	39	Best	
	男子 200m 平泳ぎ	予選	02:14.68	02:15.78	2		
		決勝	02:14.68	02:15.55	4		ナショ突破
	男子 400m 個人メドレー	予選		04:44.23	9	Best	
		15-B 決勝	04:44.23	04:37.52	2	Best	
	男子 50m 自由形	予選	00:25.86	00:25.45	60	Best	
男子 50m 平泳ぎ	予選	00:29.94	00:29.88	16	Best		
金澤 岳踏	男子 100m 自由形	予選	00:53.25	00:54.60	44		
	男子 200m 自由形	予選		02:02.27	44	Best	
	男子 400m 個人メドレー	予選		05:00.17	27	Best	
	男子 400m 自由形	予選		04:25.73	34	Best	
	男子 50m 自由形	予選	00:24.33	00:24.83	37		
	男子 50m バタフライ	予選		00:26.21	22	Best	
鎌田望琉人	男子 100m 自由形	予選	00:53.57	00:53.63	34		
	男子 100m バタフライ	予選	00:55.42	00:56.28	13		
	男子 100m 平泳ぎ	予選	01:02.30	01:03.41	6		
		15-B 決勝	01:02.30	01:03.25	1		
	男子 100m 平泳ぎ	スイムオフ	01:03.15	01:03.49	2		
	男子 200m 平泳ぎ	予選	02:17.45	02:24.13	14		
	男子 50m 平泳ぎ	予選	00:29.10	00:29.11	10		選手権突破
15-B 決勝		00:29.10	00:28.93	1	Best	選手権突破	
齋藤 龍	男子 100m 自由形	予選	01:01.91	00:55.74	61	Best	
	男子 100m 背泳ぎ	予選	01:08.93	01:02.32	19	Best	
	男子 100m 平泳ぎ	予選	01:03.54	01:04.08	10		

	男子 200m 自由形	予選	02:09.45	02:01.78	41	Best	
	男子 200m バタフライ	予選		02:14.78	22	Best	
	男子 200m 平泳ぎ	予選	02:14.39	02:14.31	1	Best	ナショ突破、選手権突破
		決勝	02:14.31	02:14.31	2	Best	ナショ突破、選手権突破
	男子 400m 個人メドレー	予選	04:31.89	04:33.11	5		
		決勝	04:31.89	04:32.44	2		
	男子 50m 背泳ぎ	予選	00:31.68	00:28.82	27	Best	
	男子 50m 平泳ぎ	予選	00:29.55	00:29.55	14	Best タイ	
佐藤 佑亮	男子 100m 背泳ぎ	予選	00:55.89	00:55.73	2	Best	選手権突破
		決勝	00:55.73	00:55.61	2	Best	選手権突破
	男子 100m バタフライ	予選	00:55.36	00:54.96	5	Best	
		決勝	00:54.96	00:54.96	4	Best タイ	
	男子 200m 背泳ぎ	予選	02:01.23	02:04.75	1		
		決勝	02:01.23	02:02.21	1		選手権突破
男子 50m 背泳ぎ	予選	00:26.32	00:26.64	4		選手権突破	
	15-決勝	00:26.32	00:25.66	1		選手権突破	
佐藤竜之介	男子 100m 自由形	予選	00:52.36	00:52.49	17		
	男子 1500m 自由形	タイム決勝	16:19.21	16:01.42	2	Best	
	男子 200m 自由形	予選	01:53.66	01:53.81	10		
	男子 400m 自由形	予選	04:01.32	04:08.40	11		
		15-B 決勝	04:01.32	04:06.06	2		
	男子 50m 自由形	予選	00:24.06	00:24.34	20		
男子 800m 自由形	15-17 決勝	08:35.64	08:26.64	3	Best		
渋谷琥玲亜	男子 100m 自由形	予選	00:51.69	00:52.68	18		
	男子 200m 自由形	予選	01:54.18	01:56.55	17		
	男子 50m 自由形	予選	00:23.80	00:24.25	17		
	男子 50m バタフライ	予選	00:25.21	00:25.31	11		
		15-B 決勝	00:25.21	00:25.14	2	Best	
男子 50m 平泳ぎ	予選	00:31.18	00:30.79	28	Best		
辻仲 祥康	男子 100m 自由形	予選		00:54.06	37	Best	
	男子 100m バタフライ	予選		01:01.44	51	Best	
	男子 100m 平泳ぎ	予選	01:02.44	01:02.25	2	Best	選手権突破
		決勝	01:02.25	01:02.94	3		選手権突破
	男子 200m 平泳ぎ	予選	02:16.91	02:16.62	3	Best	
		15-決勝	02:16.62	02:19.92	2		
男子 50m 平泳ぎ	予選	00:28.86	00:29.05	9		選手権突破	
	15-B 決勝	00:28.86	00:29.00	2		選手権突破	
徳田 崇真	男子 100m 自由形	13-14 予選	00:55.77	00:55.30	1	Best	
		13-14 決勝	00:55.30	00:55.09	1	Best	
	男子 200m 自由形	13-14 予選	01:58.30	01:59.67	1		
		13-14 決勝	01:58.30	01:58.07	1		
	男子 400m 個人メドレー	13-14 予選	04:52.21	04:48.66	1	Best	

		13-14 決勝	04:48.66	04:43.03	1	Best	
	男子 400m 自由形	13-14 予選	04:11.22	04:15.34	1		
		13-14 決勝	04:11.22	04:08.66	1	Best	
	男子 50m 自由形	13-14 予選	00:26.25	00:25.89	3	Best	
		13-14 決勝	00:25.89	00:25.76	3	Best	
	男子 50m バタフライ	13-14 予選		00:27.99	2	Best	
		13-14 決勝	00:27.99	00:27.83	5	Best	
西川 我咲	男子 200m 個人メドレー	予選	02:02.13	02:03.41	1		選手権突破
		決勝	02:02.13	02:02.77	1		選手権突破
	男子 200m 自由形	予選	01:52.52	01:53.02	6		
		15-決勝	01:52.52	01:51.96	1	Best	
	男子 400m 個人メドレー	予選	04:17.68	04:25.62	1		選手権突破
		決勝	04:17.68	04:20.59	1		選手権突破
	男子 400m 自由形	予選	03:54.89	03:57.06	2		選手権突破
		決勝	03:54.89	03:54.92	2		選手権突破
西田 瑞稀	男子 100m 自由形	13-14 予選		00:56.26	2	Best	
		13-14 決勝	00:56.26	00:55.10	2	Best	
	男子 100m 背泳ぎ	13-14 予選	00:58.93	01:02.57	1		
		13-14 決勝	00:58.93	01:00.51	1		
	男子 100m バタフライ	13-14 予選		00:59.88	1	Best	
		13-14 決勝	00:59.88	00:58.63	1	Best	
	男子 200m 背泳ぎ	13-14 予選	02:11.74	02:17.61	1		
		13-14 決勝	02:11.74	02:12.51	1		
	男子 50m 自由形	13-14 予選		00:25.62	2	Best	
		13-14 決勝	00:25.62	00:25.08	2	Best	
	男子 50m 背泳ぎ	13-14 予選		00:27.27	1	Best	
		13-14 決勝	00:27.27	00:27.02	1	Best	
	男子 50m バタフライ	13-14 予選		00:26.82	1	Best	
		13-14 決勝	00:26.82	00:26.56	1	Best	
	男子 50m 平泳ぎ	13-14 予選		00:32.51	5	Best	
		13-14 決勝	00:32.51	00:33.45	7	Best	
根岸 歩夢	男子 100m 平泳ぎ	予選	01:09.43	01:07.24	21	Best	
	男子 200m 個人メドレー	予選	02:09.13	02:08.20	3	Best	
		決勝	02:08.20	02:07.89	5	Best	
	男子 200m 自由形	予選	02:06.31	01:58.04	24	Best	
	男子 200m バタフライ	予選	02:14.94	02:08.17	8	Best	
		15-B 決勝	02:08.17	02:06.51	1	Best	
	男子 200m 平泳ぎ	予選	02:25.07	02:21.88	11	Best	
	男子 400m 個人メドレー	予選	04:29.54	04:31.20	3		
	決勝	04:29.54	04:29.22	1	Best		
芳賀 樹	男子 100m 背泳ぎ	予選	00:58.84	00:58.84	9	Best タイ	

		15-B 決勝	00:58.84	00:58.09	2	Best	
	男子 200m 自由形	予選	01:59.77	01:59.54	31	Best	
	男子 200m 背泳ぎ	予選	02:05.59	02:06.46	4		
		15-決勝	02:05.59	02:06.49	1		
	男子 400m 自由形	予選		04:11.08	12	Best	
	男子 50m 背泳ぎ	予選		00:27.64	13	Best	
高下 瑠唯	男子 100m バタフライ	予選	00:54.86	00:55.22	6		
		15-決勝	00:54.86	00:55.21	1		
	男子 200m バタフライ	予選	01:59.59	02:01.65	1		
		決勝	01:59.59	02:00.64	1		
男子 50m バタフライ	予選		00:25.35	12	Best		
林 睦己	男子 100m 自由形	予選	00:51.88	00:52.81	19		
	男子 200m 自由形	予選	01:58.16	01:58.53	25		
	男子 400m 個人メドレー	予選		04:57.31	23	Best	
	男子 400m 自由形	予選		04:21.92	28	Best	
	男子 50m 自由形	予選	00:24.44	00:24.58	26		
	男子 50m バタフライ	予選		00:26.80	37	Best	
古江 良	男子 100m 自由形	予選	00:53.35	00:53.43	29		
	男子 1500m 自由形	タイム決勝	16:25.78	16:08.10	3	Best	
	男子 200m 自由形	予選	01:53.46	01:54.89	12		
	男子 400m 自由形	予選	04:02.24	04:08.29	10		
		15-B 決勝	04:02.24	04:01.37	1	Best	
	男子 50m 自由形	予選		00:24.70	32	Best	
男子 800m 自由形	15-17 決勝	08:42.28	08:20.30	1	Best		
山崎 慧	男子 100m バタフライ	予選	00:57.55	00:58.50	24		
	男子 100m 平泳ぎ	予選	01:06.98	01:06.99	19		
	男子 200m 個人メドレー	予選	02:07.39	02:09.06	6		
		15-決勝	02:07.39	02:08.10	2		
	男子 200m バタフライ	予選	02:03.41	02:05.22	6		
		15-決勝	02:03.41	02:04.27	1		
	男子 400m 個人メドレー	予選	04:26.62	04:28.56	2		
		決勝	04:26.62	04:27.74	2		
男子 800m 自由形	18-決勝	08:23.44	08:20.98	2	Best		
横山光一郎	男子 100m バタフライ	予選	00:56.59	00:57.63	18		
	男子 100m 平泳ぎ	予選	01:03.15	01:03.41	6		
		15-決勝	01:03.15	01:03.54	2		
		スイムオフ		01:03.26	1		
	男子 200m 個人メドレー	予選		02:09.29	7	Best	
		15-B 決勝	02:09.29	02:08.42	1	Best	
	男子 200m 平泳ぎ	予選	02:15.27	02:19.55	8		
		15-B 決勝	02:15.27	02:19.26	1		
男子 50m 平泳ぎ	予選	00:29.10	00:29.30	12			



大橋 遙人	男子 100m 背泳ぎ	予選	00:57.45	00:57.87	6		
		15-決勝	00:57.45	00:58.59	2		
	男子 100m バタフライ	予選		01:00.31	38	Best	
	男子 200m 背泳ぎ	予選	02:06.17	02:10.12	8		
		15-決勝	02:06.17	02:07.28	2		
	男子 400m 自由形	予選		04:23.11	29	Best	
	男子 50m 背泳ぎ	予選		00:26.91	5	Best	選手権突破
		15-決勝		00:26.86	2		選手権突破
日本 A	男子 4×200m フリーリレー	タイム決勝		07:29.78	2	高下・佐藤竜・西川・安藤	
日本 B	男子 4×200m フリーリレー	タイム決勝		07:36.70	なし	古江・渋谷・佐藤佑・山崎	
日本 A	男子 4×100m メドレーリレー	タイム決勝		03:43.74	2	佐藤 (ナシヨ)・辻中・高下・安藤	
日本 B	男子 4×100m メドレーリレー	タイム決勝		DQ	なし	大橋・大岩・鎌田・伊藤	
日本 A	混合 4×100m メドレーリレー	タイム決勝		03:53.18	1	佐藤 (ナシヨ)・辻中・坂本・高橋	
日本 B	混合 4×100m メドレーリレー	タイム決勝		03:57.29	なし	大橋・大岩・清水・吉永	
日本 A	男子 4×100m フリーリレー	タイム決勝		03:26.96	1	佐藤佑・佐藤竜・渋谷・西川	
日本 B	男子 4×100m フリーリレー	タイム決勝		03:27.33	なし	伊藤・安藤・林・古江 (日本中学新)	

女子	種目名	予/決	ベストタイム	記録	順位	ベスト	備考
池田 莉央	女子 100m 自由形	15-予選		00:59.40	19	Best	
	女子 100m バタフライ	予選	01:01.80	01:03.07	12		
	女子 200m 個人メドレー	予選		02:23.56	5	Best	
	女子 200m 自由形	予選		02:06.22	5	Best	
		決勝	02:06.22	02:06.37	6		
	女子 200m バタフライ	予選	02:14.62	02:19.54	7		
	女子 400m 自由形	予選	04:26.59	04:29.75	3		
		15-決勝	04:26.59	04:27.26	1		
女子 50m 自由形	予選		00:27.55	24	Best		
女子 50m バタフライ	予選		00:28.69	12	Best		
石川 真菜	女子 100m 平泳ぎ	13-14 予選	01:09.89	01:11.66	1		
		13-14 決勝	01:09.89	01:10.53	1		選手権突破
	女子 200m 個人メドレー	13-14 予選	02:16.03	02:18.98	2		
		決勝	02:16.03	02:14.42	1	Best	ナシヨ突破、選手権突破
	女子 200m 平泳ぎ	13-14 予選	02:32.87	02:33.89	1		
		13-14 決勝	02:32.87	02:33.39	1		
女子 50m 平泳ぎ	13-14 予選	00:32.72	00:32.68	1	Best	選手権突破	
	決勝	00:32.68	00:32.59	1	Best	選手権突破	
石塚 宇海	女子 100m 自由形	13-14 予選	01:00.56	01:00.85	4		
		13-14B 決勝	01:00.56	00:59.86	2	Best	
	女子 100m バタフライ	13-14 予選	01:01.41	01:02.08	1		
		13-14 決勝	01:01.41	01:01.41	2	Best タイ	ナシヨ突破
	女子 200m 個人メドレー	13-14 予選	02:26.33	02:28.47	4		

		13-14 決勝	02:26.33	02:26.97	2		
	女子 200m バタフライ	13-14 予選	02:12.76	02:14.92	2		ナショ突破
		13-14 決勝	02:12.76	02:14.87	1		ナショ突破
	女子 50m 自由形	13-14 予選	00:27.92	00:28.30	4		
		13-14 決勝	00:27.92	00:27.61	2	Best	
	女子 50m バタフライ	13-14 予選	00:28.38	00:29.04	3		
		13-14B 決勝	00:28.38	00:28.43	1		
	女子 800m 自由形	タイム決勝		09:19.33	3	Best	
大西 琴葉	女子 100m 背泳ぎ	予選	01:04.09	01:05.34	4		
		15-決勝	01:04.09	01:05.07	2		
	女子 200m 背泳ぎ	予選	02:18.56	02:20.94	3		
		15-決勝	02:18.56	02:21.42	1		
	女子 50m 自由形	予選		00:28.15	36	Best	
	女子 50m 背泳ぎ	予選	00:30.80	00:30.13	3	Best	
15-決勝		00:30.13	00:29.93	2	Best	選手権突破	
女子 50m バタフライ	予選		00:30.01	35	Best		
岡野 未美	女子 100m 自由形	15-予選	00:56.91	00:57.46	5		
		15-決勝	00:56.91	00:57.17	1		
	女子 100m バタフライ	予選		01:06.78	26	Best	
	女子 1500m 自由形	タイム決勝		18:42.36	3	Best	
	女子 200m 自由形	予選	02:06.66	02:10.62	16		
	女子 50m 自由形	予選	00:26.32	00:26.81	10		
		15-B 決勝	00:26.32	00:26.60	1		
女子 50m バタフライ	予選		00:29.70	29	Best		
後藤 結愛	女子 100m 自由形	15-予選	00:58.27	00:58.65	12		
	女子 100m バタフライ	予選	01:00.90	01:01.20	6		
		15-決勝	01:00.90	01:00.76	1	Best	
	女子 200m バタフライ	予選	02:16.16	02:20.26	9		
	女子 50m 自由形	予選	00:26.50	00:26.79	9		
		15-B 決勝	00:26.50	00:26.71	2		
女子 50m バタフライ	予選	00:27.98	00:28.13	7			
	15-B 決勝	00:27.98	00:27.85	1	Best		
斉藤 あこ	女子 100m バタフライ	13-14 予選	01:00.94	01:02.24	2		
		13-14 決勝	01:00.94	01:01.23	1		
	女子 200m 個人メドレー	13-14 予選	02:20.90	02:21.24	3		
		13-14 決勝	02:20.90	02:20.01	1	Best	
	女子 200m 背泳ぎ	13-14 予選		02:22.07	1	Best	
		13-14 決勝	02:22.07	02:22.72	1		
	女子 200m バタフライ	13-14 予選	02:13.47	02:14.26	1		
		決勝	02:13.47	02:15.02	3		
女子 200m 平泳ぎ	13-14 予選		02:44.90	3	Best		

		13-14 決勝	02:44.90	02:43.88	2	Best	
	女子 50m バタフライ	13-14 予選	00:28.53	00:28.71	2		
		13-14 決勝	00:28.53	00:28.54	2		
	女子 800m 自由形	タイム決勝		09:20.51	4	Best	
坂本 千紗	女子 100m バタフライ	予選	00:59.95	01:00.06	2		選手権突破
		決勝	00:59.95	00:59.78	3	Best	選手権突破
	女子 200m バタフライ	予選	02:14.31	02:13.83	2	Best	選手権突破
		決勝	02:13.83	02:12.58	2	Best	選手権突破
	女子 50m 自由形	予選	00:27.41	00:26.99	12	Best	
	女子 50m 背泳ぎ	予選		00:31.01	9	Best	
女子 50m バタフライ	予選	00:27.09	00:27.62	4		選手権突破	
	15-決勝	00:27.09	00:27.25	1		選手権突破	
佐々木珠南	女子 200m 個人メドレー	13-14 予選	02:14.74	02:18.12	1		
		決勝	02:14.74	02:16.33	2		ナショ突破、選手権突破
	女子 400m 個人メドレー	13-14 予選	04:46.35	04:54.63	1		
		決勝	04:46.35	04:52.30	1		ナショ突破、選手権突破
	女子 400m 自由形	13-14 予選		04:20.59	1	Best	
		決勝	04:20.59	04:17.31	2	Best	ナショ突破、選手権突破
女子 50m バタフライ	13-14 予選		00:28.23	1	Best		
	13-14 決勝	00:28.23	00:28.02	1	Best		
女子 50m 平泳ぎ	13-14 予選		00:33.00	2	Best	選手権突破	
	13-14 決勝	00:33.00	00:32.80	1	Best	選手権突破	
芝 怜菜	女子 100m 背泳ぎ	予選	01:02.71	01:03.56	1		
		決勝	01:02.71	01:03.36	1		選手権突破
	女子 200m 背泳ぎ	予選	02:15.83	02:19.82	2		
		決勝	02:15.83	02:17.16	1		
	女子 50m 自由形	予選	00:27.83	00:28.17	37		
	女子 50m 背泳ぎ	予選	00:29.62	00:29.57	1	Best	選手権突破
決勝		00:29.57	00:29.24	1	Best	選手権突破	
女子 50m バタフライ	予選	00:29.13	00:28.78	13	Best		
女子 50m 平泳ぎ	予選		00:35.94	23	Best		
清水 花峰	女子 100m バタフライ	予選	01:00.17	01:00.84	4		
		決勝	01:00.17	01:00.24	4		選手権突破
	女子 200m 個人メドレー	予選	02:24.42	02:24.74	7		
	女子 200m バタフライ	予選	02:22.17	02:18.81	5	Best	
		15-B 決勝	02:18.81	02:18.40	2	Best	
	女子 50m 自由形	予選	00:27.13	00:27.86	31		
	女子 50m 背泳ぎ	予選	00:32.13	00:30.92	6	Best	
		15-B 決勝	00:30.92	00:30.60	2		
女子 50m バタフライ	予選	00:27.22	00:27.35	2		選手権突破	
	決勝	00:27.22	00:27.10	2	Best	選手権突破	
高橋 凛	女子 100m 自由形	15-予選	00:56.43	00:57.16	4		選手権突破

		決勝	00:56.43	00:56.45	3		
	女子 100m バタフライ	予選	01:02.76	01:05.97	21		
	女子 200m 自由形	予選	02:06.07	02:07.77	9		
		15-B 決勝	02:06.07	02:05.46	2	Best	
	女子 50m 自由形	予選	00:25.86	00:26.27	4		
		決勝	00:25.86	00:25.90	3		選手権突破
	女子 50m バタフライ	予選	00:28.08	00:28.60	11		
谷本 美乃	女子 100m 自由形	13-14 予選	00:58.36	00:59.77	1		
		13-14 決勝	00:58.36	00:58.47	2		
	女子 100m 背泳ぎ	13-14 予選	01:05.25	01:08.18	3		
		13-14 決勝	01:05.25	01:05.40	1		
	女子 200m 個人メドレー	13-14 予選		02:28.89	5	Best	
		13-14B 決勝	02:28.89	02:21.50	1	Best	
	女子 200m 自由形	13-14 予選	02:03.47	02:04.43	1		
		決勝	02:03.47	02:04.02	4		
女子 400m 自由形	13-14 予選		04:20.73	2	Best		
	決勝	04:20.73	04:15.87	1	Best	ナショ突破、選手権突破	
女子 800m 自由形	タイム決勝		08:49.93	1	Best	ナショ突破、選手権突破	
二宮 陽風	女子 100m 平泳ぎ	予選	01:09.81	01:10.94	2		
		決勝	01:09.81	01:10.52	2		選手権突破
	女子 200m 平泳ぎ	予選	02:28.69	02:33.28	2		
		決勝	02:28.69	02:34.20	2		
	女子 50m バタフライ	予選	00:29.33	00:28.83	14	Best	
	女子 50m 平泳ぎ	予選	00:33.17	00:33.60	4		
15-B 決勝		00:33.17	00:33.39	2			
瀬上 結夢	女子 100m 自由形	13-14 予選	01:00.04	01:00.75	3		
		13-14B 決勝	01:00.04	00:59.82	1	Best	
	女子 200m 自由形	13-14 予選	02:07.10	02:09.04	2		
		13-14 決勝	02:07.10	02:08.13	2		
	女子 400m 自由形	13-14 予選	04:28.46	04:33.82	3		
		13-14 決勝	04:28.46	04:30.88	1		
女子 50m 自由形	13-14 予選	00:28.02	00:28.54	5			
	13-14B 決勝	00:28.02	00:28.30	1			
女子 800m 自由形	タイム決勝	09:13.62	09:12.88	2	Best		
牟田 楓	女子 100m バタフライ	予選	00:59.89	01:00.94	5		
		15-決勝	00:59.89	01:01.53	2		
	女子 200m 個人メドレー	予選	02:20.72	02:23.49	4		
		15-B 決勝	02:20.72	02:22.64	2		
	女子 200m バタフライ	予選	02:14.63	02:15.73	3		
		15-決勝	02:14.63	02:16.85	1		
女子 50m バタフライ	予選	00:27.89	00:27.71	5	Best	選手権突破	
	15-決勝	00:27.89	00:28.23	2			

山口真理恵	女子 200m 個人メドレー	予選	02:21.12	02:23.73	6		
	女子 200m バタフライ	予選	02:14.01	02:18.90	6		
		15-B 決勝	02:14.01	02:17.38	1		
	女子 200m 平泳ぎ	予選		02:48.23	15	Best	
		15-B 決勝	02:48.23	02:47.11	1	Best	
	女子 400m 個人メドレー	予選	04:54.25	05:02.71	1		
		決勝	04:54.25	05:03.70	3		
女子 400m 自由形	予選	04:28.53	04:27.63	1	Best		
	15-決勝	04:27.63	04:33.60	2			
女子 800m 自由形	タイム決勝	09:19.02	09:15.45	1	Best		
横田 心愛	女子 100m 平泳ぎ	予選	01:09.29	01:10.14	1		選手権突破
		決勝	01:09.29	01:09.54	1		選手権突破
	女子 200m 個人メドレー	予選	02:21.01	02:21.97	1		
		15-決勝	02:21.01	02:20.94	2	Best	
	女子 200m 平泳ぎ	予選	02:26.38	02:30.21	1		選手権突破
		決勝	02:26.38	02:28.44	1		
女子 50m 平泳ぎ	予選		00:32.68	1	Best	選手権突破	
	決勝	00:32.68	00:32.81	2		選手権突破	
吉永 晴香	女子 100m 自由形	決勝	00:56.49	00:56.54	4		選手権突破
		15-予選	00:56.49	00:56.97	3		
	女子 200m 自由形	予選	02:06.58	02:07.65	8		
		15-B 決勝		02:05.25	1	Best	
	女子 50m 自由形	予選	00:26.07	00:26.35	5		スイムオフ
		決勝	00:26.07	00:26.33	4		
女子 50m バタフライ	予選	00:30.99	00:29.63	26	Best		
女子 50m 自由形	スイムオフ	00:26.07	00:25.95	1	Best	選手権突破	
玉村 陽葵	女子 100m 自由形	15-予選	01:01.13	01:00.27	28	Best	
	女子 100m バタフライ	予選		01:10.83	45	Best	
	女子 200m 自由形	予選		02:19.20	56	Best	
	女子 50m 自由形	予選	00:27.15	00:27.22	16		
	女子 50m バタフライ	予選		00:30.22	36	Best	
渡邊 菜月	女子 100m 背泳ぎ	予選	01:05.64	01:06.51	7		
	女子 200m 個人メドレー	予選	02:21.61	02:22.39	3		
		15-B 決勝	02:21.61	02:22.53	1		
	女子 200m 背泳ぎ	予選	02:16.70	02:19.13	1		
		決勝	02:16.70	02:17.35	2		
	女子 400m 個人メドレー	予選	04:58.16	05:03.20	2		
15-決勝		04:58.16	05:02.32	2			
福井 小遥	女子 100m 自由形	15-予選	00:59.43	01:00.33	31		
	女子 100m バタフライ	予選	01:01.38	01:01.95	7		
		15-B 決勝	01:01.38	01:02.14	1		

	女子 200m バタフライ	予選	02:15.84	02:18.26	4	
		15-決勝	02:15.84	02:18.80	2	
	女子 50m 自由形	予選	00:26.56	00:27.79	30	
	女子 50m バタフライ	予選		00:28.31	8	Best
15-B 決勝			00:28.69	2	Best	
日本 A	女子 4×100m フリーリレー	タイム決勝		03:47.49	1	佐々木 (ナシヨ) ・高橋・岡野・吉永
日本 B	女子 4×100m フリーリレー	タイム決勝		03:55.45	なし	石川・谷本・池田・齊藤
日本 A	女子 4×200m フリーリレー	タイム決勝		08:20.81	1	佐々木 (ナシヨ) ・谷本・吉永・高橋
日本 B	女子 4×200m フリーリレー	タイム決勝		08:34.89	なし	池田・齊藤・後藤・牟田
日本 A	女子 4×100m メドレーリレー	タイム決勝		04:08.15	1	芝・横田・坂本・高橋
日本 B	女子 4×100m メドレーリレー	タイム決勝		04:11.01	なし	大西・二宮・清水・吉永

⑦ 国際水泳 59°セツテコリ

7月

イタリア・セツテコリ 派遣中止

## 2. 飛込強化事業

2022 年は世界選手権大会 (ブダペスト) に選手 9 名を派遣し、全員決勝進出を果たした。中でも男子高飛込の玉井陸斗と女子 3m シンクロ飛板飛込の三上紗也可・金戸凜ペアの 2 種目は、日本飛込界念願の、21 年振りの表彰台となる銀メダルを獲得した。

一方で、新型コロナウイルス感染症拡大の影響でアジア大会ならびにユニバーシティゲームズは開催延期となり、選手選考は行ったが派遣はできなかった。国際競技会強化が必要な時期に重要な大会が延期となり、強化計画の変更を余儀なくされた。そこで 2024 年パリオリンピックでのメダル獲得を目標に、「重点強化」、「競技会強化」、「拠点強化」の 3 つの観点から強化事業を展開した。

2023 年度にはパリオリンピックの選考会となる 3 大会が開催される。そこで「重点強化」として、過去のオリンピックや世界選手権大会の結果をデータ化し目標得点および難易度を定め、女子飛板飛込ならびに男子高飛込で上位入賞を成し得る個人 MPA (メダルポテンシャルアスリート) を定めた。

次に「競技会強化」として、パリオリンピック選考内容の策定を行った。AQUA の定めた 2023 オリンピック選考要項に準じて、オリンピックまでのマイルストーンを明確にした。

最後に「拠点強化」では、コロナ禍の状況下でも継続的に国内合宿を実施できる練習拠点として。これまでお世話になってきた石川県、三重県、静岡県の公共プール施設に加え、飛込に特化した室内練習施設が充実している栃木県の日環アリーナをスポーツ庁「競技別強化拠点」として申請し、2023 年 2 月に認可された。これにより効率的な国内練習環境を整備できた。

ジュニア強化については、2022 年 12 月に世界ジュニア選手権大会 (モントリオール) に 5 名の選手を派遣したが、入賞 3 種目に留まった。技術力・精神力に長けた勝負強い選手の早期育成が課題として明確となった。ジュニアナショナル強化合宿に加えエリート小学生合宿を実施し、指導者のレベル向上を目的にしたスキルアップセミナーを飛込委員会独自で開催した。

### (1) 国際競技会

① 世界ジュニア選手権大会                      2022 年 11 月 27 日～12 月 4 日                      カナダ・モントリオール

選手団編成

ヘッドコーチ 大塚 奈保美

コーチ                      鈴木 義孝                      原口 進也

男子 伊熊 扇李 二羽 倭駕 片岡 三亮 神田 新  
 女子 関野 思衣  
 審判 坂田 和也  
 成績

出場者名	所属	種目名	参加人数	予選順位	得点	決勝順位	得点
伊熊 扇李	兵庫県立相生学院高等学校 (3年)	Boys A 3m	44	6	490.65	7	502.50
	JSS宝塚	Boys A 1 m	41	10	407.25	7	429.45
二羽 倭駕	石川県立小松大谷高等学校 (2年)	Boys A Platfrom	31	17	413.30	—	—
		Boys A 3m	44	8	485.90	12	454.35
伊熊 扇李	兵庫県立相生学院高等学校 (3年)	Boys Synchro 3m	18ヵ国	—	—	8	267.69
二羽 倭駕	石川県立小松大谷高等学校 (2年)						
神田 新	佐賀学園高等学校 (1年)	Boys B Platfrom	28	18	328.35	—	—
片岡 三亮	愛知県飛島村立飛島学園 (中3年)	Boys B 3m	34	14	362.10	—	—
		Boys B 1m	30	18	314.05	—	—
関野 思衣	栃木県立宇都宮南高等学校 (3年)	Girls A 3m	43	27	312.70	—	—
		Girls A 1m	40	34	251.45	—	—

- ② AQUA 飛込ワールドシリーズ 未定 未定 派遣中止  
 ③ AQUA 飛込グランプリ 未定 未定 派遣中止

### 3. 水球強化事業

東京オリンピック後に男女とも体制を一新し、ロサンゼルスオリンピック以降をターゲットとする長期視点での強化を志向し再スタートを切った。しかしながら 2022 年度もいまだコロナ禍の影響が続き、十分な強化ができない状況が続いた。計画されていた世界選手権大会（福岡）、アジア大会、ワールドユニバーシティゲームズがともに延期となった。

他方、年度計画になかった大会として、ハンガリー・ブダペストで世界選手権大会（男子のみ参加資格を有する）が、タイ・バンコックでアジア選手権大会（男女）が、それぞれ期中に開催されることが決まり参加した。ブダペスト世界選手権大会（男子）は、東京オリンピックから4名若手に入れ替え参戦し、あと一步でベスト8を逃したものの過去最高位である9位と一定の収穫を得た。アジア選手権大会は、男子はあえて若手登用をして参戦し、全勝優勝した。他方女子については中国に決勝で敗れ準優勝となったものの、シュート決定力の向上など課題が明確になった。男女とも延期となったアジア大会に繋がる大きな収穫を得た。また男子は、2023年1月にオーストラリアから招聘を受け国際交流試合に、続いて3月には、新たなAQUA大会であるワールドカップ大会ディビジョン1に選抜され、それぞれ参加した。

年代別大会については、U16（この年代初めての世界大会）男女、U18女子（男子は国内主要競技大会と重なり参戦を断念）の派遣を実現できた。この年代から国際大会への参加を経験させ、将来の日本代表へのモチベーションを持たせるようリードしていきたい。「大型の海外選手に慣れ、経験を積む」「フル代表が展開する日本独自戦術・考え方」をテーマに指導することが肝要であり、12月桃太郎カップ後（倉敷）U16対象、3月潮風カップ後（柏崎）U18対象、としてそれぞれ研修合宿を実施して、指導については、日本代表スタッフならびに、代表選手にも参加してもらい実施した。

(1) 国際競技会

①女子 U18 世界選手権大会

2022年8月1日～8月8日

セルビア・ベオグラード

選手団編成

ヘッドコーチ 竹井 昂司  
コーチ 泉尾 麻貴子 渡邊 泰典  
女子 甘庶 乃亜 山本 琴美 西澤 理子 片田 咲良  
城之下 佳歩 小林 真穂 山本 はる 石井 紗葉  
鈴木 杏梨 温井 真心 小林 菜桜子 福田 星香  
山田 果林  
審判 黒崎 千智

成績

日本戦の結果				最終順位				
日本	11	-	22	ギリシャ	1位	アメリカ	9位	クロアチア
日本	2	-	23	アメリカ	2位	ギリシャ	10位	カナダ
日本	11	-	19	ウズベキスタン	3位	ハンガリー	11位	カザフスタン
日本	24	-	9	トルコ	4位	イタリア	12位	ウズベキスタン
日本	16	-	19	セルビア	5位	スペイン	13位	セルビア
					6位	オーストラリア	14位	日本
					7位	オランダ	15位	南アフリカ
					8位	ニュージーランド	16位	トルコ

②男女 U16 世界選手権大会

2022年8月21日～8月27日

ギリシャ・ヴォロス/ラリッサ

選手団編成

ヘッドコーチ 南 隆尚  
コーチ 足立 聖弥 西村 永遠 森 翼 羽角 萌香  
男子 大神 幸真 山中 智敦 米田 竜将 上坂 飛嘉  
井上 皆 飯島 颯大 岡本 宝生 庄山 優  
後藤 竜ノ輔 森川 翔 深山 碧空 皆川 大空  
女子 甘庶 乃亜 松本 小帆 傍嶋 さくら 城之下 佳歩  
山本 美凜 大前 実礼 諸橋 光理 福田 星香  
坂東 璃子 石森 愛椛 森田 梨咲  
審判 森林 和三 津崎 明日美

成績

【男子】日本戦の結果				最終順位				
日本	7	-	18	ギリシャ	1位	ハンガリー	9位	アメリカ
日本	14	-	9	ジョージア	2位	ギリシャ	10位	日本
日本	19	-	3	スイス	3位	セルビア	11位	ブラジル
日本	9	-	16	モンテネグロ	4位	モンテネグロ	12位	マルタ
日本	13	-	3	スロベニア	5位	イタリア	13位	オーストラリア
日本	12	-	9	ブラジル	6位	スペイン	14位	ドイツ
日本	4	-	12	アメリカ	7位	クロアチア	15位	エジプト
					8位	トルコ	16位	スロベニア

  

【女子】日本戦の結果				最終順位				
日本	11	-	10	アメリカ	1位	ハンガリー	9位	アメリカ





コーチ	笈井 翔太			
分析	山中 裕太			
トレーナー	岩田 泰典			
男子	棚村 克行	足立 聖弥	荻原 大地	渡邊 太陽
	伊達 清武	鈴木 透生	新田 一景	高田 充
	荒井 陸	稲場 悠介	大川 慶悟	荒木 健太
	佐々野 廉	西村 永遠		
審判	森林 和三			
成績				

日本戦の結果				最終順位	
日本	7	－	13	イタリア	1位
日本	11	－	13	アメリカ	2位
日本	7	－	17	ハンガリー	3位
日本	8	－	14	クロアチア	4位
日本	18	－	15	フランス	5位
					6位

⑤	女子ワールドリーグスーパーファイナル	7月11日～7月16日	未定	開催中止
⑥	男子ワールドリーグスーパーファイナル	7月23日～7月29日	フランス・ストラスブール	開催中止
⑦	男子U18大会	8月2日～8月10日	セルビア・ベオグラード	派遣中止

#### 4. AS強化事業

2022年度に派遣予定であった世界選手権大会（福岡）およびアジア大会（杭州）が延期になり、急遽開催が決まった世界選手権大会（ブダペスト）に代表チームを派遣した。その結果、ロシアが出場を認められなかったという背景もあり、ソロで乾友紀子がテクニカルとフリーともに制して2冠に輝き、ミックスデュエットは佐藤姉弟がテクニカルとフリーの両種目で銀、チームテクニカルとコンビネーションで銀、チームフリーで銅を獲得し、好成績を収めた。デュエットは新しいペア（吉田萌・比嘉もえ）でテクニカルのみに出場したが、新鋭オーストリアにかわされ4位に終わった。

ジュニアとユース年代は延期されていた世界選手権大会が再開し、世界ジュニア選手権大会（ケベックシティ、8月）と世界ユース選手権大会（シャーロット、8月）にそれぞれ代表チームを派遣した。世界ジュニア選手権大会には代表チームメンバーのジュニア年代である比嘉もえ、藤井萌夏、佐藤陽太郎も参戦し、比嘉はソロテクニカルとフリーの2種目で優勝、藤井と堀田雪菜のデュエットもテクニカルとフリーの2種目で優勝、ミックスに出場した佐藤と島田綾乃もテクニカルとフリーの2種目で優勝、さらにはチームテクニカルとコンビネーションでも優勝し、日本のジュニア層の強さを印象づけた。世界ジュニア選手権大会では初めて男子ソロも公式導入され、佐藤陽太郎がテクニカルとフリーで銀、またコンビネーションに男子の参加が認められ、佐藤が女子とともに泳ぎ、新たな歴史を創った。世界ユース選手権大会においても、15歳の比嘉がソロに出場し、堂々の金メダルを獲得し、同一年にシニア、ジュニア、ユースの全年齢区分の世界大会に出場しメダルを獲得するという偉業を成し遂げた。デュエットとチームは銀、コンビネーションは金と、ユース年代においても日本の存在を世界に印象づけることができた。

下期は来年度に延期となった世界選手権大会（福岡）の代表選考を実施し、新チームで国内強化合宿をスタートさせ、新ルールで実施された初めての国際大会となったASワールドカップ第1戦（マ

一カム、3月)に挑んだ。2023年1月からの新ルール(国内は2023年4月から)運用に伴い、海外情報収集がこれまで以上に重要となり、国内でも複数回の研修会を開催し、テクニカルコントローラーの養成に着手するなど、新採点システムの伝達講習と競技会運営準備に努めた。

(1) 国際競技会

①ワールドシリーズオーストラリア 2022年4月8日～4月19日 オンライン開催

選手団編成

コーチ 加島 知葉 中川 加奈子 内山 まゆみ 酒井 麻里子  
 女子 佐藤 友花 小林 唄 廣田 樹 川口 愛莉  
 男子 佐藤 陽太郎  
 審判 鷺見 朗子 浦上 恭子  
 成績

ソロ テクニカル (出場数: 19)

順位			EX	IM	EL	得点
1	オーストリア	Vasiliki ALEXANDRI	24.4000	25.4000	34.3776	84.1776
2	カナダ	Audrey LAMOTHE	25.3000	25.0000	32.7599	83.0599
3	日本	廣田樹	25.3000	25.5000	31.9571	82.7571
	日本	小林唄	24.1000	24.0000	31.4751	79.5751
	日本	川口愛莉	24.2000	23.3000	30.6424	78.1424

ソロ フリー (出場数: 21)

順位			EX	AI	DIF	得点
1	カナダ	Audrey LAMOTHE	25.3000	34.0000	25.3000	84.6000
2	日本	廣田樹	25.2000	33.6000	25.1000	83.9000
3	イスラエル	Polina PRIKAZCHIKOVA	24.7000	33.4667	24.9000	83.0667

デュエット テクニカル (出場数: 18)

順位			EX	IM	EL	得点
1	オーストリア	Anna-Maria ALEXANDRI Eirini ALEXANDRI	26.8000	26.0000	35.0449	87.8449
2	イスラエル	Shelly BOBRITSKY Ariel NASSEE	24.9000	24.8000	32.9422	82.6422
3	日本	小林唄 川口愛莉	24.8000	24.3000	32.6360	81.7360

ミックスデュエット テクニカル (出場数: 7)

順位			EX	IM	EL	得点
1	日本	佐藤友花 佐藤陽太郎	24.6000	26.2000	32.7156	83.5156
2	スペイン	Emma GARCIA Pau RIBES	25.3000	25.6000	31.9584	82.8584
3	カザフスタン	Eduard KIM Zhaklin YAKIMOVA	24.1000	24.0000	30.7609	78.8609

ミックスデュエット フリー (出場数：8)

順位		EX	AI	DIF	得点
1	日本 佐藤友花 佐藤陽太郎	24.9000	33.0667	25.3000	83.2667
2	アメリカ Claudia COLETTI Kenneth GAUDET	24.4000	33.2000	24.5000	82.1000
3	スペイン Judith CALVO REQUENA Fernando DIAZ DEL RIO SOTO	24.2000	32.5333	25.0000	81.7333

②世界ユース選手権大会 2022年8月8日～8月14日 アメリカ・シャーロット

選手団編成

団長	本間 三和子				
チームリーダー	石山 加壽美				
コーチ	小野 茜				
総務	川村 優香	田邊 紗羅			
ドクター	川合 祐美				
女子	比嘉 もえ	三橋 理沙子	松本 レナ	新 佳乃子	
	百々 愛菜実	相高 花帆	白波瀬 菜桜	坪井 麗美伽	
	田中 ひなの	笠原 みのり	小山 采花	湯川 水晶	
審判	鷺見 朗子	浦上 恭子			

成績

ソロ決勝		決勝ルーティン	フィギュア	Total
1	日本 比嘉もえ	82.6000	79.2745	161.8745
2	フランス ALAVEZ, Laélys	81.2000	78.6308	159.8308
3	スペイン LORENZO LLUSCA, Carla	79.6667	76.7940	156.4607
4	カナダ VERBINSKA, Olena	77.6000	78.6112	156.2112
5	アメリカ BARRY, Ayla	78.2667	76.5294	154.7961
6	韓国 LEE, Sieun	75.7667	75.5098	151.2765
7	メキシコ ARGUMEDO GOMEZ, Camila	75.8000	75.1013	150.9013
8	スロバキア KRAJCOVICOVÁ, Lea Anna	73.8667	75.4314	149.2981

フリーコンビネーション決勝

決勝ルーティン

1	日本 比嘉,三橋,新,百々,相高,白波瀬,坪井,田中,笠原,小山, R松本,R湯川	82.4000
2	スペイン	81.3667
3	アメリカ	78.5667
4	メキシコ	76.3000
5	エジプト	71.6000

デュエット決勝

決勝ルーティン

フィギュア

Total

1	スペイン CALLE GARCIA, Rocio DE LA PUENTE DESCALS, Xenia	79.6333	78.5948	158.2281
2	日本 三橋 理沙子 松本 レナ	80.6333	74.1700	154.8033

3	カナダ	VERBINSKA, Olena WANG, Abby	77.3000	76.1030	153.4030
4	アメリカ	BARRY, Ayla XUE, Karen	77.8000	74.4543	152.2543
5	メキシコ	ARGUMEDO GOMEZ, Camila ARZATE CARBIA, Carolina	76.4667	73.6226	150.0893
6	スロバキア	KRAJCOVICOVÁ, Lea Anna STRAPEKOVÁ, Zofia	74.4333	73.8121	148.2454
7	韓国	KIM, Jiyeon LEE, Chayeun	74.0667	71.2663	145.3330
8	イギリス	BLINKHORN, Florence HALASI, Lily	73.1333	69.5981	142.7314

フィギュア (120名)			フィギュア得点	
1	比嘉 もえ	日本	2007	79.2745
10	新 佳乃子	日本	2007	76.3170
11	三橋 理沙子	日本	2008	76.2843
13	相高 花帆	日本	2007	75.6633
17	坪井 麗美伽	日本	2007	75.2353
25	白波瀬 菜桜	日本	2008	73.8366
30	百々 愛菜実	日本	2008	73.3758
39	笠原 みのり	日本	2007	72.4411
40	田中 ひなの	日本	2007	72.4020
42	小山 采花	日本	2007	72.3562
48	松本 レナ	日本	2007	72.0556
91	湯川 水晶	日本	2007	66.5392

チーム決勝	決勝ルーティン	フィギュア	Total
1 スペイン		76.2704	158.2704
2 日本	三橋,新,百々,相高,白波瀬,坪井,田中, 笠原,R松本,R小山	74.4444	156.4444
3 アメリカ		72.6736	151.2736
4 カナダ		71.4175	148.7175
5 メキシコ		71.0061	148.1061
6 スロバキア		69.6156	143.7489
7 シンガポール		61.2553	132.1220
8 オーストラリア		61.2304	127.6304

③世界ジュニア選手権大会

2022年8月20日～8月27日

カナダ・ケベックシティ

選手団編成

団長 本間 三和子

ヘッドコーチ 宮川 美哉

コーチ	鈴木 美保	江口 ころこ			
総務	田邊 紗羅				
ドクター	村田 大樹				
女子	比嘉 もえ	藤井 萌夏	島田 綾乃	堀田 雪菜	
	田部井 柚子	種田 なつは	内田 桜子	三上 ころこ	
	金光 碧音	橋本 毬愛	竹井 枝里菜	岡野 日和	
男子	佐藤 陽太郎				
審判	樋口 育子	小川 みゆき			
成績					

ソロ テクニカル決勝 (エントリー数: 19)

NOC	Name	Execution	Impression	Elements	得点
1 JPN	比嘉もえ	26.7000	26.2000	35.5438	88.4438
2 ITA	PEDOTTI, Susanna	26.0000	25.0000	34.2942	85.2942
3 FRA	JAILLARDON, Oriane	25.1000	25.2000	34.0904	84.3904
4 ESP	GARCIA POLO, Marina	25.5000	25.1000	33.4028	84.0028
5 CAN	LAMOTHE, Audrey	25.3000	24.6000	33.6463	83.5463
6 GRE	KARANGELOU, Zoi	24.9000	25.0000	33.0556	82.9556
7 MEX	VALENZUELA TORRES, Sofia	24.3000	24.1000	33.1581	81.5581
8 KAZ	MAGRUPOVA, Karina	24.3000	23.5000	32.4176	80.2176

ソロ フリー決勝 (エントリー数: 予選 20)

NOC	Name	Execution	Artistic Impression	Difficulty	得点
1 JPN	比嘉 もえ	26.8000	35.8667	27.1000	89.7667
2 ESP	GARCIA POLO, Marina	26.1000	35.2000	26.3000	87.6000
3 ITA	PEDOTTI, Susanna	26.2000	34.8000	25.8000	86.8000
4 FRA	JAILLARDON, Oriane	25.6000	34.4000	25.8000	85.8000
5 GRE	FRAGKAKI, Eleni	25.4000	33.8667	25.2000	84.4667
6 CAN	LAMOTHE, Audrey	25.0000	33.8667	25.3000	84.1667
7 MEX	ORTIZ MONTANO, Ximena	24.1000	33.0667	24.6000	81.7667
8 GER	BLEYER, Klara	24.3000	32.5333	24.5000	81.3333

男子ソロ テクニカル決勝 (エントリー数: 7)

NOC	Name	Execution	Impression	Elements	得点
1 ESP	GONZALEZ BONEU, Dennis	24.8000	24.6000	33.2639	82.6639
2 JPN	佐藤陽太郎	24.7000	23.8000	32.4088	80.9088
3 KAZ	KIM, Eduard	23.8000	23.3000	32.1620	79.2620
4 MEX	VILLALOBOS CARRILLO, Diego	23.3000	23.2000	32.2424	78.7424
5 USA	GAUDET, Kenneth	23.5000	22.9000	31.9625	78.3625
6 ITA	PELATI, Filippo	23.6000	22.7000	26.5598	72.8598
7 BRA	DA CUNHA, Murillo	21.8000	21.6000	28.9399	72.3399

男子ソロ フリー決勝 (エントリー数: 8)

NOC	Name	Execution	Artistic Impression	Difficulty	得点
1 ESP	GONZALEZ BONEU, Dennis	25.1	33.6000	24.9000	83.6000
2 JPN	佐藤陽太郎	25.4000	33.2000	24.7000	83.3000
3 KAZ	KIM, Eduard	23.9000	32.0000	23.7000	79.6000
4 MEX	VILLALOBOS CARRILLO, Diego	23.9000	31.7333	23.9000	79.5333
5 USA	GAUDET, Kenneth	23.2000	31.2000	23.5000	77.9000
6 ITA	PELATI, Filippo	23.1000	30.8000	23.4000	77.3000
7 GBR	TOMBLIN, Ranjuo	23.3000	30.2667	22.9000	76.4667
8 BRA	DA CUNHA, Murillo	21.9000	28.9333	22.2000	73.0333

デュエット テクニカル決勝 (エントリー数: 19)

NOC	Name	Execution	Overall Impression	Elements	得点
1 JPN	藤井萌夏 堀田雪菜	26.3000	26.8000	34.4591	87.5591
2 ESP	CRESPO, Aitana DIAZ CERVERA, Mercedes	25.7000	26.2000	33.7516	85.6516
3 FRA	LUNEL, Romane JAILLARDON, Oriane	25.5000	25.7000	33.4559	84.6559
4 ITA	DI LECCE, Arianna MEUCCI, Vittoria	25.2000	25.6000	33.2301	84.0301
5 GRE	FRAGKAKI, Eleni GIALAMA, Krystalena	24.9000	25.5000	32.6258	83.0258
6 CAN	GAUTHIER, Raphaelle TREMBLAY, Florence	24.3000	24.9000	32.0914	81.2914
7 USA	KWON, Audrey LIU, Calista	24.3000	24.4000	32.2161	80.9161
8 NED	REIJNEN, Noortje STEENBEEK, Marloes	24.2000	24.7000	31.2828	80.1828

デュエット フリー決勝 (エントリー数: 予選 22)

NOC	Name	Execution	Artistic Impression	Difficulty	得点
1 JPN	藤井萌夏 堀田雪菜	26.4000	35.7333	26.6000	88.7333
2 ESP	CRESPO, Aitana DIAZ CERVERA, Mercedes	26.6000	35.2000	26.4000	88.2000
3 ITA	MACCHI, Alessia PEDOTTI, Susanna	26.0000	34.6667	25.9000	86.5667
4 FRA	COMTE, Sasha VENTURI, Manon	25.7000	34.2667	25.5000	85.4667

5	GRE	FRAGKAKI, Eleni GIALAMA, Krystalena	25.5000	33.7333	25.1000	84.3333
6	NED	REIJNEN, Noortje STEENBEEK, Marloes	24.7000	33.2000	24.9000	82.8000
7	CAN	CORBEIL, Leonie FORTIN, Mya	24.7000	33.0667	25.0000	82.7667
8	MEX	AVILA VILLA, Daniela CARMONA VAZQUEZ, Fernanda Paola	24.3000	32.4000	24.6000	81.3000

ミックスデュエット テクニカル決勝 (エントリー10)

NOC	Name	Execution	Overall Impression	Elements	得点
1 JPN	佐藤陽太郎 島田彩乃	25.4000	25.6000	33.0251	84.0251
2 ESP	GONZALEZ BONEU, Dennis PARRA TELEGINA, Valeria	25.1000	25.3000	32.8318	83.2318
3 ITA	AUSTRANTI, Alessia PELATI, Filippo	23.9000	24.5000	31.1817	79.5817
4 KAZ	KIM, Eduard YAKIMOVA, Zhaklin	24.0000	23.9000	31.5254	79.4254
5 USA	GAUDET, Kenneth HUNTER, Keana	23.3000	23.7000	31.4544	78.4544
6 MEX	ORTIZ MONTANO, Ximena VILLALOBOS CARRILLO, Diego	23.1000	23.6000	30.2765	76.9765
7 GBR	CRASS, Beatrice TOMBLIN, Ranjuo	22.3000	22.9000	30.3572	75.5572
8 BRA	DA CUNHA, Murillo SHINOHARA, Nicole	21.5000	22.1000	28.6349	72.2349

ミックスデュエット フリー決勝 (エントリー9)

NOC	Name	Execution	Artistic Impression	Difficulty	得点
1 JPN	佐藤陽太郎 島田彩乃	25.9000	34.0000	25.8000	85.7000
2 ESP	BOFILL STRUB, Maria GONZALEZ BONEU, Dennis	25.5000	33.7333	25.4000	84.6333
3 KAZ	KIM, Eduard YAKIMOVA, Zhaklin	24.8000	32.6667	24.5000	81.9667
4 MEX	ORTIZ MONTANO, Ximena VILLALOBOS CARRILLO, Diego	24.6000	32.4000	24.2000	81.2000
5 ITA	AUSTRANTI, Alessia PELATI, Filippo	24.4000	32.0000	24.1000	80.5000



6	GBR	CRASS, Beatrice TOMBLIN, Ranjuo	23.4000	30.9333	23.3000	77.6333
7	BRA	AMBROSIO, Valentina DA CUNHA, Murillo	22.1000	29.4667	22.4000	73.9667
8	CHI	CAMPOS, Nicolas GARRIDO, Theodora	21.7000	29.3333	21.8000	72.8333

チーム テクニカル決勝 (エントリー数: 14)

NOC	Name	Execution	Artistic Impression	Elements	得点
1 JPN	藤井・島田・堀田・田部井・種田・内田・ 三上・橋本・R金光・R竹井	26.5000	26.8000	35.0786	88.3786
2 ESP		26.1000	26.3000	34.2667	86.6667
3 ITA		25.6000	25.8000	33.8905	85.2905
4 FRA		25.7000	25.5000	33.4634	84.6634
5 CAN		25.0000	25.2000	33.3095	83.5095
6 USA		25.0000	25.0000	32.6136	82.6136
7 MEX		24.4000	24.6000	31.7669	80.7669
8 SUI		23.6000	23.6000	31.3182	78.5182

チーム フリー決勝 (エントリー数: 予選13)

NOC	Name	Execution	Artistic Impression	Difficulty	得点
1 ESP		26.4000	36.0000	26.9000	89.3000
2 JPN	藤井・島田・堀田・田部井・種田・内田・ 三上・金光・R橋本・R岡野	26.8000	35.7333	26.7000	89.2333
3 ITA		26.0000	34.9333	26.0000	86.9333
4 FRA		25.7000	34.8000	25.6000	86.1000
5 GRE		25.4000	34.0000	25.8000	85.2000
6 CAN		25.0000	33.4667	25.2000	83.6667
7 MEX		24.7000	32.8000	24.9000	82.4000
8 SUI		23.6000	31.6000	23.9000	79.1000

ミックスフリーコンビネーション決勝 (エントリー数: 予選9)

NOC	Name	Execution	Artistic Impression	Difficulty	得点
1 JPN	藤井・島田・田部井・種田・内田・ 金光・橋本・竹井・岡野・佐藤・ R堀田・R三上	26.5000	35.8667	26.8000	89.1667
2 ESP		26.2000	35.2000	27.1000	88.5000
3 ITA		25.7000	34.6667	26.0000	86.3667
4 GRE		25.3000	34.1333	25.5000	84.9333

5 MEX	24.6000	33.0667	25.3000	82.9667
6 KAZ	23.7000	31.4667	23.9000	79.0667
7 BRA	22.5000	30.4000	22.7000	75.6000
8 EGY	22.6000	30.2667	22.5000	75.3667

④ワールドカップ (カナダ) 2023年3月14日～3月18日 カナダ・マーカム

選手団編成

団長	本間 三和子			
ヘッドコーチ	中島 貴子			
コーチ	加島 知葉	川合 真与	井村 雅代	
トレーナー	地神 裕史	大辻 裕樹		
テクニカル	伊藤 浩志			
女子	乾 友紀子	安永 真白	比嘉 もえ	吉田 萌
	木島 萌香	佐藤 友花	柳澤 明希	和田 彩未
	藤井 萌夏	島田 綾乃	小林 唄	廣田 憩
審判	山田 智子			

成績

ソロ テクニカル (エントリー数: 10)

NOC	Name	Total DD	Elements	AI	得点
1 ウクライナ	Marta FIEDINA	25.05	155.3917	89.9000	245.2917
2 日本	乾 友紀子	25.20	152.3917	90.4000	242.7917
3 カナダ	Audrey LAMOTHE	21.30	113.8833	82.4000	196.2833
4 スペイン	LLUIS VALETTE Lilou	19.05	104.8542	82.9500	187.8042
5 スペイン	PARRA TELEGINA Valeria	19.95	102.3166	79.5000	181.8166
6 フィンランド	KEKKI Pinja	22.55	104.5667	65.4500	170.0167

ソロ フリー (エントリー数: 10)

NOC	Name	Total DD	Elements	AI	得点
1 日本	乾 友紀子	26.45	224.7791	95.0500	319.8291
2 スペイン	LLUIS VALETTE Lilou	19.10	154.9041	85.2000	240.1041
3 カナダ	PLATANIOTI Evangelia	16.25	135.9041	88.6000	224.5041
4 スペイン	FERRE GASET Txell	14.10	127.5540	84.2500	211.8040
5 アルバ	HOEVERTSZ Kyra	17.00	125.4417	77.5500	202.9917
6 イタリア	VERNICE Flaminia	9.35	70.5291	82.6500	153.1791

デュエット テクニカル (エントリー数: 18)

NOC	Name	Total DD	Elements	AI	得点
1 イスラエル	BOBRITSKY Shelly NASSEE Ariel	27.45	151.2792	82.1500	233.4292
2 ウクライナ	ALEKSIIVA Maryna ALEKSIIVA V.	25.05	142.8543	88.8000	231.6543
3 日本	安永真白 比嘉もえ	21.75	115.3083	88.8000	204.1083

4	カナダ	PRIDDELL Kenzie NEWMAN Jonnie	23.10	122.7584	79.3000	202.0584
5	カナダ	REHEL Alicia FINN Scarlett	23.10	118.1709	78.2500	196.4209
6	アメリカ	LIU Calista FIELD Megumi	20.75	106.0375	82.2000	188.2375

デュエット フリー (エントリー数: 14)

	NOC	Name	Total DD	Elements	AI	得点
1	イタリア	CERRUTI Linda RUGGIERO Lucrezia	29.00	233.0167	88.2500	321.2667
2	ウクライナ	ALEKSIIVA Maryna ALEKSIIVA V.	24.65	197.9916	93.7000	291.6916
3	イスラエル	BOBRITSKY Shelly NASSEE Ariel	25.10	194.8543	86.6500	281.5043
4	日本	安永真白 比嘉もえ	22.20	182.3208	94.3000	276.6208
5	イタリア	VERNICE Flaminia RIZEA Sarah Maria	27.00	191.3208	81.2000	272.5208
6	韓国	HUR Yoonseo LEE Riyoung	23.25	163.9999	84.0000	247.9999

チーム テクニカル (エントリー数: 5)

	NOC	Name	Total DD	Elements	AI	得点
1	日本	木島、吉田、安永、柳澤、佐藤(友)、 和田、比嘉、藤井	27.85	176.6896	105.2000	281.8896
2	アメリカ		29.05	177.5374	99.0000	276.5374
3	イスラエル		27.80	155.6167	96.1500	251.7667
4	カナダ		24.85	140.6563	97.3500	238.0063
5	オーストラリア		25.70	125.7416	84.7500	210.4916

チーム フリー (エントリー数: 1)

	NOC	Name	Execution	Artistic Impression	Difficulty	得点
1	日本	吉田、木島、安永、柳澤、 小林、和田、比嘉、藤井	31.5500	231.0708	122.3500	353.4208

アクロバティックルーティーン (エントリー数 7)

	NOC	Name	Total DD	Elements	AI	得点
1	ウクライナ		17.45	153.0458	91.4500	244.4958
2	日本	木島、柳澤、佐藤(友)、和田 藤井、島田、廣田、吉田	15.55	134.2875	89.4000	223.6875
3	アメリカ		14.05	119.3959	85.6000	204.9959
4	カナダ		14.55	118.9291	82.4000	201.3291

5	イスラエル	14.50	115.9917	83.2500	199.2417
6	スペイン	12.95	104.5375	85.1500	189.6875
7	オーストラリア	12.95	94.5041	74.2000	168.7041

⑤	AQUAASWS 2022 パリ大会	4月	フランス・パリ	派遣中止
⑥	AQUAASWS 2022 カザン大会	4月	ロシア・カザン	派遣中止
⑦	アジアエージ選手権大会	7～8月	台湾・台中	開催中止
⑧	ロシアン・マトリョーシュカ大会	12月	ロシア・チェーホフ	派遣中止

## 5. OWS 強化事業

2022 年度は世界選手権大会（ブダペスト）での男子 10 位以内、女子 15 位以内、アジア大会でのメダル獲得、世界ジュニア選手権大会（セーシェル）での複数入賞を目標に強化事業を推進した。

世界選手権大会では、5km 女子と 25km 女子において目標達成を果たした。しかし、オリンピック種目は 10km であることから、10km のさらなる強化が必要な状況である。アジア大会は延期となったが、代わりに開催された第 10 回アジア選手権大会において、5km、10km とともにメダルを獲得することができた。パリ五輪出場権を獲得するためには、アジア大陸枠において最上位の力を有していることが重要となってくる。今回のアジア選手権大会では、中国が出場していないながらも 5km 男子・女子、10km 男子において金メダルを獲得することができ、2024 年のパリオリンピックに繋がる遠征となった。

ジュニア世代については、昨年度からナショナルチームで強化した選手が世界ジュニア選手権大会で過去最高の順位を獲得し、全豪選手権大会においてもメダルを獲得することができた。さらに、競泳の国内大会においてもジュニア新記録を樹立するなど活躍が目覚ましく、OWS と競泳両方における競技力強化ができていていると感じている。

海外諸国では、競泳の長距離代表選手が OWS にも出場していることから、レースのスピード化が進んでいる。世界と台頭に戦うためには、競泳の泳力向上は必須であり、具体的には、競泳インターナショナル C の標準記録突破レベルが必要である。このことから 2022 年度下期より、ナショナルチームの編成に OWS の結果だけでなく、競泳のタイムも基準に入れ、強化を行ってきた。ナショナルチームの選手に対しては、具体的な競泳の目標設定を行わせ、定期的な面談を行うなどして強化をしてきた。これらの選手の競泳のタイムが向上し、OWS のレース経験を積み、国際大会においても上位入賞を経験することが急務であると感じている。

### (1) 国際競技会

① ワールドシリーズパリ大会 2022 年 7 月 9 日・10 日 フランス・パリ

選手団編成

コーチ 吉田 龍平

トレーナー 及川 広太

男子 南出 大伸 野中 大暉

女子 森山 幸美

成績

<10km 男子>

氏名 (所属)	順位	タイム	1 位とのタイム差
南出大伸 (木下グループ)	22 位	1 時間 52 分 40 秒 66	1 分 02 秒 81

野中大暉 (木下グループ)	33位	1時間 53分 10秒 22	1分 32秒 37
---------------	-----	----------------	-----------

<10km 女子>

氏名 (所属)	順位	タイム	1位とのタイム差
森山幸美 (SWANS)	22位	2時間 05分 39秒 17	5分 05秒 46

②世界ジュニア選手権大会

2022年9月16日～18日

セーシェル・マヘ

選手団編成

ヘッドコーチ 太田 伸

コーチ 谷川 誠 内藤 智

戦略スタッフ 貴田 裕美

男子 今福 和志 辻森 魁人 岩住 宏一郎 本山 空

女子 伏屋 杏彩 小島 光丘 梶本 一花 岩渕 立歩

成績

<6km ミックスリレー>

氏名 (所属)	順位	タイム	1位とのタイム差
日本	5位	1時間 14分 12秒 90	2分 52秒 80

<5km 男子>

氏名 (所属)	順位	タイム	1位とのタイム差
今福和志 (枚方 SS)	13位	50分 33秒 50	1分 42秒 60

<5km 女子>

氏名 (所属)	順位	タイム	1位とのタイム差
伏屋杏彩 (金沢 SC 中林)	14位	53分 47秒 50	1分 55秒 10

<7.5km 男子>

氏名 (所属)	順位	タイム	1位とのタイム差
辻森魁人 (須磨学園高校)	5位	1時間 16分 21秒 60	19秒 50

<7.5km 女子>

氏名 (所属)	順位	タイム	1位とのタイム差
小島光丘 (中京大中京高校)	7位	1時間 26分 09秒 50	3分 31秒 00

<10km 男子>

氏名 (所属)	順位	タイム	1位とのタイム差
岩住宏一郎 (枚方 SS)	10位	1時間 59分 51秒 00	6分 40秒 70
本山空 (新潟医療福祉大学)	11位	2時間 00分 31秒 20	7分 20秒 90

<10km 女子>

氏名 (所属)	順位	タイム	1位とのタイム差
梶本一花 (枚方 SS)	9位	2時間 06分 51秒 70	3分 40秒 30
岩渕立歩 (ロコ辻堂)	18位	2時間 12分 49秒 00	9分 37秒 60

③アジア選手権大会

2022年9月22日～24日

ウズベキスタン・サマルカンド

選手団編成

コーチ 吉田 龍平

トレーナー 及川 広太  
 男子 南出 大伸 野中 大暉  
 女子 森山 幸美  
 成績

<5km 男子>

氏名 (所属)	順位	タイム	1位とのタイム差
南出大伸 (木下グループ)	1位	58分04秒1	-
野中大暉 (木下グループ)	2位	58分38秒8	34秒7

<5km 女子>

氏名 (所属)	順位	タイム	1位とのタイム差
森山幸美 (SWANS)	1位	1時間01分08秒2	-

<10km 男子>

氏名 (所属)	順位	タイム	1位とのタイム差
南出大伸 (木下グループ)	1位	1時間58分21秒2	-
野中大暉 (木下グループ)	3位	1時間58分35秒8	14秒6

<10km 女子>

氏名 (所属)	順位	タイム	1位とのタイム差
森山幸美 (SWANS)	5位	2時間09分06秒4	1分39秒2

④ワールドシリーズエイラート大会 2022年11月11日～12日 イスラエル・エイラート

選手団編成

コーチ 吉田 龍平 末次 澄王 馬場 康博  
 男子 南出 大伸 古畑 海生 本山 空  
 女子 蝦名 愛梨 加藤 はなの

成績

<10km 男子>

氏名 (所属)	順位	タイム	1位とのタイム差
古畑海生 (佐藤製薬)	27位	1時間47分38秒10	56秒30
南出大伸 (木下グループ)	28位	1時間48分38秒20	1分56秒40
本山空 (新潟医療福祉大学)	44位	1時間52分46秒20	6分04秒40

<10km 女子>

氏名 (所属)	順位	タイム	1位とのタイム差
蝦名愛梨 (日本体育大学)	36位	1時間58分59秒30	2分39秒50
加藤はなの (ダッシュユ三条)	37位	1時間59分10秒40	2分50秒60

⑤全豪選手権大会 2023年1月25日～29日 オーストラリア・パース

選手団編成

コーチ 谷川 誠 内藤 智  
 男子 江沢 陸 辻森 魁人  
 女子 梶本 一花 小島 光丘

成績

<5km 男子 U17>

氏名 (所属)	順位	タイム	1位とのタイム差
辻森魁人 (須磨学園高校)	1位	56分01秒11	-

<5km 男子 オープン>

氏名 (所属)	順位	タイム	1位とのタイム差
江沢陸 (ルネサンス)	10位	55分06秒06	1分45秒16

<5km 女子 U18>

氏名 (所属)	順位	タイム	1位とのタイム差
小島光丘 (中京大中京高校)	1位	59分34秒95	-

<5km 女子 U19>

氏名 (所属)	順位	タイム	1位とのタイム差
梶本一花 (枚方SS)	1位	57分16秒41	-

<7.5km 男子 U17>

氏名 (所属)	順位	タイム	1位とのタイム差
辻森魁人 (須磨学園高校)	1位	1時間26分53秒22	-

<10km 男子 オープン>

氏名 (所属)	順位	タイム	1位とのタイム差
江沢陸 (ルネサンス)	10位	1時間56分23秒58	6分23秒48

<10km 女子 U18>

氏名 (所属)	順位	タイム	1位とのタイム差
小島光丘 (中京大中京高校)	1位	2時間05分25秒34	-

<10km 女子 U18>

氏名 (所属)	順位	タイム	1位とのタイム差
梶本一花 (枚方SS)	1位	1時間59分20秒99	-

<ミックスリレー オープン>

氏名 (所属)	順位	タイム	1位とのタイム差
日本	2位	1時間08分06秒55	1分07秒63

⑥ ワールドシリーズ

2月

カタール・ドーハ

派遣中止

6. 科学事業

競泳の国内主要大会において、競泳委員会および JSC と連携し、レース分析ならびに映像提供の科学サポートを実施した。分析結果のネット公開に加え、選手権大会での LINE を用いた映像とデータの配信を行い、競技力向上を目指したデータの普及・啓発を推進した。競泳委員会と連携した合宿サポートとして、エリート小学生研修合宿やナショナル研修合宿における科学サポートを行った。また、新規事業として、レース分析の全国普及を図るため、「とちぎ国体」会場において固定カメラ映像の取得と配信を行った。

飛込、水球、AS、OWS の各競技については、各委員会と連携し、日本選手権などの全国大会や合

宿・研修会におけるサポートを行った（飛込：日本選手権、合宿での測定・講習サポート、水球：世界選手権、AS：日本選手権、栄養サポート、OWS：日本選手権ほか）。

会議活動として、2022年日本水泳・水中運動学会年次大会（10月8・9日、日本水泳水中運動学会主催・東京女子体育大学共催・本連盟後援、対面開催）に運営協力した。また、広報活動として、上記学会大会において学会賞を受賞した研究の情報を「月刊水泳」に掲載した。その他、各競技の科学サポートなどの記事、トピックスを「月刊水泳」に寄稿し、掲載した。

専門委員会の会議活動として、年間12回、オンライン会議を開催し、部門別の小会議を適宜開催した。重点実施項目の確認や各事業実施経過報告に関する情報共有とともに、サポート事業に関する意見交換などを充実させることができた。

## 7. 医事事業

- (1) 競技会開催時のガイドライン：感染状況の変化に伴う政府や保健所の対応に準じて適宜ガイドラインの更新を行って運用した。国内競技会および合宿実施の際は十分な感染対策を行った上で実施するよう各部門に協力を仰いだ。2023年3月中旬から政府の対応に緩和傾向がみられたが、本連盟としては年度末までは厳格な感染防止対策を行った。
- (2) 競技会救護活動：国内主要大会へ救護医師の派遣および医薬品の配備を行った。また主要大会においては、AQUAのコロナ感染ガイドラインに示されるCOVID-19 officerを配置し感染防止対策を行った。
- (3) 国際大会における医事運営への協力：
  - ・世界選手権大会、世界ジュニア選手権大会（競泳・AS）、世界ユース選手権大会（AS）、世界選手権大会（25m）、ジュニアブロックシンガポール遠征に帯同医師、トレーナーの派遣を行った。規制の緩和された欧米と日本国内の対応に大きな差があり、選手団の中で帰国ができなくなる（入国の規制が強かった）事態が複数発生するなど、対応に困難を極めた。
  - ・世界選手権福岡大会・世界マスターズ選手権九州大会の医事運営活動を行うため、福岡OCと定期的な会議を持ち、救護室の配置、備品・医薬品の準備、救護員の募集（医師・歯科医師）を行った
- (4) 会議活動：2022年6月4日に日本水泳ドクター会議総会・水と健康医学研究会を、11月5日に水泳競技メディカルサポート研究会をどちらも品川インターシティ貸会議室およびオンライン形式併用で開催した。
- (5) 教育啓発活動：各種研修会への講師派遣、JSPO公認スポーツドクター、JSPO公認スポーツデンティスト、AT養成講習会への受講者推薦を行った。
- (6) アンチ・ドーピング活動：アンチ・ドーピング委員会と協力して、アンチ・ドーピング活動を実施した。また、主要競技大会のドーピング検査会場にNF代表役員を配置した。
- (7) 各地域メディカルサポート体制の構築：各地域でのメディカルサポート体制を充実させることを目的に、各地域で研修会を行った。各都道府県加盟団体に医事担当役員の設置を依頼した。



《合宿関係》

I 国内合宿

(1) 競 泳

① ジュニア研修合宿（ブロック別合宿）

ブロック	期間	場所	スタッフ(名)	選手(名)	計(名)
北海道	12/23～28	北海道立野幌総合運動公園	7	51	58
東北	12/17～22	郡山しんきん開成山プール	8	24	32
北関東	12/16～21	栃木県立温水プール館	10	40	50
南関東	12/17～22	千葉県国際総合水泳場	7	36	43
東京	12/21～26	東京辰巳国際水泳場	7	77	84
北信越	12/17～22	GMO アスリーツパーク湯の丸	6	29	35
東海	12/17～22	静岡県立水泳場	11	62	73
近畿	12/24～28	大阪府立門真スポーツセンター	8	24	32
中国	12/15～20	山口きらら博記念公園水泳プール	7	34	41
四国	12/25～30	アクアパレットまつやま	5	30	35
九州	12/22～27	長崎市民総合プール	10	32	42
(計)			86	439	525

② エリート小学生合宿

春季	4/24	オンライン	30	35	65
秋季	9/21～25	静岡県富士水泳場	33	24	57

③ ジュニアパンパシフィック合宿

第1回	7/27～8/3	静岡県湖西市立新居中学校	15	36	51
第2回	8/14～20	ナショナルトレーニングセンター	15	33	48

④ ジュニアナショナルチーム合宿

	12/12～19	静岡県富士水泳場	14	33	47
--	----------	----------	----	----	----

⑤ ナショナル強化合宿

第1回	10/28～30	国立スポーツ科学センター	28	41	69
第2回	11/11～13	国立スポーツ科学センター	25	39	64
第3回	11/18～20	国立スポーツ科学センター	25	46	71
第4回	1/28～29	ナショナルトレーニングセンター	16	22	38

⑥ ワールドユニバーシティゲームズ合宿

	4/1～2	ナショナルトレーニングセンター	13	32	45
--	-------	-----------------	----	----	----

⑦ 世界選手権・アジア大会合宿

	5/1～4	ナショナルトレーニングセンター	20	40	60
--	-------	-----------------	----	----	----

⑧ 短水路世界選手権合宿

	12/4～8	ナショナルトレーニングセンター	16	41	57
--	--------	-----------------	----	----	----

⑨ インターナショナル強化合宿					
第1回	10/31～11/20	GMO アスリーツパーク湯の丸	21	23	44
第2回	11/11～19	静岡県富士水泳場	8	11	19
第3回	12/10～18	ナショナルトレーニングセンター	19	28	47
第4回	1/28～2/16	GMO アスリーツパーク湯の丸	17	25	42
第5回	2/6～16	ナショナルトレーニングセンター	15	22	37
(2) 飛 込					
① 世界ジュニア選手権合宿					
	11/3～6	鈴鹿スポーツガーデン	4	5	9
② 小学生強化合宿					
	1/20～23	日環アリーナ栃木	4	5	9
③ ジュニア強化合宿					
	1/20～23	日環アリーナ栃木	5	9	14
④ 世界選手権合宿					
	6/13～17	日環アリーナ栃木	6	9	15
⑤ ワールドユニバーシティゲームズ合宿					
	6/13～17	金沢プール	4	7	11
⑥ ナショナル強化合宿					
第1回	4/11～17	日環アリーナ栃木	11	15	26
第2回①	5/3～8	浜松市総合水泳場	3	5	8
第2回②	5/3～8	日環アリーナ栃木	3	5	8
第2回③	5/10～14	日環アリーナ栃木	4	6	10
第3回	12/6～11	金沢プール	7	8	15
第4回	1/20～25	日環アリーナ栃木	10	14	24
第5回①	2/7～17	日環アリーナ栃木	9	13	22
第5回②	2/17～27	金沢プール	3	2	5
第6回①	3/1～10	日環アリーナ栃木	8	12	20
第6回②	3/10～19	金沢プール	3	2	5
(3) 水 球					
① U16 カデット世界選手権合宿					
男子	8/16～18	京都府立鳥羽高等学校	4	13	17
女子	8/16～18	京都府立鴨沂高等学校	4	13	17
② U18 ユース世界選手権合宿					
女子	7/24～27	京都府立鴨沂高等学校	3	31	34

③ ユース研修合宿					
女子	12/25～28	児島マリンプール／倉敷市屋内水泳センター	4	25	29
男子	12/27～29	倉敷市屋内水泳センター	6	24	30
④ ジュニア研修合宿					
男女	3/21～23	新潟県立柏崎アクアパーク	7	45	52
⑤ 男子国内強化合宿					
第1回	4/23～29	千葉県国際総合水泳場	14	25	39
第2回	5/5～12	愛知県口論義運動公園	9	19	28
第3回	5/30～6/3	千葉県国際総合水泳場	9	16	25
第4回	8/7～9	日本体育大学健志台プール	6	14	20
第5回	10/19～23	日本体育大学健志台プール	12	16	28
第6回	10/30～11/5	国立スポーツ科学センター	7	17	24
⑥ 女子国内強化合宿					
第1回	4/9～15	静岡県立水泳場	11	18	29
第2回	5/8～13	千葉県国際総合水泳場	10	15	25
第3回	6/12～17	富山県総合体育センター	11	32	43
第4回	7/22～27	京都府立鴨沂高等学校	5	9	14
第5回	10/17～23	国立スポーツ科学センター	7	18	25
第6回	10/27～11/3	富山県総合体育センター	11	29	40
第7回	12/19～24	国立スポーツ科学センター	7	18	25
第8回	1/24～29	国立スポーツ科学センター	6	16	22
第9回	2/25～3/5	国立スポーツ科学センター	6	19	25
(4) アーティスティックスイミング					
① ユース世界選手権合宿					
第1回	5/24～29	国立スポーツ科学センター	4	11	15
第2回	6/8～11	鈴鹿スポーツガーデン	6	11	17
第3回	6/22～29	国立スポーツ科学センター	3	11	14
第4回	7/9～15	国立スポーツ科学センター	10	12	22
第5回	7/18～24	国立スポーツ科学センター	5	12	17
第6回	7/30～8/7	国立スポーツ科学センター	7	12	19
② 世界ジュニア選手権合宿					
第1回	5/3～7	国立スポーツ科学センター	3	10	13
第2回	5/24～26	国立スポーツ科学センター	5	10	15
第3回	6/12～26	国立スポーツ科学センター	4	10	14
第4回	7/2～17	国立スポーツ科学センター	10	12	22
第5回	7/17～8/4	国立スポーツ科学センター	6	12	18
第6回	8/7～19	国立スポーツ科学センター/東京辰巳国際水泳場	6	12	18

③ ユース有望選手強化合宿					
	9/16～18	国立スポーツ科学センター	26	32	58
④ ユースエリート選手強化合宿					
第1回	9/30～10/2	鈴鹿スポーツガーデン	14	14	28
第2回	12/23～26	静岡県立水泳場	22	12	34
⑤ ジャンパー育成合宿					
第1回	11/19～20	TSR スポーツクラブ北赤羽	11	9	20
第2回	12/3～4	TSR スポーツクラブ北赤羽	9	9	18
第3回	1/14～15	TSR スポーツクラブ北赤羽	11	9	20
第4回	2/18～19	TSR スポーツクラブ北赤羽	12	9	21
⑥ ハンガリー世界選手権合宿					
第1回	4/1～10	国立スポーツ科学センター/東京辰巳国際水泳場	30	14	44
第2回	4/16～5/3	国立スポーツ科学センター/東京辰巳国際水泳場	18	14	32
第3回	5/8～25	国立スポーツ科学センター/SAGA アクア	25	14	39
第4回	5/30～6/11	国立スポーツ科学センター	20	13	33
⑦ 世界選手権選考会合宿					
	9/23～25	国立スポーツ科学センター	9	7	16
⑧ 世界選手権代表候補選手合宿					
	11/19～27	国立スポーツ科学センター、 大泉スワロー体育クラブ、 つくば市豊里ゆかりの森、 筑波大学野性の森	29	22	51
⑨ 福岡世界選手権合宿					
第1回	12/3～20	国立スポーツ科学センター	19	14	33
第2回	12/20～31	国立スポーツ科学センター	12	14	26
第3回	1/4～13	国立スポーツ科学センター、野沢バズーカ	14	14	28
デュエット	1/8～13	長野運動公園総合運動場	2	2	4
第4回	1/16～2/3	国立スポーツ科学センター、野沢バズーカ	22	14	36
第5回	1/31～2/8	SAGA アクア	8	13	21
第6回	2/11～24	国立スポーツ科学センター、野沢バズーカ	28	14	42
第7回	2/25～3/13	国立スポーツ科学センター、野沢バズーカ	17	14	31
第8回	3/24～29	長野運動公園総合運動場	9	12	21
ソロ	3/27～31	国立スポーツ科学センター	2	1	3
(5) オープンウォータースイミング					
① 世界ジュニア選手権合宿					
第1回	7/9～13	姫路家島諸島・須磨学園・ ポートアイランドスポーツセンター	4	8	12

第2回	7/30~8/1	三重県尾鷲市三木里海岸	4	4	8
② 世界選手権合宿					
第1回	4/1~5/7の間	日本大学三軒茶屋キャンパス	5	6	11
第2回	5/16~29	GMOアスリートパーク湯の丸	3	8	11
第3回	6/4~5	静岡県熱海市長浜海水浴場	2	7	9
第4回	6/11~12	千葉県館山市北条海岸	4	7	11
第5回	6/14~21	国立スポーツ科学センター	3	7	10
③ アジア大会合宿					
第1回	7/15~22	愛宕浜海岸・福岡大学・アクション福岡	3	4	7
第2回	7/30~31	三重県尾鷲市三木里海岸	2	3	5
第3回	8/29~9/9	GMOアスリートパーク湯の丸	2	3	5
④ ナショナルチーム合宿					
第1回	12/12~18	日本大学三軒茶屋キャンパス・ 江の島海岸・館山市北条海岸	13	4	17
第2回	1/10~15	国立スポーツ科学センター	5	7	12

## II 海外合宿

			役員	選手	計
(1) 競泳					
① 世界選手権合宿					
	5/6~23	スペイン シエラネバタ	5	6	11
	5/30~6/7	フランス カネ	7	14	21
	5/30~6/10	アンドラ公国	2	2	4
	6/7~14	ハンガリー ホードメゼーバーシャルヘイ	15	18	33
(2) 飛込					
① メダルポテンシャルアスリート個別合宿					
	11/20~12/9	オーストラリア ブリスベン	1	1	2
② ハイダイビング合宿					
	1/28~2/8	アメリカ フォートロダゲール	0	1	1
(3) 水球					
① 男子強化合宿					
第1次	6/6~19	スペイン ギリシャ	5	13	18
第2次	8/11~20	ハンガリー ブダペスト	4	14	18
第3次	1/9~22	オーストラリア パース	4	13	17
(4) A S					
① ミックスデュエット振付合宿					
	1/6~12	アメリカ パームスプリングス	2	2	4

《国際交流関係》

I. AQUA（世界水泳連盟）関係事業

- (1) コンgress (6/19：ハンガリー・ブダペスト)
- |        |       |       |       |
|--------|-------|-------|-------|
| 鈴木 大地  | 緒方 茂生 | 末弘 昭人 | 黒田 克己 |
| 本間 三和子 | 竹村 馨  | 坂元 要  | 南條 成輝 |
- (10/3～5：オンライン)
- |       |       |        |        |
|-------|-------|--------|--------|
| 鈴木 大地 | 緒方 茂生 | 金戸 幸   | 黒田 克己  |
| 朝原 史子 | 市川 伊興 | 村松 さやか | 本間 三和子 |
| 野村 孝路 | 原 怜来  | 梅原 孝之  | 古海 敏勝  |
- (12/12：豪州・メルボルン)
- |       |       |       |  |
|-------|-------|-------|--|
| 鈴木 大地 | 梅原 孝之 | 塚越 祐太 |  |
|-------|-------|-------|--|

(2) 競技会

- 世界選手権大会 (6/17～7/3：ハンガリー・ブダペスト)
- |       |        |       |
|-------|--------|-------|
| 鈴木 大地 | 緒方 茂生  | 末弘 昭人 |
| 黒田 克己 | 本間 三和子 |       |
- 競泳世界選手権大会 (25m)
- (12/13～18：豪州・メルボルン) 鈴木 大地
- 飛込世界ジュニア選手権大会
- (11/27～12/4：カナダ・モントリオール) 金戸 幸
- 水球男子ワールドリーグ・スーパーファイナル
- (7/22～27：フランス・ストラスブール) 黒田 克己
- 水球男子U18世界選手権大会
- (8/11～19：セルビア・ベオグラード) 黒田 克己
- 水球男女U16世界選手権大会
- (8/21～27：ギリシャ・ヴォロス/ラリッサ) 黒田 克己
- 水球男子ワールドカップ
- (3/8～14：モンテネグロ・ポトゴリツア) 黒田 克己
- OWS世界ジュニア選手権大会
- (9/16～18：セイシェル・マヘ) 市川 伊興

(3) その他

- AQUAWP 審判スクール講師
- (6/10～11：インドネシア・ジャカルタ) 黒田 克己
- (11/3～5：タイ・バンコク) 黒田 克己
- (11/19～20：マレーシア・クアラルンプール) 黒田 克己
- (3/18～20：シンガポール・シンガポール) 黒田 克己
- AQUAAS 審判スクール講師 (オンライン)
- (9/10～11・9/17～18：オーストラリア) 本間 三和子

II. AASF（アジア水泳連盟）関係事業

(1) 競技会

水球アジア選手権大会

(11/7～14：タイ・サムットプラカーン)

黒田 克己

(3/22～28：シンガポール・シンガポール)

黒田 克己

Ⅲ. パンパシフィック関係事業

(1) チャーターネーション会議

(6/20・10/12・12/13・15・3/23：オンライン)

村松 さやか 緒方 茂生 石井 雄二郎

Ⅳ. 派遣および招聘事業

(1) 総合大会

世界選手権大会 (6/17～7/3：ハンガリー・ブダペスト)

・審判 飛込 金戸 幸  
水球 津崎 明日美  
AS 樋口 育子

(2) 競技大会

・競泳

ジュニアパンパシフィック選手権大会(8/24～27：アメリカ・ハワイ)

・審判 内野 真人

・水球

アジア選手権大会 (3/22～28：シンガポール・シンガポール)

・審判 黒崎 千智

・AS

新採点システムテスト大会 (1/17・26：オンライン)

・テクニカルコントローラー 本間 三和子

(3) 研修会

AQUA 飛込審判スクール

(10/21～23：カタール・ドーハ) 浅田 雅子 毒島 めぐみ

(11/24～26：マレーシア・クアラルンプール) 中川 真依

AQUA 水球審判スクール (11/3～5：タイ・バンコク)

深谷 周平 唐木 慎太郎 荻野 浩明 大坂 淳

齋藤 夏輝 潮崎 正一 宇田川 佑里子 山崎 昇

AQUAAS 審判スクール

(11/10～12：インドネシア・ジョグジャカルタ) 萩原 希代子 小野 祥子

(12/2～4：ギリシャ・アテネ) 本間 三和子 ※オブザーバー参加

(2/10～12：日本・千葉)

鷲見 朗子 樋口 育子 田中 洋子 浦上 恭子

小川 みゆき 大月 弓子 山田 智子 滝田 理絵子

本間 三和子 ※オブザーバー参加

AQUAAS 新採点システムセミナー

(9/3～4・9/24～25：オンライン) 酒井 麻里子 小林 千紗

(4) その他

パリ視察

(7/4～10：フランス・パリ)

村松 さやか

競泳ヨーロッパ選手権大会視察

(8/11～17：イタリア・ローマ)

大木 賢二

AS 審判クリニック講師

(3/1～3・7：韓国※オンライン)

本間 三和子



## V 普及事業

### 1. 指導者養成事業

前年に引き続き指導者の普及・拡大に向け、各指導者資格の目的・意義の再確認と周知を図りながら養成講習会参加者数増と更新率の向上を目指した。地域指導者委員会では、基礎水泳指導員の単年度登録者数は999名であった（2021年度1,050名；前年比51名減）。水泳コーチ2の新規養成講習会は埼玉県で開催され、9名が修了した。水泳コーチ1・2登録者数は2023年3月現在9,355名（2021年9,729名；前年比374名減）であった。7月に開催された全国地域指導者（普及）委員長会議では、基礎水泳指導員・水泳コーチ1・2の新規養成の活性化および、これにかかる諸問題の解決のため、加盟団体相互の意見交換の場を設け、好事例の共有化を図った。引き続き加盟団体の協力の下、指導者養成事業を推進する。

競技力向上コーチ委員会では、今後も免除適応コースの拡充を積極的に推進する。新規養成では、コロナ禍の社会情勢を鑑み、2021年度と同様にオンライン形態で開催し、115名（コーチ3：84名、コーチ4：31名）が修了した。また、免除適応校によるコーチ3の新規取得者数は、103名（前年比6名増加）であった。さらに、資格保有者向けの研修会は、2021年度と同様に2022年度はオンラインで実施した。コーチ登録者数は、2023年3月現在3,934名となった（前年3,919名対比15名増加）。

水泳教師委員会では、（一社）日本スイミングクラブ協会（SC協）と連携し、養成・研修会事業を実施した。コロナ禍の影響は徐々に減ってはいるものの、新規養成では62科目の開催計画をしていたが7科目が中止となった。研修会事業では24会場の実施を計画していたが、1会場が中止となった。教師登録者数は、2023年3月現在2,409名（対前年比42名減少）と減少傾向が続いている。

今後、運動部活動の地域移行や小・中学校水泳授業の民間連携の動きもある中で、水泳の安全性と指導者の資質向上を目指し、公的資格保有の義務化も視野に入れたJSPOの施策と連携し、指導者養成事業を展開していく所存である。

#### (1) 地域指導者養成事業

##### ①JSPO公認水泳コーチ1・2に関する事業

###### (ア) JSPO公認コーチ事業（新規養成、更新登録）

コーチ1：8,068名、コーチ2：1,287名（内マスター認定者201名）、合計9,355名

###### (イ) 47都道府県加盟団体を通じたコーチ1・2養成事業

###### (ウ) コーチ2養成（ブロック開催）事業：埼玉県で開催 9名修了（16名受講）

##### ②本連盟基礎水泳指導員に関する事業

###### (ア) 47都道府県加盟団体を通じた基礎水泳指導員養成・研修・更新登録

基礎水泳指導員資格単年度登録者数：999名

###### (イ) アスリート基礎水泳指導員資格免除認定審議（2022年4月～2023年3月）：29名

###### (ウ) 免除適応校専門科目検定

・専門学校：8名修了 8/10名（合格者数/受験者数 以下同様）

北海道：4/4名、東京都：1/2名、大阪府：3/4名

・大学5/5名

日本女子体育大学：3/3名、鹿屋体育大学：1/1名、順天堂大学：1/1名

- (エ) 第46回全国地域指導者(普及)委員長会議の開催  
2022年7月9日(土)-10(日) 東京ガーデンパレス

③ 普及に関する事業

- (ア) 水泳の安全対策に関する研究

- (イ) 小中学校教員対象 水泳指導研修会講師派遣

- ・2022年5月24日(火)千葉県白井市小中学校体育主任研修会(千葉県白井市役所)
- ・2022年6月20日(月)千葉県教育研究会体育部松戸支部小学校体育主任研修(千葉県松戸市立北部小学校)

- (ウ) 加盟団体各地区委員長会議・研修会の開催・派遣

- ・2022年10月22-23日:北海道・東北ブロック(青森県)
- ・2022年10月19日:近畿ブロック(大阪府)
- ・2022年11月26-27日:関東ブロック(山梨県)
- ・2023年1月28-29日:九州ブロック(沖縄県)
- ・2022年10月15日:四国ブロック(香川県)派遣なし
- ・2023年1月14日:東海ブロック(愛知県)派遣なし
- ・北信越ブロック:開催なし
- ・中国ブロック:開催なし

(2) 競技力向上コーチ養成事業

- ① コーチ資格審査(コーチ4昇格)の実施

競泳8名、飛込1名、水球0名、AS2名、OWS0名、合計11名がコーチ4に昇格

- ② コーチ研修会事業

昨年同様にオンライン形式で実施した。受講完了者数は3,180名(コーチ3:2,494名、コーチ4:686名、ただし、免除者および未完了者を除く)。講義録を作成した。

- ③ 養成事業の推進(申込者)

コーチ3:84名(競泳76名、飛込1名、水球3名、AS2名、OWS2名)およびコーチ4:31名(競泳22名、水球3名、AS5名、OWS1名)

- ④ 免除適応コース実施校の開拓

現在20校(2022年度追加はなし)、修了者数103名

- ⑤ 公認スポーツ指導者管理システムの活用

再登録および養成講習会申込入力時に活用、種目別に分化を継続

(3) 水泳教師養成事業

- ① 水泳教師新規養成事業の推進(SC協と合同推進)

- (ア) 適応コース講習検定会の実施(本連盟が担当)

- ・東京YMCA社会体育専門学校 2023年1月16日~18日開催  
東京YMCA社会体育専門学校および大阪社体スポーツ専門学校の学生が参加

- (イ) 新規養成コース講習検定会の実施(SC協が担当)

- ・専門科目講習会:62科目開催計画(7科目【中止】)

- (ウ) 適応コース認定校の新規開拓(本連盟が担当)【中止】

- ② スキルアップ講習会の開催(本連盟が担当)

- ・スキルアップセミナー横浜会場 横浜市スポーツ医科学センター大研修室

- ・スキルアップセミナー東京会場 公益財団法人東京都水泳協会会議室
- ③ 水泳教師資格の新規・更新登録事業 (SC協と合同推進)
  - ・2022年4月、10月 「本連盟・SC協合同検定委員会」の開催
- ④ 水泳教師資格更新研修会事業 (SC協と合同推進)
  - ・SC協 全国10支部の各会場にて開催
  - 更新研修会：24会場開催計画(1会場【中止】)
  - ・5月更新研修会受講通知発送(本連盟が担当)
  - ・JSPO「再登録」制度への対応(本連盟が担当)
- ⑤ 水泳教師在籍施設証明事業の推進 (SC協と合同推進)
  - ・4月・10月認定 認定施設の新規・更新登録事業
  - ・9月・3月「月刊水泳」に在籍施設証明事業パンフレット封入
  - ・本連盟・JSPO HPに「水泳するならこの施設」定時更新

## 2. 生涯スポーツ事業

### (1) 日本スポーツマスターズ大会

本大会は、生涯スポーツのより一層の普及と振興を目的とした、JSPOとの共催による、スポーツ愛好者の中で競技志向の高いシニア世代を対象とした大会である。本年度は、38都道府県から547名が参加し、10年連続出場者13名、20回出場者13名の方々の表彰式も実施された。競技ではマスターズ日本新記録5個、大会新記録56個が樹立され、大いに盛り上がった。また地元岩手県チームは、男女総合2位の好成績を残した。

大会名	開催日程	会場	参加者数
日本スポーツマスターズ 2022岩手大会	2022年9月3日～ 9月4日	盛岡市立総合プール	547名

### (2) 水泳の日 2022

9月25日に高知県高知市の高知市東部総合運動場くろしおアリーナにおいて、「水泳の日 2022・高知」を開催した。このイベントは、本連盟の掲げる使命の1つ「国民皆泳」を目指した事業であり、世代を超えて、「命を守ることができるスポーツ」水泳のさらなる普及発展、競技力向上、競技人口の裾野を広げるきっかけとして実施されている。なお、2022年度は、本連盟、SC協、(一社)日本マスターズ水泳協会、(一社)日本パラ水泳連盟の水泳4団体と、高知県、高知市、(公財)高知県スポーツ協会で構成する実行委員会にて主催し、コロナ禍ではあったが、感染防止対策を徹底した上で総入場者数1,571名にて開催され、大いに盛り上がった。加盟団体主催では、東京会場・石川県金沢会場・福島県郡山会場・愛知県名古屋会場・大阪会場の5会場にて開催された。

#### ① エキシビジョン (公開型イベント)

始泳式では、東京オリンピック競泳日本代表の大本里佳選手をはじめ、東京パラリンピック金メダリストの山口尚秀さんやマスターズスイマー、県内在住のジュニアスイマーが得意な泳法を披露した。続いて日本泳法の第一人者による甲冑御前游や水書などの模範演技が行われ、フィナーレには世界選手権大会で日本史上初のソロ2冠に輝いたAS日本代表の乾友紀子選手の模範演技が井村雅代コーチの解説により行われた。

#### ② アクアティクス体験 (参加型イベント)

メインプールでは、競技イベントとして子どもから大人までが参加した「ふれあいリレー」や「チャレンジリレー」、「泳力検定」、「ターゲットタイム」と「Mermaid レッスン (AS)」や「アクアゲーム (水球)」の体験教室を実施した。サブプールでは、「TOBIUO クリニック (競泳)」や「SAMURAI スイミング (日本泳法)」の体験教室と、「ブラインドスイミング体験会」、「水中動画撮影会」を実施した。競技イベント、体験教室ともに多数のオリンピックの協力により、大いに盛り上がった。

### (3) 泳力検定

本事業は、生涯スポーツとしての水泳の普及を目的に 1998 年から実施している。トビウオジャパンの活躍もあり、日本水泳界が一段と盛り上がりを見みせている中で、泳力検定会も全国各地で開催され、泳力検定事業が水泳愛好者に浸透してきたことを示している。本年度もオリンピックをゲストに招き「ニチレイチャレンジ特別泳力検定会」を東京・愛知・福島・高知・岡山など全国 13 ヶ所で開催した。また、さらなる泳力検定の普及のため、泳力検定システムの運用促進や HP および公式 SNS を活用した広範な情報発信に努めた。

## 3. OWS 普及事業

OWS の安全な普及に必要な事業を、以下のとおり実施した。

### (1) OWS スイムクリニック、OWS 検定事業の開催

(ア) スイムクリニック参加者合計 201 名

(イ) 検定参加者合計 201 名

### (2) OWS 審判員養成

(ア) 審判講習会開催 (4月2日、9月11日、1月29日リモート開催) 参加者合計 102 名

### (3) OWS 指導員養成

(ア) 指導者講習会 2 名

### (4) OWS 公認コーチ養成

(ア) OWS 公認コーチ 3 養成講習会 2 名

(イ) OWS 公認コーチ 4 養成講習会 1 名

### (5) 認定 OWS 大会の標準化と拡大

(ア) 認定 OWS 大会支援 (2022 年 6 月～10 月)

[沼津・南紀田辺・中海・阿久根・屋久島・愛媛・館山・尾鷲・釜石・佐渡・屈斜路湖・びわ湖・ひめじ家島・湘南・愛知・せとうち・須崎] 計 17 大会 (合計 4,697 名参加) への審判員・安全管理員派遣

※屋久島大会は離島によるコロナ禍の影響のため、せとうち大会は台風のため中止

(イ) 認定 OWS 大会・全国担当者会議の開催 (2022 年 11 月 17 日・リモート会議)

### (6) 認定 OWS 大会サーキットシリーズ年間優秀選手表彰

(ア) 全 15 大会ポイントランキング男女各総合 1 位に優勝楯を進呈、年代別男女各上位 3 位までに表彰状と記念 T シャツを進呈

## 4. 日本泳法保存事業

### (1) 第 67 回日本泳法大会

本大会は、わが国近代水泳史の礎となった日本泳法の後継者育成と技能の保存と普及を目的に 1956 年より開催され、現在は、現存 13 流派のジュニア (中学生以下) からシニア層までが参加できるよう、12 種目の競技と 7 資格の審査から成っている。

本年度は、8 月 20 日～21 日の日程で兵庫県神戸市において開催した。新型コロナウイルス感染症拡大の影響は残ったものの、全国から計 480 名 (選手、役員) の参加があり、予定した各競技と資格審査を無事実施することができた。

### (2) 第 70 回日本泳法研究会 (課題: 水泳ニッポンのルーツと日本泳法)

今回は 70 回記念研究会として、3 月 18 日～19 日の日程で東京都渋谷区において、「水泳ニッポンのルーツと日本泳法」と題して開催した。

今村前資格審査委員長による 2 日間の講演と、2 日目には次世代メンバーによるパネルディスカッションを実施し、これからの日本泳法の保存、普及策について語ってもらった。集合開催とオンライン配信のハイブリッド方式により実施したが、申込みは合わせて約 300 名

と通常年と変わらない参加申込者数であった。

(3) 游士資格審査会、日本泳法研鑽会

4月17日に、秋葉山公園県民水泳場において、游士審査会（和歌山会場）と第16回日本泳法研鑽会を開催した。

游士審査会（和歌山会場） 受査2名 合格2名

第16回日本泳法研鑽会 参加2名

5月28日に、千葉県国際総合水泳場に於いて、游士審査会（千葉会場）と第17回日本泳法研鑽会を実施した。

游士審査会（千葉会場） 受査7名 合格4名

第17回日本泳法研鑽会 参加12名

(4) 日本泳法プロモーションビデオの制作

日本泳法の認知度を国内外において高めるための広報施策として、日本泳法プロモーションビデオを制作した。制作にあたっては、日本泳法委員7名に委員以外3名を加え、幅広い意見を取り入れながら進め、3月に完成した。今後、様々な場面で活用を図り、日本泳法のさらなる普及につなげていく。

(5) その他

第67回日本泳法大会と第70回日本泳法研究会の開催にあわせ、「流派連絡会議」「資格審査専門委員会」を開催した。

また、第67回日本泳法大会の前日に「審判研修会」を実施した。

5. 機関誌「月刊水泳」発行事業

ハンガリー・ブダペストで開催された世界選手権大会のレポートにあわせ、世界ジュニア選手権大会の審判報告などを含め、国際大会のレポートを充実させた。また国内大会のレポート・総評も、例年のおりに掲載した。年度末に大きなルール改正が行われたAS競技に関して、講習会および変更点を全国各所に広め、情報を残すために紙面に掲載した。

6. 広報事業

(1) ホームページ (HP) の管理・更新事業

2022年度は大過なく各競技の事業が行われたことで、毎月平均してトピックスを更新することができた。HP全体の運用管理については、トップページにおけるメインビジュアルにリンク機能をつけることで、ファン・関係者が知りたい情報へのアクセス改善を図った。また検索ボックス (Google を活用したサイト内検索機能) も追加することで、深い階層へのアクセスを容易にするためサイトの充実を図った。

(2) 報道対応事業

大会取材においてはリモート取材を撤廃した。選手との距離を一定以上保ちつつ、またフェイスシールドを着用することで、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、従来の形に近い対面での取材形式を取った。一方で報道関係者への来場制限は課したままとなったため、次年度に向けた見直しを図る必要がある。

(3) 公式 SNS

Twitter については約 1,000 のフォロワー増、Instagram は約 2,000 増を実現。Facebook は約 100 の「いいね」増となった。近年の SNS 事情において Facebook に関しては全体的に伸びが鈍

化しており、この数字に関しては問題ないと考える。Instagram に関してはストーリーズを活用することで大きくフォロワー数を伸ばすことができた。今後はこれら SNS をプラットフォームの一つとして捉え、情報発信の基盤となるよう育てていく施策を講じていく。

#### (4) 創立 100 周年記念誌発行準備

編纂準備委員会にてページの割付案を作成し、内容の精査を同時に進めた。また、各加盟団体に対して寄稿依頼書を作成し、地域会議にて協力を依頼した。

## VI 組織運営のための共通事業

### 1. 総務関係事業

新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた対策を日々講じつつ、各種対応に注力した。本連盟各会議および地域会議の準備・開催を通じて、内外の関係者・関係団体との情報共有および意思疎通を図り、円滑な業務遂行を図った。「水泳ニッポン・中期計画 2017-2024」の進捗管理・公表を行った。「スポーツ団体ガバナンスコード<中央競技団体向け>」に準拠した役員・評議員の改選準備、および各種規程の改廃・策定を実施した。本連盟事務局の労務環境を管轄し、各種業務の効率化を目指す取り組みを実施した。

#### (1) 地域会議の開催

例年のとおり、10月から1月にかけて全国9ブロックの各地に出向き、本連盟の事業方針や重点施策についての説明、質疑応答、情報交換を実施した。

#### (2) 中期計画の進捗管理・公表

「水泳ニッポン・中期計画 2017-2024 (2021年度進捗報告)」を本連盟HPに掲載し、掲げた目標の進捗状況を報告した。

#### (3) ガバナンスコードに準拠した役員・評議員の改選準備および各種規程の改廃・策定

「スポーツ団体ガバナンスコード<中央競技団体向け>」に準拠した役員・評議員の改選準備、および各種規程の改廃・策定を実施した。

### 2. アスリート委員会関係

#### (1) 現役アスリートの意見集約

委員および水泳の指導現場からの考えや意見を集約し、常務理事会、特別強化委員会へ提出した。

#### (2) 現役アスリートへのサポート

メンタルヘルス、キャリアトランジション、月経、LGBTQ+の研修会を実施した。来年度事業へ生かすため、現役アスリートへニーズ調査アンケートを実施した。JOCアスリート委員会、他NFのアスリート委員会との意見交換会に参加した。

#### (3) ジュニアアスリートへの動機づけ

JOC全国ジュニアオリンピックカップ水泳競技大会(夏季・春季)にて、現役選手やOBOGの応援メッセージVTRを会場で流すとともに、本連盟公式SNSでも配信した。ジュニアアスリートを対象とした、日本代表選手によるオンライントークセッションを実施した。宮崎県、香川県にてオリンピック派遣事業を実施し、国体強化合宿で研修会や水泳指導を行った。

#### (4) 水泳の普及への貢献

水泳の日、泳力検定、スイムスマイルプロジェクトへオリンピックを派遣し、普及活動を行った。

ユニセフ「子どもの権利とスポーツの原則」の宣言【すべての子どものすこやかな成長のための水泳環境づくり宣言】の作成、PR 動画や HP 作成を行い、子どもたちが楽しく、安心して、水泳に打ち込める健全なスポーツ環境実現に向けて発信した。

(5) オリンピアン OBOG 会のネットワーク強化

オリンピック OBOG に対し、JOC オリンピアン研修会、本連盟研修会、オリンピックシート申請などの情報を提供した。オリンピック OBOG 会への登録の呼びかけを再度行い、多くの方々に本連盟事業に理解をいただき、水泳普及事業への協力を依頼した。

3. その他の普及事業

(1) ぱちゃぼなどに関わるライセンス事業

本連盟公認キャラクター「ぱちゃぼ」を活用したライセンス事業を、関係企業と連携して実施した。



《競技条件整備事業関係》

1. 競技者・競技役員登録数

2023年3月31日現在

		競技者	団体	会員	競技役員
1	北海道	2,294	192	1	143
2	青森	864	49	0	137
3	岩手	1,048	55	1	55
4	宮城	1,805	89	0	131
5	秋田	856	49	0	57
6	山形	1,180	58	0	153
7	福島	1,263	69	10	118
8	茨城	2,311	121	2	145
9	栃木	1,330	74	0	92
10	群馬	1,513	85	3	84
11	埼玉	5,183	173	3	158
12	千葉	4,046	171	0	110
13	東京	11,012	628	0	604
14	神奈川	7,313	255	6	213
15	山梨	711	34	0	17
16	長野	1,728	109	17	88
17	新潟	1,838	89	0	70
18	富山	841	55	37	73
19	石川	1,005	59	0	78
20	福井	606	41	0	18
21	静岡	3,689	172	14	176
22	愛知	6,929	287	58	244
23	三重	1,447	88	2	66
24	岐阜	1,811	88	0	68
25	滋賀	1,212	52	0	100
26	京都	2,255	87	1	99
27	大阪	6,896	312	4	176

		競技者	団体	会員	競技役員
28	兵庫	6,022	314	1	161
29	奈良	1,135	51	0	23
30	和歌山	976	52	0	45
31	鳥取	639	58	0	41
32	島根	651	53	0	61
33	岡山	1,327	88	3	82
34	広島	1,946	116	19	136
35	山口	1,134	63	0	48
36	香川	1,045	51	0	54
37	徳島	396	29	7	10
38	愛媛	1,355	82	2	42
39	高知	802	43	0	26
40	福岡	4,048	202	1	127
41	佐賀	728	47	0	110
42	長崎	1,709	98	0	60
43	熊本	2,008	92	0	90
44	大分	785	68	0	2
45	宮崎	680	56	0	27
46	鹿児島	1,619	92	6	87
47	沖縄	1,089	55	1	24
学生委員会	関東	3,026	86		
	中部	1,038	43		
	関西	1,185	53		
	中四国	550	36		
	九州	557	31		
北部	450	21			
合計	109,886	5,521	199	4,729	

※競技者数は実数で表示

## 2. 各種審判員登録数

2023年3月31日現在

		競泳審判			飛込審判			水球審判					A S 審判			O W S 審判		
		A	B	C	A	B	C	上級	1級	2級	3級	4級	A	B	C	A	B	C
1	北海道	2	21	116	0	2	3	0	0	0	0	0		1	1			7
2	青森	3	69	39	0	0	0	1	1	3	1	5						1
3	岩手	2	24	23	0	1	0	0	0	0	0	1						3
4	宮城	0	35	108	2	1	2	0	0	0	0	6		1	1			
5	秋田	3	22	31	0	1	3	0	0	0	0	1						2
6	山形	6	96	51	1	1	0	0	0	0	0	0						
7	福島	6	39	67	4	3	7	0	0	0	0	0			1			
8	茨城	5	35	87	5	6	3	0	0	1	1	6	1	2				1
9	栃木	0	12	39	3	0	2	0	0	0	0	0						1
10	群馬	1	28	49	3	2	7	0	0	0	2	1						
11	埼玉	6	65	76	6	1	4	0	0	0	1	0	1	1	4			
12	千葉	0	20	33	1	2	0	0	1	1	3	27			1			1
13	東京	7	103	357	6	4	3	0	1	1	2	8	5	4	8			1
14	神奈川	1	27	159	4	2	2	2	0	1	2	1	2		6			
15	山梨	0	9	8	0	0	0	0	0	0	0	0						
16	長野	2	55	21	3	2	2	0	0	0	0	0		2				
17	新潟	2	14	38	2	2	0	0	0	0	2	0			3			
18	富山	1	11	38	2	1	6	0	0	0	0	0		2	3			2
19	石川	1	19	46	7	9	5	0	0	0	1	3			6			1
20	福井	0	1	17	0	0	1	0	0	0	0	0						8
21	静岡	2	70	94	4	1	7	0	0	1	1	0	1	1	1			4
22	愛知	5	63	154	2	2	6	0	1	0	1	1	1	3	2			1
23	三重	1	10	35	1	1	10	0	1	0	1	1		1	1			
24	岐阜	5	19	43	0	0	3	0	0	0	1	2						
25	滋賀	10	30	53	0	2	1	0	1	0	2	9						9
26	京都	8	31	50	2	1	0	1	1	1	5	9	1		1			
27	大阪	8	51	83	5	1	5	2	1	2	3	2	5	3	5			9
28	兵庫	1	63	79	7	1	5	0	2	1	3	8		2	2			5
29	奈良	1	13	6	4	2	4	0	0	0	1	3						1
30	和歌山	0	23	15	0	1	2	0	0	0	2	1						1
31	鳥取	1	30	3	2	2	2	0	0	0	0	0						
32	島根	1	16	40	1	4	3	0	0	0	0	1		1	1			3
33	岡山	0	13	48	1	4	11	0	0	1	2	1		1				4
34	広島	5	42	64	1	3	2	0	0	0	1	10			3			
35	山口	4	18	26	0	0	2	0	0	0	2	0						
36	香川	1	25	25	1	1	1	0	0	0	0	0						
37	徳島	0	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0						
38	愛媛	0	14	27	0	0	0	0	0	0	0	0						
39	高知	1	0	20	1	3	1	0	0	0	0	6		1	2			1
40	福岡	5	36	79	2	2	5	0	0	1	0	0		1				8
41	佐賀	0	18	67	0	3	3	0	0	0	1	0						
42	長崎	1	31	23	0	0	0	0	0	0	1	0						
43	熊本	1	30	53	0	0	0	0	0	1	0	0						
44	大分	2	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0		1				
45	宮崎	4	12	11	0	1	0	0	0	0	1	0						
46	鹿児島	4	51	31	0	2	3	0	0	0	1	0						
47	沖縄	0	12	8	0	2	2	0	0	0	0	2						
学生	関東																	
委員	中部																	
会	関西																	
	中国																	
	九州																	
	合計	119	1,430	2,545	84	80	128	6	10	15	45	115	17	28	52	0	0	74

3. 指導・講習・研修

(1) 競泳：競技役員・審判研修会、競技会指導

競技委員会

開催種別	開催種	開催会場	形態	開催期日	派遣講師名	派遣予定人数	参加人数	備考	
競技役員・審判研修会	加盟団体	神奈川	平塚プレジール	リモート	2022年4月16日(土)	二見・後藤	205名	214名	A: 3 B: 31 C: 72 新規: 108 他種別: 0
	四国ブロック	香川		リモート	2022年4月17日(日)	二見・後藤	50名	67名	A: 6 B: 30 C: 21 新規: 10 他種別: 0
	加盟団体	静岡	静岡労働会館 大ホール	招聘	2022年4月17日(日)	藤森・菅谷	140名		A: 5 B: 25 C: 60 新規: 50 他種別: 0
	近畿ブロック	大阪	上宮高等学校	リモート	2022年4月24日(日)	後藤・内野	105名	165名	A: 10 B: 63 C: 56 新規: 36 他種別: 0
	加盟団体	大分	大分県教育会館	招聘	2022年4月24日(日)	高橋・佐藤	93名	67名	A: 3 B: 25 C: 9 新規: 30 他種別: 0
	東北ブロック	宮城	宮城県総合運動公園プール会館	リモート	2022年5月8日(日)	後藤・菅谷	230名	225名	A: 5 B: 60 C: 120 新規: 40 他種別: 0
	九州ブロック	佐賀		リモート	2022年5月8日(日)	高橋・松本	54名	122名	A: 10 B: 48 C: 48 新規: 16 他種別: 0
	北信越ブロック	富山	富山高岡総合プール	リモート	2022年5月14日(土)	高橋・内野	70名	67名	A: 4 B: 13 C: 14 新規: 36 他種別: 0
	加盟団体	福島	郡山ユラックス熱海	招聘	2022年5月15日(日)	佐藤・栗井	90名	101名	A: 6 B: 38 C: 29 新規: 28 他種別: 0
	加盟団体	新潟	ダイエープロビスフェニックスプール	招聘	2022年5月15日(日)	後藤・二見	38名	46名	A: 7 B: 16 C: 8 新規: 15 他種別: 0
	北海道ブロック	北海道	札幌平岸プール	招聘	2022年6月5日(日)	高橋・岡安	184名	182名	A: 4 B: 35 C: 101 新規: 42 他種別: 0
	東海ブロック	愛知	日本ガイシフォーラム	招聘	2022年10月9日(日)	後藤・佐藤		166名	A: 5 B: 19 C: 79 新規: 63 他種別: 0
	加盟団体	新潟	新潟総合スポーツセンター	招聘	2022年11月27日(日)	高橋・栗井		43名	A: 4 B: 6 C: 14 新規: 19 他種別: 0
	加盟団体	奈良	天理大学体育学部大教室	招聘	2022年11月27日(日)	二見・内野		127名	A: 2 B: 23 C: 43 新規: 59 他種別: 0
	加盟団体	学生委員会		リモート	2022年11月26日(土)	後藤・		142名	A: B: C: 新規: 142 他種別: 0
加盟団体	滋賀		リモート	2023年3月5日(日)	藤森・二見		48名	A: 5 B: 5 C: 15 新規: 23 他種別: 0	
加盟団体	神奈川	ミューザ川崎シンフォニーホール	リモート	2023年3月21日(火)	後藤・		50名	A: B: C: 新規: 50 他種別: 0	
競技会指導	鹿児島県水泳連盟	第64回西日本年齢別選手権水泳競技大会		2022年5月21日(土) 22日(日)	藤森・後藤				
	栃木県水泳連盟	関東高等学校水泳競技大会 栃木県予選会		2022年6月18日(土) 19日(日)	高橋・藤森				
	北海道水泳連盟	北海道高等学校選手権インターハイリハーサル大会		2022年7月1日(金) 2日(土)	鈴木・岡安				
	高知県水泳連盟	四国高等学校選手権水泳競技大会		2022年7月16日(土) 17日(日)	後藤・岡安				
	香川県水泳連盟	香川県中学校総合体育大会水泳競技会		2022年7月16日(土) 17日(日)	二見・内野				
	宮城県水泳連盟	全国中学校水泳競技大会宮城県予選会		2022年7月23日(土)	二見・菅谷・高橋				

(2) 飛込：審判員研修会

飛込委員会

	会場	実施日	講師	A	B	C	新規	計
東北	都南公民館	11/27	浅田	6	5	8	5	23
関東 A	東京辰巳国際水泳場	11/23	大久保	9	1	1	3	14
関東 B	東京辰巳国際水泳場	11/27	大久保	9	9	2	3	23
東海	日本ガイシ水泳場	2/12	金戸	5	5	9	3	22
近畿	大阪プール	3/11	金戸	9	3	2	2	17
九州	福岡県営プール	6/11	大久保	2	8	6	2	18
オンライン		3/11	金戸	15	24	12	3	53
レポート				8	10	7		25
				63	65	47	21	195

(3) 水球：審判員・指導者講習会、審判員派遣

水球委員会

ブロック名	場所	開催日程	参加人数
東北ブロック	オンライン講習会	4月17日(日)	29名

北信越ブロック	オンライン講習会	4月17日(日)	24名
関東ブロック	オンライン講習会	4月17日(日)	62名
東海ブロック	オンライン講習会	4月17日(日)	68名
近畿ブロック	府立鴨沂高等学校	5月8日(日)	50名
中国ブロック	オンライン講習会	4月17日(日)	24名
四国ブロック	オンライン講習会	4月17日(日)	10名
九州ブロック	オンライン講習会	4月17日(日)	59名

千葉県(独自)	千葉国際水泳場	4月24日(日)	68名
滋賀県(独自)	県立長浜北星高校	9月4日(日)	36名
茨城県(独自)	県立土浦第二高校	2月26日(日)	17名

(4)AS：審判長派遣、審判員研修会・講習会

AS委員会

①審判長派遣事業

	期 日	派遣先	大 会	派 遣
1	6月12日(土)	長 野	日本AS チャレンジカップ 2022 長野県予選会	田中 洋子
2	6月26日(日)	福 島	日本AS チャレンジカップ 2022 東北ブロック予選会	田中 洋子
3	7月2日(土)・3日(日)	富 山	第43回北信越国民体育大会・全国JOC ジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会 AS 競技北信越ブロック予選会	山田 智子
4	7月2日(土)・3日(日)	島 根	第73回五県対抗水泳競技大会 AS 競技兼日本AS チャレンジカップ 2022 中四国ブロック予選会	鷺見 朗子
5	7月9日(土)・10日(日)	岩 手	令和4年度国民体育大会東北ブロック予選会兼第45回全国JOC ジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会 AS 競技東北ブロック予選会	齋藤 由紀
6	7月9日(土)・10日(日)	大 分	第45回全国JOC ジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会兼令和4年度国民体育大会 AS 競技九州ブロック大会	樋口 育子

②公認 AS 審判研修会

	期 日	主 催	講 師	備 考
1	6月12日(日)	長 野	田中 洋子	参加者数：15名 (B級 4名・C級 11名)
2	7月2日(土)	福 井	山田 智子	参加者数：15名 (B級 6名・C級 10名・その他 1名)
3	7月2日(土)	島 根	鷺見 朗子	参加者数：10名 (B級 1名・C級 8名・その他 1名)
4	7月9日(土)	九 州	樋口 育子	参加者数：10名 (B級 4名・C級 6名)
5	8月9日(火)	本連盟	審 判 部	チャレンジカップ開催時 (東京辰巳国際水泳場) 参加者数：15名 (A級 12名・B級 3名)
6	8月21日(日)	本連盟	審 判 部	JOC ジュニアオリンピックカップ開催時 (横浜国際プール) 参加者数：19名 (B級 3名・C級 16名)
7	10月8日(土) 9日(日)	本連盟	本間三和子他 指導者部 審 判 部	コーチ&ジャッジクリニック 2022 (千葉県国際総合水泳場他) 申込者数：127名 (審判資格者：A級 33名・B級 25名・C級 42名)

8	12月18日(日)	本連盟	本間三和子 指導者部 審判部	第1回アーティスティックスイミングルール改正特別研修会 (ナショナルトレーニングセンター・オンライン) (審判資格者：A級16名・B級20名・C級40名)
9	2023年 2月25日(土) 26日(日)	本連盟	審判部	A・B・C級審判研修会 (大阪府・門真スポーツセンター) 参加者数：61名 (A級25名・B級15名・C級19名・その他2名)

③公認 AS 審判養成講習会および検定試験審判研修会

	日 程	主 催	講 師	備 考
1	10月2日(日)	本連盟	審判部	東京都・東京辰巳国際水泳場 (受験者数：A級6名・B級18名・C級39名)

④その他の活動

1. 新規登録および更新登録受付処理
2. 大会におけるジャッジの推薦とアサイメント作成
3. オンライン AS ジャッジスクール運営

(5) OWS：審判員講習会

OWS 委員会

	開催地	開催会場	開催日程	派遣講師名	参加人数
本連盟	東京	Zoom 配信	2022年4月2日	原・石井・藤澤	29名
本連盟	東京	Zoom 配信	2022年9月11日	亀田・篠田・藤澤	43名
本連盟	東京	Zoom 配信	2023年1月29日	亀田・石井・藤澤	30名

(6) 科学

科学委員会

事業名	開催日程	開催会場	参加人数
2022年日本水泳・水中運動学会年次大会 日本水泳・水中運動学会主催、 東京女子体育大学共催、本連盟後援	10月8日(土) ・9日(日)	東京女子体育大学 (東京都・国立市)	100名

(7) 医事

医事委員会

事業名	日程	会場	参加者 ( )はオンライン
第34回日本水泳ドクター会議総会	2022/6/4	品川インターシティ貸会議室 ・オンライン	ドクター26 (26)名
第24回水と健康医学研究会			ドクター30 (39)名 トレーナー7 (25)名 非会員2 (4)名

第10回水泳競技メディカルサポート研究会	2022/11/5	品川インターシティ貸会議室 ・オンライン	ドクター14 (22) 名 トレーナー16 (37) 名
トレーナー会議【夏季研修会】	2022/6/5	オンライン	トレーナー 58名
トレーナー会議【BLS研修会】	2023/2/11	東都大 幕張キャンパス	トレーナー 24名
トレーナー会議【基礎研修会】	2023/2/25	桐蔭横浜大学	トレーナー 16名
近畿ブロック合同研修会	2023/1/28	オンライン	ドクター 26名 トレーナー 18名 非会員 3名
北海道・東北、関東ブロック合同研修会	2023/2/18	仙台駅前貸会議室 ・オンライン	ドクター 22名 トレーナー 40名 非会員 3名
九州・沖縄、中国・四国ブロック合同研修会	2023/3/5	福岡大学病院メディカルホール ・オンライン	ドクター 21名 トレーナー 21名 非会員 22名
東海・北信越ブロック合同研修会	2023/3/11	TKPガーデンシティ金沢駅西口 ・オンライン	ドクター 17名 トレーナー 26名 非会員 6名

4. 日本新記録および学生・高校・中学・学童記録の公認

		4/17			5/1			7/3			8/26			9/8		
長水路	日本記録	男子			男子			1	男子	1	1	男子			男子	
		女子			女子				女子			女子	1		女子	
		混合			混合				混合			混合			混合	
	学生記録	男子			男子				男子		1	男子		2	男子	2
		女子			女子				女子			女子	1		女子	
高校記録	男子			3	男子			男子		1	男子	1		男子		
	女子				女子	3		女子			女子			女子		
中学記録	男子				男子			男子			男子			男子		
	女子				女子			女子			女子			女子		
学童記録	男子				男子			男子			男子		1	男子	1	
	女子				女子			女子			女子			女子		
短水路	日本記録	男子			男子				男子			男子			男子	
		女子			女子				女子			女子			女子	
		混合			混合				混合			混合			混合	
	学生記録	2	男子	1		男子		1	男子	1		男子			男子	
			女子	1		女子			女子			女子			女子	
	高校記録	男子				男子		1	男子	1		男子			男子	
		女子				女子			女子			女子			女子	
	中学記録	男子				男子			男子			男子			男子	
		女子				女子			女子			女子			女子	
	学童記録	男子				男子			男子			男子			男子	
女子					女子			女子			女子			女子		

		10/19			10/23			11/29			12/4			3/5		
長水路	日本記録	男子			男子			男子			男子				男子	
		女子			女子			女子				女子			女子	
		混合			混合			混合				混合			混合	
	学生記録	男子			男子			男子			1	男子	1	2	男子	2
		女子			女子			女子				女子			女子	
高校記録	男子			男子			男子				男子		1	男子	1	
	女子			女子			女子				女子			女子		
中学記録	男子			男子			男子			3	男子	3	3	男子	3	
	女子			女子			女子				女子			女子		
学童記録	1	男子	1		男子		2	男子	2		男子		7	男子	5	
		女子			女子			女子			女子			女子	2	
短水路	日本記録	男子			4	男子	3		男子			男子			男子	
		女子				女子	1		女子			女子			女子	
		混合				混合			混合			混合			混合	
	学生記録	男子			3	男子	1	1	男子			男子		2	男子	2
		女子				女子	2		女子	1		女子			女子	
高校記録	男子			2	男子	1		男子		1	男子	1	4	男子	4	
	女子				女子	1		女子			女子			女子		
中学記録	男子				男子			男子			男子		10	男子	10	
	女子				女子			女子			女子			女子		
学童記録	男子				男子			男子			男子		3	男子	2	
	女子				女子			女子			女子			女子	1	

		3/22			3/30			合計		
長水路	日本記録	男子			男子			2	男子	1
		女子			女子				女子	1
		混合			混合				混合	0
	学生記録	男子			男子			6	男子	5
		女子			女子				女子	1
高校記録	男子			男子			5	男子	2	
	女子			女子				女子	3	
中学記録	1	男子	1	男子			7	男子	7	
		女子		女子				女子	0	
学童記録	2	男子	2	男子			13	男子	11	
		女子		女子				女子	2	
短水路	日本記録	男子			男子			4	男子	3
		女子			女子				女子	1
		混合			混合				混合	0
	学生記録	1	男子	1	男子			10	男子	5
			女子		女子				女子	5
高校記録	1	男子	1	3	男子	1	12	男子	9	
		女子			女子	2		女子	3	
中学記録	男子			2	男子	2	12	男子	12	
	女子				女子			女子	0	
学童記録	男子			6	男子	4	9	男子	6	
	女子				女子	2		女子	3	

長水路  
合計  
33

短水路  
合計  
47

新記録  
合計  
80

## 5. プール公認

### 50m (新0・再28)

種別	公認番号	プール名称	都道府県	有効期限日	材質	屋内外
50m	再 5605	三重県営鈴鹿スポーツガーデンプール(メイン国際-併用)	三重県	2027/3/31	RC	内
50m	再 5630	静岡県富士水泳場	静岡県	2027/3/31	RC	内
50m	再 5549	スパッシュランドしろいし	宮城県	2027/6/30	RC	内
50m	再 5607	七尾市城山水泳プール	石川県	2027/3/31	PC	外
50m	再 5481	福島市中央市民プール	福島県	2027/3/31	RC	外
50m	再 5648	別府市営青山プール	大分県	2027/4/30	RC	外
50m	再 5631	茨城県笠松運動公園水泳プール国際 A 級	茨城県	2027/3/31	RC	内
50m	再 5632	茨城県笠松運動公園屋内水泳プール (サブ 25m 併用)	茨城県	2027/3/31	RC	内
50m	再 5046	新潟市西海岸公園市営プール	新潟県	2027/3/31	RC	外
50m	再 5608	相模原市立総合水泳場(国際 B 認定)	神奈川県	2027/5/31	RC	内
50m	再 5482	足利市総合運動場プール	栃木県	2027/4/30	S	外
50m	再 5668	開成山屋内水泳場 (併用)	福島県	2027/6/30	RC	内
50m	再 5285	日本体育大学健志台プール	神奈川県	2027/6/30	RC	内
50m	再 5408	二宮町営山西プール	神奈川県	2027/7/31	SS	外
50m	再 5657	一関水泳プール	岩手県	2027/5/31	FRP	外
50m	再 5545	釜石市営プール	岩手県	2027/5/31	RC	外
50m	再 5656	東洋大学総合スポーツセンタープール	東京都	2026/8/31	SS	内
50m	再 5132	やしろ会館室内プール	兵庫県	2027/7/31	SS	内
50m	再 1081C	枕崎市営プール	鹿児島県	2027/7/31	RC	外
50m	再 5484	東京工科大学プール	東京都	2027/7/31	SS	外
50m	再 5601	和歌山県立新翔高等学校水泳プール	和歌山県	2027/11/30	FRP	内
50m	再 1088	湊川相野学園 50 周年記念プール	兵庫県	2027/9/30	RC	外
50m	再 5134	荒尾運動公園市民プール	熊本県	2028/1/31	RC	外
50m	再 1120	山鹿市民プール	熊本県	2028/2/28	RC	外
50m	再 5424	利根川公園プール	山梨県	2028/4/30	RC	外
50m	再 5553	矢祭町町民プール	福島県	2028/3/31	RC	外
50m	再 5615	横浜国際プール 国際	神奈川県	2028/3/31	RC	内
50m	再 5616	横浜国際プール(サブプール)	神奈川県	2028/3/31	RC	内

### 25m (新0・再44)

種別	公認番号	プール名称	都道府県	有効期限日	材質	屋内外
25m	再 2784	三重県営鈴鹿スポーツガーデンプール(メイン-国際併用)	三重県	2027/3/31	RC	内



25m	再 2785	三重県営鈴鹿スポーツガーデンプール(サブプール)	三重県	2027/3/31	AL	内
25m	再 2852	静岡県富士水泳場	静岡県	2027/3/31	RC	内
25m	再 2853	茨城県笠松運動公園屋内水泳プール(併用)	茨城県	2027/3/31	RC	内
25m	再 2547	西和賀町湯本屋内温泉プール	岩手県	2027/4/30	SS	内
25m	再 2854	新潟市西海岸公園市営プール屋内プール	新潟県	2027/4/30	RC	内
25m	再 2786	相模原市立総合水泳場(メイン-併用)	神奈川県	2027/5/31	RC	内
25m	再 2787	相模原市立総合水泳場(サブプール)	神奈川県	2027/5/31	RC	内
25m	再 2680	釧路市鳥取温水プール	北海道	2027/5/31	RC	内
25m	再 2856	小林総合運動公園市営プール	宮崎県	2027/4/30	FRP	内
25m	再 2896	福原学園屋内公認プール	福岡県	2027/5/31	FRP	内
25m	再 2553	前橋スイミングスクール前橋校	群馬県	2027/6/30	RC	内
25m	再 2788	佐伯市総合運動公園内温水プール	大分県	2027/5/31	SS	内
25m	再 2917	開成山屋内水泳場	福島県	2027/6/30	RC	内
25m	再 2918	開成山屋内水泳場(サブプール)	福島県	2027/6/30	RC	内
25m	再 2880	大宮教育センター記念プール	埼玉県	2027/11/30	RC	内
25m	再 2689	中標津町温水プール	北海道	2027/10/31	RC	内
25m	再 2791	新潟県佐渡スポーツハウス温水プール	新潟県	2027/5/31	PC	内
25m	再 2551	佐世保市温水プール	長崎県	2027/6/30	SS	内
25m	再 2564	埼玉スウィン記念プール	埼玉県	2028/1/31	RC	内
25m	再 2686	障害者スポーツ文化センター横浜ラポール	神奈川県	2027/8/31	RC	内
25m	再 2688	福島スイミングスクールほぼら	福島県	2027/9/30	RC	内
25m	再 2796	水俣市立総合体育館温水プール	熊本県	2027/8/31	RC	内
25m	再 2898	国士舘大学世田谷キャンパスメイプルセンチュリーホール屋内プール	東京都	2028/3/31	FRP	内
25m	再 2797	東村山市民スポーツセンター屋内プール	東京都	2027/8/31	SS	内
25m	再 2168	南砺市城端温水プール	富山県	2027/4/30	SS	内
25m	再 2876	松本庄内屋内プール	長野県	2026/8/31	FRP	内
25m	再 2684	名古屋スイミングクラブ	愛知県	2027/7/31	RC	内
25m	再 2185	青森ヤクルトスイミングスクール	青森県	2027/10/31	RC	内
25m	再 2555	浜田市室内プール	島根県	2027/9/30	RC	内
25m	再 2375	コナミスポーツジュニアスクール西葛西	東京都	2027/11/30	SS	内
25m	再 2691	上板町ファミリースポーツ公園内温水プール	徳島県	2027/12/31	FRP	内
25m	再 2690	愛知産業大学三河高等学校プール	愛知県	2027/11/30	RC	内
25m	再 2799	大阪市舞洲障がい者スポーツセンター	大阪府	2027/11/30	RC	内
25m	再 2801	杉並区上井草総合運動場プール	東京都	2027/11/30	SS	内
25m	再 2193	山梨県緑が丘スポーツ公園屋内プール	山梨県	2028/3/31	RC	内
25m	再 2384	青森市民室内プール	青森県	2027/12/31	SS	内
25m	再 2562	広島修道大学プール	広島県	2027/12/31	RC	内
25m	再 2692	立川市柴崎市民体育館室内水泳場	東京都	2027/12/31	SS	内
25m	再 2860	山梨学院シドニー記念水泳場	山梨県	2028/3/31	RC	内
25m	再 2376	ダッシュ・前橋スイミングクラブ	群馬県	2027/11/30	SS	内

25m	再 2693	島根県水泳連盟立江津室内プール	島根県	2028/1/31	RC	内
25m	再 2711	スインピア矢祭	福島県	2028/7/31	RC	内
25m	再 2805	横浜国際プール(サブプール) 縦 AB 面	神奈川県	2028/3/31	RC	内

飛込 (新 0・再 8)

種別	公認番号	プール名称	都道府県	有効期限日	材質	屋内外
飛込	再飛 61	三重県宮鈴鹿スポーツガーデン飛込プール	三重県	2027/3/31	RC	内
飛込	再飛 70	静岡県富士水泳場	静岡県	2027/3/31	RC	内
飛込	再飛 75	別府市営青山プール	大分県	2027/4/30	RC	外
飛込	再飛 71	茨城県笠松運動公園屋内プール	茨城県	2027/3/31	RC	内
飛込	再飛 16	日本体育大学健志台飛込プール	神奈川県	2027/6/30	RC	外
飛込	再飛 52	末広屋外飛込プール	石川県	2027/7/31	PC	外
飛込	再飛 63	横浜国際プール 国際	神奈川県	2028/3/31	RC	内
飛込(国際)	再飛 62	相模原市立総合水泳場 (B 級認定)	神奈川県	2027/5/31	RC	内

《普及事業》

1. 指導者養成関係

①地域指導者研修会・講習会

地域指導者委員会

2022年度 地域指導者委員会に関する主な事業		
水泳コーチ養成に関する事業		
コーチ2 養成講習会 埼玉県：9名修了（16名受講）		
基礎水泳指導員・公認水泳コーチ1 養成講習会47都道府県加盟団体で実施 コーチ2（マスター称号）：201名 コーチ2：1,287名 コーチ1：8,068名 基礎水泳指導員 999名（単年度登録者数）		
免除適応校専門科目検定（合格者数） 北海道会場：4名 東京会場：1名 大阪会場：3名 大学：5名		
アスリート免除審査 2022年4月～2023年3月 29名		
研修に関する事業		
基礎水泳指導員・公認水泳コーチ1・2 更新研修会 47都道府県加盟団体で実施（オンデマンド・集合）		
小中学校教員対象水泳指導研修会講師派遣 千葉県白井市小中学校体育主任研修会 千葉県教育研究会松戸支部小学校体育主任研修	2022年5月24日 2022年6月20日	千葉県白井市役所 千葉県松戸市立北部小学校
会議に関する事業		
第46回全国地域指導者（普及）委員長会議 2022年7月9日（土）・10（日） 東京ガーデンパレス		
地区別委員長会議派遣 北海道・東北地区委員長会議 2022年10月22・23日 青森県 関東地区委員長会議 2022年11月26・27日 山梨県 北信越地区委員長会議 開催なし 東海地区委員長会議 2023年1月14日（派遣なし） 愛知県 近畿地区委員長会議 2022年10月19日 大阪府 中国地区委員長会議 開催なし 四国地区委員長会議 2022年10月15日（派遣なし） 香川県 九州地区委員長会議 2023年1月28・29日 沖縄県		

②コーチ研修会・講習会

競技力向上コーチ委員会

- (1) コーチ3 研修会 12月1日～1月31日（オンライン）  
 (2) コーチ4 研修会 12月1日～1月31日（オンライン）

(3) コーチ養成講習会

種別	日程・形態	競泳	飛込	水球	AS	OWS	合計
コーチ 3	10月1日～21日 個人学習 11月 3,5,6,12,13日 ライブ講習	76名	1名	3名	2名	2名	84名

種別	日程・形態	競泳	飛込	水球	AS	OWS	合計
コーチ 4	11月1日～14日 個人学習 11月 26日～27日 ライブ講習	22名	0名	3名	5名	1名	31名

③水泳教師研修会

水泳教師委員会

(ア)水泳教師資格更新研修会 全国 24 会場 受講者数 448 人

SC 協にて実施

管轄	場所	研修会名	開催日	教師更新者人数
全国	近畿	ストレス予防改善水泳指導者研修会	5月7・8日	7名
全国	関東	内科的疾患予防改善水泳指導者研修会	6月4・5日	31名
全国	近畿	全国水泳指導者特別研修会（ベビー）	6月19日	22名
全国	関東	アクア全国研修会	7月10日	18名
全国	近畿	循環器系疾患予防改善水泳指導者研修会	9月3・4日	12名
全国	関東	整形外科の疾患予防改善水泳指導者研修会	11月5・6日	37名
全国	近畿	転倒・寝たきり予防改善研修会	2月5・6日	16名
全国	関東	肥満予防改善研修会	3月19・20日	24名
北海道	北海道	水泳指導者研修会兼資格更新研修会	1月29日	23名
東北	東北	令和4年度第1回水泳指導者研修会	12月18日	23名
関東	関東	ベビー水泳指導者研修会	11月13日	50名
関東	関東	指導力向上セミナー	11月23日	31名
関東	関東	知的障害者水泳指導者研修会	2月12日	39名
信越	信越	信越支部 指導力向上セミナー	11月27日	16名
北陸	北陸	水泳指導者研修会	11月13日	11名
東海	東海	妊婦水泳研修会	10月30日	3名
東海	東海	静岡県ベビースイミング研修会	12月11日	2名
東海	東海	第32回競泳研究会	1月22日	21名
東海	東海	ベビースイミング研修会	2月12日	10名
近畿	近畿	水泳指導者研修会兼更新研修会	11月27日	9名
四国	四国	幼児水泳指導者研修会兼資格更新研修会	10月31日	6名
四国	四国	「いのちを守る安全水泳」「発達障害」研修会	11月13日	16名
九州	九州	第1回九州指導者研修会	9月18日	中止
九州	九州	第2回九州指導者研修会	2月19日	21名
合計				448名

## (イ) 水泳教師養成講習会(受講者)

【新規養成コース】

SC 協担当 専門科目受講者 延べ 337 名

支 部	科 目	開 催 日	受 講 者 数	合 格 者 数	不 合 格 数	( 欠 席 )	( 不 合 格 )
北海道	基本	10月1日	中止				
	成人	10月2日	中止				
	幼児	11月26日	中止				
	学童	11月27日	中止				
	競技	1月28日	中止				
東北	幼児	5月15日	8	8	0	0	0
	学童	7月3日	8	6	2	0	2
	安全	7月31日	8	6	2	1	1
	成人	10月9日	5	5	0	0	0
	競技	11月20日	5	4	1	0	1
	基本	1月15日	6	6	0	0	0
関東	基本	8月11日	10	8	2	0	2
	幼児	8月12日	15	14	1	1	0
	学童	8月13日	13	11	2	2	0
	成人	8月14日	10	9	1	1	0
	競技	8月15日	10	9	1	1	0
信越	安全	8月16日	10	9	1	1	0
	基本	5月22日	9	8	1	0	1
	競技	5月22日	1	1	0	0	0
	基本	6月12日	10	10	0	0	0
	幼児	6月12日	3	3	0	0	0
	幼児	8月21日	3	3	0	0	0
	学童	8月21日	5	5	0	0	0
	学童	9月11日	4	4	0	0	0
	成人	9月11日	1	1	0	0	0
北陸	競技	9月11日	2	2	0	0	0
	幼児	5月29日	2	1	1	1	0
	学童	7月3日	7	6	1	1	0
	基本	9月11日	4	3	1	0	0
	成人	10月23日	3	3	0	0	0
東海	競技	3月12日	13	13	0	0	0
	ベビー	3月13日	1	1	0	0	0
	基本	4月24日	5	5	0	0	0
	学童	5月29日	10	10	0	0	0
	成人	7月24日	5	5	0	0	0
	幼児	8月14日	5	5	0	0	0
	高齢者	8月14日	4	4	0	0	0
	競技	10月23日	5	5	0	0	0
	妊婦	10月30日	6	6	0	0	0
	ベビー	2月12日	8	8	0	0	0
近畿	幼児	10月16日	6	6	0	0	0
	安全	10月16日	5	5	0	0	0
	競技	11月6日	1	1	0	0	0
	学童	12月11日	4	4	0	0	0
	妊婦	12月11日	2	2	0	0	0
	成人	1月29日	2	2	0	0	0
	ベビー	1月29日	9	9	0	0	0
	施設	2月19日	4	3	1	0	1
	基本	2月19日	3	3	0	0	0
中国	基本	6月7日	3	2	1	0	1
	幼児	7月5日	9	9	0	0	0
	学童	9月20日	7	7	0	0	0
	成人	11月15日	4	4	0	0	0
	安全	1月17日	3	3	0	0	0
	基本	1月31日	1	1	0	0	0
	競技	1月31日	5	5	0	0	0
四国	基本	9月30日	中止				
	幼児	10月31日	14	14	0	0	0
九州	幼児	11月29日	13	13	0	0	0
	学童	11月30日	15	15	0	0	0
	成人	1月29日	3	3	0	0	0
	競技	1月30日	中止				
計			337	318	19	9	9

【適応認定コース】 (本連盟 担当)

適応コース	開催日	開催地	合格	不合格
東京 YMCA 社会体育専門学校	1月16～18日	東京都	12	2
大阪社体スポーツ専門学校	1月16～18日	〃	3	0
計			15	2

(ウ)水泳教師在籍施設証明事業 (JSPO 共同事業)

	新規	更新	総数
2022年4月認定	1	23	24
2022年10月認定	5	7	12
計	6	30	36
2022年度末 認定施設数			160

(エ)スキルアップセミナー

	開催日	開催地	参加者数
横浜市スポーツ医科学センター	11月20日	東京都	53
東京都水泳協会	2月5日	神奈川県	38

## 2. 各種指導員登録数

2023年3月31日現在

	有効期間内JSPO公認指導者総数						本連盟公認 指導者数(2022年度)
	コーチ1	コーチ2	コーチ3	コーチ4	教師	上級教師	基礎水泳 指導員
北海道	746	71	118	5	106	14	62
青森	82	26	16	4	3		2
岩手	100	12	27	2	8		14
宮城	93	29	37	11	34	13	25
秋田	90	8	14	7	2		0
山形	89	16	29	9	15	6	3
福島	186	47	37	3	28	4	0
茨城	197	21	69	21	37	9	31
栃木	152	23	40	7	23	2	28
群馬	137	23	65	6	28	6	41
埼玉	538	47	204	44	136	16	70
千葉	182	11	148	26	69	11	70
東京	1300	224	616	122	299	80	151
神奈川	390	59	250	75	167	31	71
山梨	32	8	17	6	4	2	11
長野	51	6	50	10	87	17	0
新潟	361	62	72	14	42	7	3
富山	113	41	51	12	26	7	22
石川	52	13	35	8	25	3	6
福井	17	3	22	5	45	2	0
静岡	314	19	86	23	59	8	41
愛知	383	75	161	35	126	41	60
三重	183	26	59	12	34	7	13
岐阜	184	13	29	6	28	6	0
滋賀	113	14	38	12	21	4	0
京都	104	24	48	19	36	7	5
大阪	138	39	161	51	125	19	50
兵庫	223	36	101	36	47	9	49
奈良	60	6	27	9	17	2	1
和歌山	19	8	23	8	17	5	9
鳥取	34	13	20	6	7		5
島根	66	7	24	3	19	7	10
岡山	110	8	34	13	28	5	11
広島	163	17	61	10	27	10	12
山口	95	12	28	8	14	5	7
香川	78	23	25	6	24	8	0
徳島	24	7	7	8	11	1	0
愛媛	87	35	15	8	18	4	0
高知	61	22	18	3	6	1	23
福岡	136	10	101	19	61	16	14
佐賀	30	2	21	1	4	1	0
長崎	67	15	13	2	10	4	8
熊本	142	54	25	3	15		38
大分	63	2	16	3	7	2	8
宮崎	35	9	16	2	12	1	2
鹿児島	127	28	32	4	24	3	1
沖縄	121	12	23	5	13	9	17
合計	8,068	1,286	3,129	712	1,994	415	994

基礎水泳22年3月末

### 3. 泳力検定実施状況

都道府県	2017年度 (2017/4/1～2018/3/31)		2018年度 (2018/4/1～2019/3/31)		2019年度 (2019/4/1～2020/3/31)		2020年度 (2020/4/1～2021/3/31)		2021年度 (2021/4/1～2022/3/31)		2022年度 (2022/4/1～2023/3/31)	
	受検者数	合格者数	受検者数	合格者数	受検者数	合格者数	受検者数	合格者数	受検者数	合格者数	受検者数	合格者数
1 北海道	4,351	2,928	3,357	2,272	3,344	2,282	1,198	890	1,611	1,119	2,286	1,627
2 青森	945	767	927	645	512	362	457	303	540	399	291	223
3 岩手	700	530	708	583	1,288	1,184	182	160	383	342	398	329
4 宮城	788	568	1,234	945	596	455	258	220	532	457	599	465
5 秋田	0	0	6	6	1	1	3	3	0	0	4	4
6 山形	65	49	110	96	74	74	61	61	83	83	53	53
7 福島	943	746	949	706	775	555	1,161	885	1,154	765	1,016	743
8 茨城	4,988	3,319	4,502	3,360	4,168	3,219	2,688	2,077	3,566	2,598	3,248	2,424
9 栃木	865	706	916	685	506	367	266	208	481	396	899	726
10 群馬	3,788	2,996	4,131	3,308	1,855	1,510	2,003	1,603	2,496	1,956	2,219	1,679
11 埼玉	15,536	9,613	14,957	9,542	11,482	7,335	7,169	4,547	10,306	6,711	10,481	6,922
12 千葉	4,417	2,290	4,921	2,554	3,810	1,988	2,593	1,287	3,036	1,329	3,183	1,664
13 東京	12,127	9,338	4,932	3,656	3,745	2,932	8,298	7,806	4,612	4,072	8,189	7,830
14 神奈川	5,882	4,594	5,431	4,207	4,512	3,323	2,029	1,269	3,016	1,958	3,039	2,080
15 山梨	189	187	242	232	8	8	219	210	7	7	230	203
16 長野	253	229	253	205	314	264	110	89	140	120	114	99
17 新潟	324	262	330	299	154	144	104	103	27	27	17	17
18 富山	100	97	125	121	191	185	77	77	85	82	67	64
19 石川	108	66	0	0	141	130	17	12	110	91	298	213
20 福井	12	10	250	207	282	213	58	26	90	33	100	44
21 静岡	1,514	1,336	1,346	1,226	1,639	1,415	993	899	1,351	1,182	1,359	1,187
22 愛知	2,723	1,933	3,649	2,163	2,601	2,036	2,045	1,505	2,274	1,488	2,828	1,896
23 三重	237	221	231	205	178	156	177	168	262	234	286	242
24 岐阜	247	198	407	350	215	169	340	287	241	226	428	364
25 滋賀	360	347	240	231	189	181	89	89	153	116	166	165
26 京都	990	443	887	509	698	373	295	271	268	241	735	593
27 大阪	1,297	1,101	1,369	1,104	1,304	1,065	467	369	1,105	895	806	652
28 兵庫	2,212	1,708	2,406	1,953	1,590	1,250	778	630	1,647	1,189	1,490	1,132
29 奈良	1,050	709	966	652	798	545	257	183	595	434	596	403
30 和歌山	335	308	433	387	353	306	291	259	314	287	355	317
31 鳥取	183	169	20	15	0	0	0	0	23	23	0	0
32 島根	95	92	0	0	134	132	0	0	0	0	103	102
33 岡山	32	27	509	333	582	549	18	18	35	35	308	282
34 広島	1,096	885	1,269	1,028	438	370	106	99	120	108	265	215
35 山口	197	162	228	200	256	227	139	115	257	225	174	153
36 香川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
37 徳島	3	1	7	7	13	10	0	0	0	0	6	5
38 愛媛	0	0	372	355	114	111	27	27	0	0	0	0
39 高知	0	0	221	207	0	0	0	0	75	60	58	41
40 福岡	180	131	220	212	134	130	55	55	218	217	241	233
41 佐賀	108	78	105	78	224	224	373	265	0	0	4	4
42 長崎	116	83	389	302	214	151	16	14	1	0	0	0
43 熊本	261	225	296	243	382	311	0	0	0	0	39	38
44 大分	354	293	169	146	250	218	166	160	211	204	245	222
45 宮崎	81	63	84	56	84	52	0	0	46	39	32	23
46 鹿児島	206	188	0	0	0	0	0	0	8	8	2	2
47 沖縄	96	66	728	267	66	45	29	23	55	42	75	61
48 ベトナム	0	0	0	0	0	0	35	29	67	63	14	14
OWS検定	580	503	324	292	577	483	111	104	98	81	202	167
飛込検定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	436	396
合計	70,934	50,565	65,156	46,150	50,791	37,040	35,758	27,405	41,699	29,942	47,984	36,318

※2023年3月末までにご報告いただいた集計分となります。



#### 4. 地域会議報告

地 域	担当県	日 程	出席者			
			鈴木 会長	坂元副会長兼専務理事	鷺見常務理事	
北海道	札幌	10月29日(土)	鈴木 会長	坂元副会長兼専務理事	鷺見常務理事	
北信越	福井	11月3日(木・祝)	鈴木 会長	坂元副会長兼専務理事	鷺見常務理事	金子常務理事
九州	福岡	11月12日(土)	鈴木 会長	坂元副会長兼専務理事	鷺見常務理事	村松理事
東海	静岡	11月19日(土)	鈴木 会長	坂元副会長兼専務理事	鷺見常務理事	
近畿	和歌山	11月20日(日)	鈴木 会長	坂元副会長兼専務理事	鷺見常務理事	
東北	青森	11月26日(土)	鈴木 会長	村山副会長	鷺見常務理事	金子常務理事
関東	栃木	11月27日(日)	鈴木 会長	村山副会長	鷺見常務理事	金子常務理事
四国	高知	12月3日(土)	鈴木 会長	村山副会長	鷺見常務理事	
中国	島根	1月15日(日)	坂元副会長兼専務理事	村山副会長	鷺見常務理事	

#### 議 題

1. 歓迎の挨拶 開催地 加盟団体長
2. 挨拶および現況報告 会長 鈴木 大地  
第19回世界選手権(ハンガリー / ブダペスト) 競泳、飛込、水球、AS、OWS
3. 事業報告
  - (1) 競技力向上関係  
2023年度インターナショナル・ナショナル選手標準記録
  - (2) 競技会関係
    - ① 2022年度下期開催予定
    - ② 2023年度主要競技会開催予定
    - ③ 2023年度主要競技会標準記録(案)
    - ④ 国体関係報告(とちぎ国体報告)
    - ⑤ 日本スポーツマスターズ2022
    - ⑥ 指導者養成事業関係
    - ⑦ 生涯スポーツ関係
      1. 泳力検定制度 推進状況
      2. 「水泳の日」 報告
  - (3) 総務関係
    - ① 水泳ニッポン・中期計画2017-2024(進捗報告)
    - ② 加盟団体の法人化状況報告
    - ③ 競技者登録状況
    - ④ 2023年度会議日程案
    - ⑤ ガバナンスコード対応について
    - ⑥ 2024年日本水泳連盟創立100周年記念事業について
    - ⑦ その他
      1. 2022 アンチ・ドーピング最近の話題
      2. スポーツ界における暴力行為根絶宣言
      3. 倫理に関するガイドライン等
  - (5) その他
    - ① 総合補償制度 推進状況
    - ② 2022年世界選手権福岡大会進捗状況
    - ③ コンプライアンスについて(今年度の事例報告)
    - ④ 有功章推薦者について(表彰者名簿の共有)
4. 各加盟団体の要望および意見
5. 来年度地域会議開催日程案
6. 質疑応答

## 2022 年度地域会議における要望・意見および質疑応答事項

### 北海道ブロック会議(2022.10.29) 札幌

#### 1. プール施設等の公認制度について(競泳プール・飛込プール)

2022 年 4 月 1 日に、公認プールの再認定を受けたが、2023 年の高校総体で、飛込競技が実施できないことになった。できない理由は、施設の不備であった。公認の再認定に際し、特に指摘事項はなかったようなので、公認制度に対して確認したい。

(回答) 飛込プールに設置の「可動式支点装置」は、すでに廃版となった国産メーカーのものである。現行の「公認プール施設要領・②飛込競技会用プール施設要領」にある「②可動式支点は飛板と同一メーカーの製品を設置すること。」に抵触するが、公認取得時点では、この規定はなく、「プール公認規則 第 2 節 一般飛込プールの飛板 第 70 条 (可動式支点)」にある「②飛板の可動式支点は本連盟が検定したものでなければならない。」であったため、公認取得の時点では問題はなかった。

施設の「可動式支点装置」の動作を確認したところ、「①飛板は可動式支点装置を移動することにより、競技者自身が容易に調節することができるものでなければならない。」とあるところ、競技者自身が容易に調節ができず、修理を行った後も「容易に調節」には至らなかった。

この「可動式支点装置」は、修理にあたり、既に部品の供給はできないとの報告を受けている。製作したメーカーが正規部品によって修理できないものは、「②飛板の可動式支点は本連盟が検定したものでなければならない。」に抵触し、新規の「本連盟が検定したものに」変更がなされない場合、インターハイ等公式大会を行うことは認められないと判断した。また、「②可動式支点は飛板と同一メーカーの製品を設置すること。」とあるため、現行で変更する場合はデュラフレックス製のみが対象となる。

#### 2. 日本水泳連盟ホームページの「スタートの段階指導」について

日本水泳連盟ホームページの「スタートの段階指導」において、撮影しているプールの水深は確保されているか？

(回答) 「スタートの段階指導」で撮影したプールは水深 1.1m で、1.35m の水深は確保されていない。第 20 条 (スタート台と水深の関係) 「端壁前方 6.0m までの水深が 1.35m 未満であるときはスタート台を設置してはならない。」の部分についての質問かと思われるが、このスタート台の定義は、第 38 条 (スタート台の寸法) 「スタート台の要目は次の通りとする。1. スタート台の高さ (K) 0.50m 以上 0.75m 以下」となる。撮影を行ったプールのスタート台は 0.30m で、本連盟の「プール水深とスタート台の高さに関するガイドライン」に示す、

全国の既存プールには水深 1.0～1.2m 程度の施設がかなり多いという状況の中で、競技会なりトレーニングを実施していかざるを得ないという現実的問題点を認識した上で、このガイドラインにより、重篤な飛び込み事故の防止を図ると共に、より安全でより合理的な水泳の普及・振興に結びつけようというものである。

に基づき、

水深スタート台の高さ (水面上)
1.00～1.10m 未満 0.25m ±0.05m
1.10～1.20m 未満 0.30m ±0.05m
1.20～1.35m 未満 0.35m ±0.05m

に合致する施設のものである。

### 3. 北海道水泳連盟と日本水泳連盟の役員任期のずれについて

北海道水泳連盟の役員任期は西暦偶数年であり、日本水泳連盟の役員任期は西暦奇数年である。そのため、このままでは今後もずれが生じることとなる。任期がずれないように、日本水泳連盟にあわせる必要があるか。

(回答) できることなら、あわせていただきたい。しかしながら、例えば東京都水泳協会もずれているが、これは東京都スポーツ協会の役員任期が西暦偶数年のためである。それぞれの事情があるかと思うが、水泳界としては、日本水泳連盟にあわせていただきたいと考えている。

### 4. 学校水泳に関する日本水泳連盟の取組状況について

民間委託が進む学校水泳に関する日本水泳連盟の現時点での取組状況を教えて欲しい。

(回答) スポーツ庁が全国の学校に対して実施しているアンケート調査の項目に、水泳授業の民間委託の状況調査を入れてもらうなど、全国の学校水泳の実態調査をスポーツ庁と協働して展開している。また、日本水泳連盟と日本スイミングクラブ協会の有志による特別委員会を立ち上げ、水泳授業の民間委託に際しての一定の質的担保を目的としたガイドラインの策定を進めている。

## **北信越ブロック会議(2022.11.3)福井**

### 1. 学校水泳に関するガイドラインについて

学校水泳に関するガイドラインを策定することだが、具体的にいつ頃、公開予定なのか。

(回答) 本年度内に取りまとめ、公開に資する内容であれば「Ver.1」として公開したいと考えている。また、その後も検討・協議を重ね、「Ver.2」、「Ver.3」と、継続的に内容の充実を図っていきたい。一方で、本連盟が公開するガイドラインは、「セカンドロウ」的な意味合いを持ち、裁判判決の判断材料となるケースがある。そのため、慎重に内容の検討を進める必要があることから、本年度内の進捗状況次第では、公開に至らない場合もあると考えている。

### 2. 来年度の全国中学校水泳競技大会について

来年度の全国中学校水泳競技大会(全中)から、SCによる参加が認められるなど、大きな改革があると聞いている。県予選のあり方にも関わるため、できるだけ早く正確な情報を知りたい。現時点で何か情報はないか。

(回答) 他の加盟団体からも同様の声が寄せられている。現在中体連に問い合わせをしているが、未だに明確な回答がない。県予選の準備など、事情は十分理解している。中体連から回答があり次第、周知するのでお待ちいただきたい。

### 3. ジュニア層の取り込みについて

県下のジュニアの大会をみると、コロナ前は300~350名規模の参加があったが、本年度は200名程度まで減少してしまった。日本水泳連盟のジュニアの大会(JOや全中)の参加者確保の施策について伺いたい。

(回答) JOを通信大会で実施するなど、コロナ禍の状況下においても、将来を担うジュニア選手の大会については相応の施策を講じてきた。都市部ではSCの会員数も復調傾向にあると聞いている。早期に有観客での競技会実施を実現するなどして、ジュニア選手の意欲向上を喚起してまいりたい。また、浜松市では市内の小学5年生の児童が遠泳を行うことになっており、水泳が非常に盛んである。このように、行政と連携した「水泳を止めないような施策」の検討も必要と考える。

(石川県より) 金沢市で今年初めて300名規模の泳力検定を実施したところ、大好評であった。「記録突破」という目標を持たせることが、児童の意欲向上に繋がることを改めて実感した。

#### 4. 愛好者の取り込みについて

県下のマスターズ大会においても、コロナ前は 500 名規模の参加があったが、本年度は 200 名程度に減少してしまった。日本水泳連盟の愛好者の取り込みについての施策を伺いたい。  
(回答) 「水泳の日」を今年は高知県で開催したが、非常に好評であった。現在全国で展開中の「水泳の日」を通じて多くの方々に水泳の魅力を伝え、水泳愛好者人口の拡大を図りたい。また、現代は SNS で容易に愛好者にリーチできる環境が整っている。トップ選手と愛好者が繋がる施策を講じるなどして、アクアティックファミリーの拡大を図りたい。

#### 5. 「命に関わるスポーツ」としての PR・発信について

鈴木会長の「水泳は命に関わるスポーツである」とのコメントに感銘を受けた。このフレーズをもっと積極的に発信したらいいのではないか。また、新潟でも 2 校が遠泳を実施している。  
(坂元副会長専務より) 鹿児島県でも錦江湾で遠泳を実施している小学校がある。

#### 6. 地域内温水プール拠点化構想について

越前市の市民プールが PFI 事業で完成し、その指定管理を請け負ったことから、現在、市内 6 校の小学校 (全 17 校) の水泳授業を同プールで受託している。来年度は 11 校に増える予定で、ゆくゆくは市内全校の受託を目指している。こうすることで、市内の小学校での水泳授業がなくならないようにしている。是非「地域内温水プール拠点化構想」を、より強く推進していただきたい。

(回答) 同構想は鈴木会長が以前から提唱しているものである。実際に動きだすまで時間を要するが、引き続き、各方面への働きかけを継続してまいりたい。

#### 7. ガバナンスコード対応に関する日本水泳連盟の覚悟について

規模を縮減しての女性理事割合の確保、(最高決定機関である評議員会は) 規模を維持しての女性評議員割合の確保、女性理事・女性評議員の推薦・選出手順など、これしかない対応案と考える。長野県も同様の対応をやらざるを得ないと考えている。そこで改めて確認したい。日本水泳連盟は覚悟をもってガバナンスコード対応を実行するというのでいいか。

(回答) ガバナンスコードは鈴木会長がスポーツ庁初代長官時に策定したものである。日本水泳連盟は率先して、同コードを厳格に遵守・遂行する覚悟である。

### **九州ブロック会議(2022.11.12)福岡**

#### 1. スターティングブロックやバックストロークレッジの導入について

県に対して毎年この件について要望をあげている。0.01 秒を競う競技において、この状況は早急に改善したいのだが、費用対効果などにより、取り合ってもらえない状況が続いている。特に、全国中学の出場権獲得は県内予選の 1 回限りであり、この不利な状況はいかんともしがたい。

(回答) 知事、所轄部署宛に、鈴木会長名で文書を出すことが有効と考える。文案等について、ご相談に応じたい。

#### 2. 国民体育大会水球競技について

少年の参加枠に競泳同様に中学 3 年生を加えることはできないのか。競泳同様でないのは、理解できない。

(回答) 高校生に限られている現状を改善すべきという認識である。2024 年度の佐賀国スポからの変更を目指して、現在協議中である。水球競技の普及発展を考えると、水球女子と同様に、年代の区分けなく出場できることが望ましいと考えている。

3. 県内 50m プールの新設について

2034年の国民スポーツ大会に沖縄県が手を挙げている。沖縄県に室内 50m プールを建設するラストチャンスと考えている。その際には絶大な支援をお願いしたい。

(回答) 知事、所轄部署宛に、鈴木会長名で文書を出すことが有効と考える。ご相談に応じたい。(鈴木会長より) ラグビーなどは、リハビリ用のプールがあることがキャンプ地の条件となっている。「プールは水泳のためだけではない」という論法で行政に働きかけることも必要ではないか。

4. 中央競技団体向けガバナンスコード「原則 2」の県競技団体への影響について

女性理事割合 40%など、現在、中央競技団体に求められている内容が、将来、県競技団体にも求められる可能性はあるのか。

(回答) 県競技団体に適用される「ガバナンスコード(一般スポーツ団体向け)」の原則 6において、「高いレベルのガバナンスの確保が求められると自ら判断する場合、ガバナンスコード<NF 向け>の個別の規定についても、その遵守状況について自己説明及び公表を行うべきである」とされている。このことから、将来、中央競技団体向けと同等の対応が求められることは十分あり得ると考える。

5. 中央競技団体向けガバナンスコード「原則 2」の評議員の選定について

「評議員の在任期間の上限を 1 期 4 年とする」、「評議員の就任時の年齢の上限を 70 歳未満とする」などは、高齢化が進む地方の加盟団体にとっては大変厳しい内容である。遵守しなければならないのか。

(回答) スポーツ団体ガバナンスコードは鈴木会長が初代長官として在任中にスポーツ庁で策定されたものである。初代長官を輩出した競技団体として、ガバナンスコードに例外なく遵守する姿勢を示すべきと考えている。諸々厳しい状況であることは承知しているが、事情ご賢察を賜りたい。

6. 来年度の全国中学校水泳競技大会について

来年度の全国中学校水泳競技大会(全中)から、SCによる参加が認められるなど、大きな改革があると聞いている。県予選のあり方にも関わるため、できるだけ早く正確な情報を知りたい。現時点で何か情報はないか。

(回答) 本件につき、今月末に本連盟と中体連で会議を持つことになっている。会議後、できるだけ速やかに情報を周知するのでお待ちいただきたい。

7. 「水泳三団体総合補償制度」について

県水連に登録していない SC から、当該補償制度に加入したいとの問い合わせを受けた。県水連に加盟していない SC でも、加入することは可能か。

(回答) 三団体(水泳連盟・スイミングクラブ協会・マスターズ水泳協会)のいずれかに加入していなければ、加入することはできない。

8. ブロック合宿の助成 150 万円について

ブロック合宿について、コロナ禍の影響から、今年も 40 万円ほどの赤字を計上した。助成の増額を検討願えないか。

(回答) 当該助成は、ジュニア育成の名目で、東京海上日動火災保険株式会社様からのご支援が原資となっている。200 万円程度に増額できないか検討する

9. コーチ規程の改定について

コーチ規程の改定により、年齢による免除申請が 60 歳以上から 65 歳以上となり、これまでの研修会費(無料)免除もなくなった。その理由を聞かせてもらいたい。

(回答) 社会情勢の変化(公的年金受給年齢の変更:60歳→65歳)や、60歳以上の方々にこれからは益々ご活躍いただきたいとの願望から、改定させていただいた。ご理解いただきたい。

10. 基礎水泳指導員養成講習会のあり方について

基礎水泳指導員を増やそうと養成講習会を毎年開催しているが、諸般の事情で参加できない受講者に対する対応が、あまりにも厳格すぎるように感じる。事情によってはレポート提出や補講の受講を認めるなどして、指導員を増やそうとする努力が必要なのではないか。

(回答) 基礎水泳指導員の減少傾向が顕著な現況下、四角四面な対応は望ましいことではない。柔軟に対応できないか、検討させていただく。

11. 来年度の標準記録について

これまで毎年の地域会議では、「来年度の各大会の標準記録」に関する資料があったが、今年はない。来年度の標準記録について情報を教えて欲しい。

(回答) 諸般の事情で、会議資料が間にあわなかった。例年どおり、全国の先生方にご覧いただき、その上で本連盟のHPで公開する予定である。資料の準備が整い次第、PDFを送付させていただくのでご確認いただきたい。本年度の地域会議は来年1月15日の中国ブロックで終了する。来年1月下旬にはHPで公開したいと考えている。

12. 役員候補者選考委員会の構成について

役員候補者選考委員会の構成に「事務局職員1名」とあるが、これは事務局長をさすのか。

(回答) そう考えていただいて構わない。現状の組織運営に精通している者が、同委員会の構成メンバーに加わることが望ましいと考えている。

**東海ブロック会議(2022.11.19)静岡**

1. ガバナンスコード実施後の進め方について

ガバナンスコード実施後の進め方はどのようにしたらよいか。

(回答) 本連盟は、来年6月の役員・評議員改選後も、ガバナンスコード<中央競技団体向け>の遵守を徹底する方針である。加盟団体におかれては、ガバナンスコード<一般スポーツ団体向け>に即した対応が求められる。毎年10月に本連盟HPに公開する「適合性審査・自己説明」を、事業推進ならびに組織運営の参考にしていただくのも一手かと思われる。

2. 今後の地域会議について

今後の地域会議は、従来どおりの旧ブロック制にて進めていくのか。

(回答) 次年度以降も、従来どおりのブロック単位にて地域会議を開催する予定である。

3. ミニ国体の水球ブロック大会の負担金について

ミニ国体の水球ブロック大会の日水連からの負担金はいつから出るようになったのか。金額の査定はどのようにして出しているのか。

(回答) 日本体育協会(当時)から平成26年6月4日付けで発表された「国民体育大会における2020年オリンピック対策実行計画」の「(4)正式競技(種目・種別)実施時の経費等

1) 競技会経費等について

競技会(ブロック大会含む)実施に伴う経費等については、国、日体協及び中央競技団体において協議・検討し、開催県及び会場地市町村に負担の生じないよう対応する。」との計画に基づき、女子水球の正式化に伴い、女子水球のブロック予選に対し助成金を設けることとし、金額については、実施計画のアンケート調査を行い、2019年3月20日・21日の両日、地域水球代表者・主管団体水球委員長とヒアリングを行い、以下のとおりの額とすることとした。

2019年度国体女子水球ブロック予選助成金については、次のとおり、ブロック大会開催地の

本連盟加盟団体（都道府県水連）に交付する。

東 北ブロック	30 万円
関 東ブロック	40 万円
北信越ブロック	30 万円
東 海ブロック	30 万円
近 畿ブロック	40 万円
中 国ブロック	30 万円
四 国ブロック	3 万円
九 州ブロック	40 万円
助成金合計	243 万円

通知については、2019 年度茨城国体に向け、事務局より以下の通知を行い、以後毎年継続を予定したが、2 大会連続の中止により、本年度の栃木国体から再開した。

●2019 年度 国体ブロック大会・水球に係る補助金申請について

○下記書類を本連盟事務局まで郵送にて提出する。

【提出書類：締め切り 7/8（月）】

- ・国体ブロック大会・水球の要項（様式任意）
- ・補助金申請書（添付様式）

※申請書は加盟団体印の押印必須、および加盟団体の口座を記載のこと。

送付先

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町 4 番 2 号  
JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 8 階  
公益財団法人 日本水泳連盟 事務局 前田 宛て

○締め切り後、書類到着確認後、7/15（月）目安で、指定口座に送金する。

（愛知県より）改めて確認するが、ミニ国体の水球ブロック大会の日水連からの負担金について、いつ発信したのか。また、日水連からの負担金は今後も継続するのか。

（回答）文書は、女子水球が国体正式種目となった茨城国体にあわせ発信された。助成金は、日本スポーツ協会の方針に変更がない限り、継続する予定である

4. 水球 JO チャレンジブロック大会の負担金について

水球 JO チャレンジブロック大会の負担金で、参加チーム 1 チームに対し一万円出ているようだが、ミニ国体同様、文書での通知がなされたのか。

（回答）JO の予選会については、競泳競技を含め、全競技とも各ブロック 10 万円の補助金としていたが、過去の地域会議の際、「室内プールの使用により、会場費がかさむため増額を要望」との申し出があり、基本を 10 万円、11 チーム以上は出場 1 チームにつき 1 万円に変更した。各加盟団体に通知はしておらず、水球のブロック代表者担当者に通知した。現在では、ブロック予選担当者および予選担当者にブロック予選参加チーム数を確認し、チーム数に応じた補助金を、事務局に連絡→送金としている（関東ブロックは代表者が不在のため、予選会担当者に連絡）。

5. 2026 年アジア競技大会における(一社)愛知水泳連盟の関わり方について

アジア競技大会に関して(一社)愛知水泳連盟の関わり方を教えてもらいたい。

（回答）競技役員の派遣を主とした協力をお願いすることになると考える。

6. 全中が短水路大会になった経緯について

全中が短水路開催になった経緯と日水連としての見解について伺いたい。

(回答) 3月16日に発生した福島県沖地震の被害により、セントラルスポーツ宮城 G21 プールの天井が崩落し、改修工事に時間を要することから、同施設メインプールでの大会開催が不可能となった。県内、東北ブロック内、さらにはブロック外の他都県での代替開催を模索したが、いずれも条件面で折り合いがつかず、一時期は中止もやむなしという状況になった。しかしながら、全国大会への参加を目指して日々努力してきた生徒の気持ちを考えると、形を変えてでも実施できないかと本連盟・日本中体連・宮城県実行委員会で検討を重ね、6月10日の合同会議にて、競泳競技については同施設のサブプール(短水路)で大会を開催する旨を決定した。飛込競技については、6月23日に岩手県・盛岡市立総合プールでの開催内諾連絡を受け、開催に至った。

## 7. 栃木国体 OWS の中止について

栃木国体 OWS が中止になった経緯と日水連としての見解を伺いたい。

(回答) 第77回国民体育大会水泳競技 OWS においては、競技会場の水質悪化による中止となった。全国から訪れた選手・監督はもちろんのこと、準備に当たってご尽力いただいた各都道府県水泳連盟(水泳協会)をはじめ、関係各団体の皆さまに対し、大変なご迷惑をおかけする結果となった。中止に至る経緯については下記のとおりである。

- 7月2・3日：リハーサル大会を開催。水温の上昇と午後の天候悪化を考慮し、開始時間を早めての実施となった。この時点では、水質の悪化は認められなかった。
- 8月中旬：市貝町実行委員会(以下、市貝町)が、競技会場の水位低下およびアオコの発生を確認した。このため、水位回復に向けた給水ができるよう、町は県に国との調整を要請した。
- 8月30日：競技会場の水質検査を実施し、CODが25mg/lと、水浴基準の8mg/lを大きく上回る結果であった。(本結果は9月7日に市貝町から県水連直井 OWS 委員長に報告)。
- 8月31日：競技会場への給水を開始した。
- 9月上旬：給水により水質の改善およびアオコの繁殖の抑制が見られたが、水浴基準には至らなかった。
- 9月6日：栃木県水泳連盟から、本連盟に上記内容の報告が届いた。
- 9月7日：本連盟から、市貝町にアオコの状況報告と毒性の問題について回答を求めた。
- 9月8日：市貝町が、毒性の有無を検査機関に依頼した(結果は翌日15:00までには判明予定)。合わせて、今後の対応について主催者間で協議を開始。競技会場の現状を確認し、JSPO・本連盟・市貝町・県水連の4者にて、9日のスケジュール変更をすることになった。また、アオコの有毒性が確認された場合とCODが8mg/l以下にならない場合は中止する旨を4者で確認。
- 9月9日：前日から給水を継続したが、水質の改善が見られないため、市貝町入野町長と競技会場をポートで一周して状況を確認した。その後、JSPO・本連盟・市貝町・栃木県・県水連の5者協議を行い、アオコの状況と水質の検査結果がCOD値8mg/l以下にならなかったことから、選手の安全確保のため、主催者間の協議により、満場一致で競技会場の中止を決定した。監督者会議において、本連盟競技委員長(水泳競技役員長)が中止の決定とその理由を説明した。また、町長が挨拶し状況説明と謝罪をした。  
中止に伴い、全県得点は0点となった。

監督者会議以降の対応として、9月9日17:00~19:00の2時間、AS会場として準備していた日環アリーナ栃木屋内水泳場(宇都宮市)を選手の練習会場とした。また、本連盟では、救済措置として、10月14~16日の日本選手権追加受付を決定し、9月22日までエントリーを受け付けることとした。

中止に至った大きな原因として、市貝町の担当者が、アオコの発生が大会開催に支障が出るとの認識が薄かった点が挙げられる。また、県水連は、現地視察の際にアオコの発生につい



て対策を講じるよう町に要請していたが、市貝町では前任者と後任者の引き継ぎが行われていなかったことも要因のひとつであるように思える。

OWS という持久的能力が求められる競技において、大会に向け心身ともに厳しい練習を重ねてきた選手・監督、さらに OWS 選手のリクルーティングにご尽力いただいた各加盟団体の方々のことを思うと、中止という結果に至った事実は断腸の思いである。男子 42 人、女子 42 人の計 84 人の選手が出場予定であり、なかには今年の国体で引退することを決めていた選手もいた。

このようなことは二度とあってはならず、今後本連盟が主催として行う OWS 大会においては、関係機関と連絡を徹底し、再発防止に努める所存である。

(愛知県より) 栃木国体の OWS の中止について、費用の返金を求めたい。

(回答) 監督者会議の会場にて同様の質問が出された際に、市貝町より「返金すべき内容であれば対応する」との回答があった。要望は市貝町に申し出ていただきたい。

(坂元副会長兼専務理事より) 他県からも同様の声があがっているのので、本連盟と日本スポーツ協会とで、市貝町に返金を要請することも検討したい。

#### 8. 学校体育必修科目としての水泳について

学校体育必修科目としての水泳を固守することについて、日水連の見解を確認したい。

(回答) すべての児童に等しく水泳学習の機会を与える学校水泳授業は、学童期の発育発達・健康増進、水難事故防止の観点から社会的にも重要な役割を果たしている。また、今日の「水泳ニッポン」の頂点を支える広い水泳参加者層の形成に果たしてきた学校水泳授業の役割は大きく、「国民皆泳」を掲げる日本水泳連盟として水泳授業存続に向けた関係機関への働きかけは急務である。近年、教員採用試験における水泳実技廃止、公立小中学校の屋外プール施設老朽化とコスト負担、真夏の熱中症リスク等に端を発し、学校施設内での水泳授業継続が困難になっており、民間スイミングクラブへの委託による学校水泳授業の試行事例が進んでいる。この現状を踏まえ、日本水泳連盟では本年 4 月から「学校水泳授業特別委員会」を設置し、水泳授業の重要性について教育行政機関の再認識を促すべく「提言書」の策定、および民間委託による学校水泳授業実施にあたっての「ガイドライン」の策定にあたっている。本来、学校水泳授業は学校の責任において実施されるべき必須科目であるが、前述の課題に直面し水泳授業衰退も危ぶまれる中で、民間連携による水泳授業実施は発展的な継続のために必要な選択肢の一つであり、止められない動きであることも認識している。このことから、民間連携に際しての水泳学習の質の担保、持続可能な契約形態の在り方を示すガイドラインを策定することで、一定の基準を保ち「学校体育必修科目としての水泳」を固守していく考えである。

#### 9. 東海ブロック合宿について

ナショナル選手の扱いを今後どうしていくのか。それに伴い、シンガポール遠征の選考基準も変わってくるのではないかと考える。

(回答) 昨年度よりナショナル選手も全国ブロック合宿に入れてもらうようお願いし、本年もその方向で動いている。それに伴い、シンガポール遠征もナショナル選手を対象にさせていただく旨、昨年度・今年度の全国ブロック合宿会議および昨年度の合宿視察の際に説明を実施している。

注) 「22. ブロック合宿・ブロック遠征のあり方について (全体討議)」も参照のこと。

#### 10. 水球全国大会の組み合わせの発表について

水球全国大会の申込み後に、何の連絡もなく組み合わせが水泳連盟 HP に掲載されている。組み合わせ抽選の日程の後に HP を見ても掲載されていないことが多いため、掲載したら連

絡をいただきたい。

(回答) 水球含め全競技とも、組合せについての連絡を行う予定はない。HP を活用し、「競技会情報」の「大会名」から、随時確認をお願いしたい。

11. 日本水泳連盟 HP の【NEWS】【お知らせ】について

日本水泳連盟 HP の【NEWS】【お知らせ】に、大会申込み手順情報の更新が掲載されていない場合がある。申込み受付開始が遅くなってしまう場合もあるため、【お知らせ】の更新をお願いしたい。また、各都道府県に大会手順書の公開・修正した旨の連絡を、メールなどでもらえると有難い。

(回答) 【NEWS】 および 【お知らせ】 への掲載は補助的なものと考えている。「申込手順」については、「競技会情報」の「大会名」をクリックし、随時確認をお願いしたい。

12. 全日本ユース (U15) 水球競技選手権大会について

日水連の競技会要項が、各ブロックに何も連絡がなく変更されていた。説明いただきたい。東海ブロックはすでに予選会が終了しており、1,2 位の県が本大会に出場できると思っていた。

(回答) 9 月 19 日に、岡山県水泳連盟桃太郎カップ担当・藤原勝馬氏より、各ブロック担当者に以下のとおり事前に連絡した。

北海道・東北ブロック	佐藤國寛 氏
関東ブロック	木下晃次 氏
北信越ブロック	榎本 隆 氏
東海ブロック	若林和人 氏
近畿ブロック	藤井 透 氏、橋本寛一 氏
九州ブロック	梶原洋祐 氏
四国ブロック	徳田 豪 氏

各位

お世話になります。

15 回桃太郎カップ地区予選会の日程をお知らせください。

お手数ですが、よろしく願いいたします。

15 回桃太郎カップ本選ですが、昨年同様縮小大会での協議に入っています。

最終結果は、皆様にご連絡します

ご迷惑を掛けるブロックもあると思いますがお許しください。

岡山県水泳連盟

桃太郎カップ担当 藤原勝馬

また、10 月 28 日に、事務局宛に愛知水泳連盟経由で同様の問合せメールがあり、以下のとおり回答した。

○今期は、正規な通常形式での開催をベースに準備してまいりましたが、最終的には倉敷市からの強い要請により昨年同様のコロナ禍トーナメント方式に変更して大会を実施することを決定し、この度大会実行委員会からの連絡文章と、変更後の要項を 10 月 24 日付で連盟ホームページにアップした次第です。

また同日、ホームページへアップした事について、実行委員会担当者（開催地岡山県水泳連盟）から各ブロック担当者宛メールにてご連絡を行いました。

尚、これに先立ち 9 月 19 日付で、同様に実行委員会担当者（開催地岡山県水泳連盟）から各

ブロック担当者宛、ブロックでの対処を踏まえて以下につきご連絡を差し上げております。

- (1) 15回桃太郎カップ本選が昨年同様縮小大会で実施する可能性があり、協議に入っている状況である事。
- (2) 最終結果は事後になるが、ご迷惑を掛ける（昨年同様参加チーム減）ブロックもあり、ご理解いただきたい。
- (3) かかる状況下ブロック予選会日程をご教示いただきたい。

コロナ禍におけるイレギュラーな対応で、ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解を賜りたくお願い申し上げます。

しかしながら、「縮小大会」など、その表現が曖昧だったことから、様々な解釈を生むことになったことも事実である。今後は「参加枠を減らす」など、より解りやすい表現にするなどの改善を図ってまいりたい。

### 13. 競泳競技規則 競技役員（競泳）の手引き 2018-4-1 98頁 IX 抗議について

(1) での抗議書提出は抗議料 1 万円添えてとあるが、(2) での抗議については抗議料が規定されていない。なぜ、規定されていないのか、また、抗議料は規定していいのか。また、上訴審判団はどの様なメンバーで編成するのか、教えていただきたい。

#### 【競泳競技規則 競技役員(競泳)手引き抜粋】

#### IX 抗議

- [1] 競技開始前に判明した事項については、出発の合図の前に文書にして審判長に提出しなければならない。
- [2] 違反の内容や状況等について、チームの責任者から問い合わせがあった場合、審判長が理由を説明する。
- [3] 審判長による理由の説明によっても、疑義が解消しない場合、チームの監督または代表者は事象発生後の 30 分以内に抗議内容を文書にして提出しなければならない。

#### (1) 上訴審判団が設置されている大会

「抗議書」(書式⑩)に必要事項を記入の上、抗議料 10,000 円を添えて大会本部または競技本部に提出する。抗議書が提出されたら、上訴審判団は速やかに招集され、裁定に入る。

#### (2) 上訴審判団が設置されていない大会

抗議内容を文書にして、大会総務に提出する。抗議は本連盟または加盟団体が任命した大会総務によって裁定される。

(回答) 各加盟団体主催大会の抗議料については、有償・無償を含め、主催者に委ねることとしており、料金の記載はしていない（上訴審判員が設置されておらず大会総務が裁定に当たった場合や、加盟団体の公認大会などで無償となるケースを考慮）。メンバーについては、競技役員を務めていない方で、競技に精通している方を選出していただきたい。本連盟の主催大会では、本連盟副会長・専務理事・常務理事・競技委員長、開催地理事長で構成し、競泳以外では各委員長と競技に精通している方を加える場合もある。構成人数は基本 5 名としているが、学生の大会では競技委員長・学生委員長・各支部長で構成している（各本連盟主要競技会プログラムを参照いただきたい）。

### 14. ナショナル合宿の日程について

ナショナル合宿の日程を早く決めてほしい。本年は、東海選手権と重なり、エントリー後の開催通知であった。

(回答) 今のところ、来年度は 10 月初旬・中旬に高校生（中間試験の関係でこの時期を予定）、11 月中旬（東スイ招待後）に中学生を予定している。

15. 水球の国体本大会の東海ブロックの割り当てについて

水球の国体本大会の東海ブロックの割り当てが、2年続けて1枠というのはどうなっているのか。レベルの高い地区が1枠で、それが続くのはどういうことなのか。どのように決定されたのか。説明がなく、「決まった」といって降りてきている。今後はどのように枠が振り分けられるのか。日本スポーツ協会が決定しているのならば、日水連からも公平な割り振りになるように伝えてもらいたい。

【参考資料】

2022 栃木国体 1枠 静岡が出場  
2021 三重国体 1枠 岐阜が出場するはずだったが本大会中止  
2020 鹿児島国体 (本来なら1枠) 中止 ブロック予選も中止  
2019 茨城国体 2枠 岐阜、三重が出場  
2018 福井国体 1枠 岐阜が出場  
2017 愛媛国体 2枠 三重、岐阜が出場  
2016 岩手国体 1枠 三重が出場

(回答) 国体出場枠割り振りについては、東海と中国が隔年で1枠と2枠としている。2019年の茨城国体が東海2、中国1であったので、2020年の鹿児島国体は東海1・中国2の枠とする計画であったが、鹿児島国体が中止となったため、その枠が2021年の三重国体に引き継ぐこととしたが、三重国体も中止となったため、2022年の栃木国体に引き継ぎ、東海1・中国2で実施した。従って、来年の鹿児島大会は東海2・中国1に戻る。

16. 栃木国体・成年100m バタフライ競技について

栃木国体の成年100mバタフライ競技が男子・女子の順で行われたが、各県への説明がなかった点について、その理由を聞かせていただきたい。

(回答) 決勝競技直前に、水着のほつれを役員長・鈴木浩二(以下、鈴木)が直接確認した。ほつれの箇所から、「そのままの状態泳ぐべきではない」と判断し、着替えるよう本人に指示を出した。男子の決勝時間に近づいたこと、および全体の競技進行を踏まえ、男女の入れ替えを鈴木が競技本部に指示した。「ほつれの箇所」が主な理由となるため、あえて説明を行うことはしなかった。

17. 国民体育大会の日程短縮について

国民体育大会について、もう少し日程が短縮できないか。

(回答) 各大会ともに最善の計画であり、短縮できる場合もあれば、長期化する場合もある。

18. 競泳A級審判員の有効期限について

現在、競技役員有効期限とA級審判員の有効期限は同一である。他競技は、競技役員資格と審判資格の有効期限は統一されていない様子である(競技役員と審判員の有効期限がそれぞれ4年)。競泳A級審判員も同様にできないか。

(回答) 他競技を含め検討させていただく。

19. 定時評議員会の開催日程について

定時評議員会は当初、6月3週目の日曜日であったが、最近4週目に開催されることがある。加盟団体は日本水泳連盟評議員会の結果を総会で報告する必要があり、本連盟の定時総会は6月中に開催しなければならない(定款に定められている)ため、3週目に確実に開催していただきたい。

(回答) 内閣府より「理事会と協議員会の間隔を2週間空けるよう」指導を受けたことにより、近年、6月第4週の開催が増えている。事前に配布可能な資料があれば「案」を付記するな

どして、早めに会議資料を送付するなど、対策を講じたい。

#### 20. 理事の70歳定年制について

昨今の社会情勢から、70歳はまだまだ引退する年齢ではない。理事の70歳定年の撤廃を再考願いたい。

(回答) スポーツ団体ガバナンスコードが施行された背景は、他のNFにおける「特定の役員による独占的・強権的な組織運営」を背景とした不祥事であった。このことから、ガバナンスコードでは、「淀みのない組織運営」を念頭に、「役員の新陳代謝の促進」が求められている。ご理解を賜りたい。

#### 21. 中央競技団体向けガバナンスコード「原則2」の評議員の選定について

「評議員の在任期間の上限を1期4年とする」、「評議員の就任時の年齢の上限を70歳未満とする」とあるが、評議員は最高決定機関の議決権を有する重責を担う立場である。長年の経験や日水連メンバーとの人間関係などが求められることから、短い期間で交代することが本当に必要なのか。

(回答) スポーツ団体ガバナンスコードは鈴木会長が初代長官として在任中にスポーツ庁で策定されたものである。初代長官を輩出した競技団体として、ガバナンスコードに例外なく遵守する姿勢を示すべきと考えている。諸々厳しい状況であることは承知しているが、事情ご賢察を賜りたい。

#### 22. ブロック合宿・ブロック遠征のあり方について（全体討議）

このほか、ブロック合宿・ブロック遠征のあり方について、今後もナショナル選手の参加を前提とした「あくまでも強化」を目指すのか、それとも各地域の選手強化・動機づけを主目的とした「強化の普及」を目指すのかについて、活発な意見交換が行われた。担当県の財政的負担も大きいことから、最終的に、「本連盟執行部の判断により、できるだけ早期に方向性を定める」ことが確認された。

### **近畿ブロック会議(2022.11.20)和歌山**

#### 1. 日本水泳連盟役員への報酬について

日本水泳連盟役員への報酬は今後検討することはないか。

(回答) 現行の定款第27条第1項にて、「理事及び監事は、無報酬とする。ただし、常勤の理事及び監事に対しては、評議員会において別に定める総額の範囲内で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。」とあるが、来年3月の評議員会にて、常勤・非常勤を問わず、理事に報酬を支払うことができるように定款変更を行う予定である。将来、本連盟の組織運営を担う人材として、理事を有給で登用できるようにするためである。

(大阪府より)「定款を変更して、理事に報酬を支払えるようにする」との日水連の方針に賛同する。現状のような無報酬での激務は非現実的である。

#### 2. 国体におけるADカードの通行区分について

栃木国体の際のADカードの通行区分が厳しかった。府県代表の選手に激励ができない。

せめて競技開始前にはどこでも行けるようにしてほしい。

(回答) コロナ禍の現況下、「選手を守る」ことを最優先に大会運営を行っている。ご理解をいただきたい。今後、社会情勢(コロナ情勢)次第で、緩和できるように努めたい。

#### 3. 栃木国体 OWS の中止について

栃木国体の OWS の中止について、府県費用の返金をお願いしたい。事前にわかっていた話、

ひどい話である。

(回答) 監督者会議の会場にて同様の質問が出された際に、市貝町より「返金すべき内容であれば対応する」との回答があった。まずは、市貝町に要望を申し出ていただきたい。一方で、他の加盟団体からも同様の声があがっているため、本連盟と日本スポーツ協会とで、市貝町に返金を要請することも検討したい。なお、以下が、中止に至った経緯および本連盟の見解である。

- 7月2・3日：リハーサル大会を開催。水温の上昇と午後の天候悪化を考慮し、開始時間を早めての実施となった。この時点では、水質の悪化は認められなかった。
- 8月中旬：市貝町実行委員会（以下、市貝町）が、競技会場の水位低下およびアオコの発生を確認した。このため、水位回復に向けた給水ができるよう、町は県に国との調整を要請した。
- 8月30日：競技会場の水質検査を実施し、CODが25mg/lと、水浴基準の8mg/lを大きく上回る結果であった。（本結果は9月7日に市貝町から県水連直井 OWS 委員長に報告）。
- 8月31日：競技会場への給水を開始した。
- 9月上旬：給水により水質の改善およびアオコの繁殖の抑制が見られたが、水浴基準には至らなかった。
- 9月6日：栃木県水泳連盟から、本連盟に上記内容の報告が届いた。
- 9月7日：本連盟から、市貝町にアオコの状況報告と毒性の問題について回答を求めた。
- 9月8日：市貝町が、毒性の有無を検査機関に依頼した（結果は翌日15:00までには判明予定）。合わせて、今後の対応について主催者間で協議を開始。競技会場の現状を確認し、JSPO・本連盟・市貝町・県水連の4者にて、9日のスケジュール変更をすることになった。また、アオコの有毒性が確認された場合とCODが8mg/l以下にならない場合は中止する旨を4者で確認。
- 9月9日：前日から給水を継続したが、水質の改善が見られないため、市貝町入野町長と競技会場をボートで一周して状況を確認した。その後、JSPO・本連盟・市貝町・栃木県・県水連の5者協議を行い、アオコの状況と水質の検査結果がCOD値8mg/l以下にならなかったことから、選手の安全確保のため、主催者間の協議により、満場一致で競技会場の中止を決定した。監督者会議において、本連盟競技委員長（水泳競技役員長）が中止の決定とその理由を説明した。また、町長が挨拶し状況説明と謝罪をした。中止に伴い、全県得点は0点となった。

監督者会議以降の対応として、9月9日17:00～19:00の2時間、AS会場として準備していた日環アリーナ栃木屋内水泳場（宇都宮市）を選手の練習会場とした。また、本連盟では、救済措置として、10月14～16日の日本選手権追加受付を決定し、9月22日までエントリーを受け付けることとした。

中止に至った大きな原因として、市貝町の担当者が、アオコの発生が大会開催に支障が出るとの認識が薄かった点が挙げられる。また、県水連は、現地視察の際にアオコの発生について対策を講じるよう町に要請していたが、市貝町では前任者と後任者の引き継ぎが行われていなかったことも要因のひとつであるように思える。

OWS という持続的 capability が求められる競技において、大会に向け心身ともに厳しい練習を重ねてきた選手・監督、さらに OWS 選手のリクルーティングにご尽力いただいた各加盟団体の方々のことを思うと、中止という結果に至った事実は断腸の思いである。男子42人、女子42人の計84人の選手が出場予定であり、なかには今年の国体で引退することを決めていた選手もいた。

このようなことは二度とあってはならず、今後本連盟が主催として行う OWS 大会においては、関係機関と連絡を徹底し、再発防止に努める所存である。

#### 4. 次年度の全中について

次年度以降の全中のクラブチーム参加の指針や要項を早く出してほしい。

(回答) 11月25日(金)に、本連盟と中体連水泳競技部との合同会議を開催する。会議後、できるだけ速やかに発表できる基本案をお知らせする。

#### 5. 減少が続く水泳指導者資格保有者への対応について

基礎水泳指導員、コーチ1・2の減少傾向が続いている。取得後のメリットを明確に打ち出す必要があるのではないかと。

(回答) 学校水泳の衰退を防ぐことを目的に、日本スイミングクラブ協会と合同で、「学校水泳特別委員会」を立ち上げた。現在、水泳授業の重要性について教育行政機関の再認識を促すべく「提言書」の策定、および民間委託による学校水泳授業実施にあたっての「ガイドライン」の策定にあっている。ガイドラインの中に、民間連携に際しての水泳学習の質の担保を目的に、基礎水泳指導員、コーチ1・2、水泳教師など、水泳指導者資格を有することの必要性を盛り込むことを協議中である。資格を保有するメリットの1つにしたいと考えている。(鈴木会長より) 有資格者の賃金アップなど、水泳指導者資格のステータスアップも必要と考えている。

#### 6. 学校水泳授業の実状について

小学校の教員採用試験に実技が行われていない。これにより、確実に泳げない教員が増えている。実技が行われている学校でも、期間が夏場に集中しており、6月は梅雨寒のため、7月は熱中症予防の観点から、入水しての授業が行われないこともしばしばある。そのため、近年の気候を鑑みて9~10月での授業実施を提言した。学校水泳授業の衰退を防ぐために、教員採用試験での水泳実技の復活を、是非、国に陳情願いたい。

(回答) 水泳授業の実施は、「水温+気温が50℃以上」が原則とされている。授業の実施時期については、もっと柔軟に対応すべきと考える。

#### 7. マスターズの取扱いについて

今年「ジャパンマスターズ」を大阪で開催したが、要項を見ると、主催が日水連と日本マスターズ水泳協会となっている。各加盟団体とマスターズとの関わりについて、日水連の見解を確認したい。

(回答) マスターズの大会を活用して収益をあげている加盟団体もある。「マスターズ大会で稼ぎ、強化に使用する」という構図である。本連盟として、加盟団体のマスターズ事業に対して制約を課すことはない。

### **東北ブロック会議(2022.11.26)青森**

#### 1. 国体の種目変更について

国体の種目変更が行われると聞いている。どのような変更になるかを教えてもらいたい。

(回答) 2024年佐賀国スポからの変更を念頭にした準備状況について、以下のとおり、回答させていただきます。

競泳・飛込については、現状の予備エントリー後の人数調整。水球・ASについては、ブロック枠で調整(隔年枠を含む)。OWSについては、日本選手権・オーシャンズカップ5km・10kmの上位8名、その他を男子1500m・女子800mの長水路公式記録で選出するという素案でOWS委員会と調整中。その他、人数・チーム数については、2019年3月の評議員会でお伝えした「国民体育大会第3期実施計画」のとおりである。

## 2. 来年度からの全中への対応について

どうしてこんなに早急に物事を進めなければならないのか、せめて、事前調査や試行を経た上で変更を実施すべきではないか。旅費を含めた参加料をどのようにすればいいのか。バレーボールはクラブ単位の参加は認めない、との話を聞いている。競技によりバラつきがあるのも如何なものか。

(回答) 来年度からの全中の変革については事前に本連盟に連絡もなく、一方的に日本中体連から発表されたものである。そのため、11月25日に本連盟と日本中体連水泳専門部との合同会議が開催された。追って書面で周知されると思うが、以下がその議事要旨である。

### 【地域スポーツ団体の全国中学への参加について】

- 1) (公財)日本水泳連盟および都道府県中学校体育連盟への登録が完了している地域スポーツ団体であること。
- 2) 地域スポーツ団体の登録都道府県から参加すること。  
※都道府県をまたぐ生徒であっても団体登録の都道府県からの参加になる。  
例) SCは東京、居住・中学校所在地は埼玉→東京から参加。
- 3) 地域スポーツ団体と学校、双方からのエントリーはできない。  
※予選会(群市大会を含む)締め切り日から本大会終了まで、参加団体の変更はできない。

### 【問題点】

東北ブロック・中国ブロックの中体連組織の中で、全競技とも「地域スポーツ団体からの参加であっても県外生徒の参加を認めない」といった方向性が提示されているとのこと。

これは、「政府・中体連の指針とは全く関係のない方向性を示しているものである」と判断し、本連盟および日本中体連水泳専門部としては、前記2)「地域スポーツ団体の登録都道府県から参加すること。」を要項に掲載し、水泳競技の定めとすることに至った。

### 【今後の進め方について】

- 1) 要項作成は次年度開催の「香川県」になるため、早急に要項を作成し、(案)として、各加盟団体に連絡。
- 2) 各加盟団体から「こんなこと」「あんなこと」、多数の質問が発生すると思われるため、Q&Aとしてその内容を公開。
- 3) Q&Aから、加筆訂正の必要があれば(案2)として、各加盟団体に連絡。

### 【その他】

これを期に「学校対抗」を廃止する。

(岩手県より) 中体連として、部活動をなくしたい意向があるようだ。ゆくゆく、どうせ部活動がなくなるのだから、少しでも早く、全中の変革を進めたいとの思惑があるように感じる。

## 3. 指導者資格のあり方について

命を守るスポーツ・水泳として、安全面を重視した「普及」の指導者の養成は必須と考える。現行の「コーチ1・2・3・4」は、強化と普及が一緒くたになっている。「コーチ1・2・3・4」ではなく、「強化」と「普及」で分けるべきではないか。

(回答) 現行の「コーチ1・2・3・4」では、あたかもコーチ3・4が上位で、コーチ1・2が下位であるかのように見える面もある。実際は、「強化」と「普及」のそれぞれの目的に応じた指導者資格であることから、今後、それぞれの目的を明確にするようなサブタイトルの付記を検討していきたい。



#### 4. 中学生の無償登録制度について

中学生の無償登録制度は、今後も継続するのか。

(回答) 将来的には有償化したいと考えているが、現状、全中において様々な変革を控えているため、当面は無償登録制度を継続せざるを得ないと考えている。

#### 5. ガバナンスコード「原則 2」の対応について

理事の選出について、「各地区から男女各 1 名を推挙し、最終的に日水連の役員候補者選考委員会がどちらか 1 名を選出する」とあるが、となると、必ずどちらか 1 名は落選することになる。落選者への説明責任を考慮すると、何らかの選考基準が示されないままで、男女各 1 名を選出することは難しい。

(回答) ご指摘のとおりである。可能な範囲で選考事由・ルール・基準を明らかにできるように、検討してまいりたい。

#### 6. 栃木国体 OWS の中止について

栃木国体 OWS 中止は、本来あってはならないことと考える。ましてや、前日の監督者会議での発表など、選手・指導者を含め、関係者一同、なかなか理解しがたい面がある。

(回答) ご指摘のとおりである。はじめに費用面についてであるが、監督者会議の会場にて同様の質問が出された際に、市貝町より「返金すべき内容であれば対応する」との回答があった。まずは、市貝町に要望を申し出ていただきたい。一方で、他のブロックからも同様の声があがっていることから、本連盟と日本スポーツ協会とで、市貝町に返金を要請することも検討したいと考えている。

次に、以下が、中止に至った経緯および本連盟の見解である。

- 7月 2・3 日：リハーサル大会を開催。水温の上昇と午後の天候悪化を考慮し、開始時間を早めての実施となった。この時点では、水質の悪化は認められなかった。
- 8月中旬：市貝町実行委員会（以下、市貝町）が、競技会場の水位低下およびアオコの発生を確認した。このため、水位回復に向けた給水ができるよう、町は県に国との調整を要請した。
- 8月 30 日：競技会場の水質検査を実施し、COD が 25mg/l と、水浴基準の 8mg/l を大きく上回る結果であった。（本結果は 9 月 7 日に市貝町から県水連直井 OWS 委員長に報告）。
- 8月 31 日：競技会場への給水を開始した。
- 9 月上旬：給水により水質の改善およびアオコの繁殖の抑制が見られたが、水浴基準には至らなかった。
- 9月 6 日：栃木県水泳連盟から、本連盟に上記内容の報告が届いた。
- 9月 7 日：本連盟から、市貝町にアオコの状況報告と毒性の問題について回答を求めた。
- 9月 8 日：市貝町が、毒性の有無を検査機関に依頼した（結果は翌日 15:00 までには判明予定）。合わせて、今後の対応について主催者間で協議を開始。競技会場の現状を確認し、JSPO・本連盟・市貝町・県水連の 4 者にて、9 日のスケジュール変更をすることになった。また、アオコの有毒性が確認された場合と COD が 8mg/l 以下にならない場合は中止する旨を 4 者で確認。
- 9月 9 日：前日から給水を継続したが、水質の改善が見られないため、市貝町入野町長と競技会場をボートで一周して状況を確認した。その後、JSPO・本連盟・市貝町・栃木県・県水連の 5 者協議を行い、アオコの状況と水質の検査結果が COD 値 8mg/l 以下にならなかったことから、選手の安全確保のため、主催者間の協議により、満場一致で競技会の中止を決定した。監督者会議において、本連盟競技委員長（水泳競技役員長）が中止の決定とその理由を説明した。また、町長が挨拶し状況説明と謝罪をした。中止に伴い、全県得点は 0 点となった。

監督者会議以降の対応として、9月 9日 17:00~19:00 の 2 時間、AS 会場として準備していた日環アリーナ栃木屋内水泳場（宇都宮市）を選手の練習会場とした。また、本連盟では、救済措

置として、10月14～16日の日本選手権追加受付を決定し、9月22日までエントリーを受け付けることとした。

中止に至った大きな原因として、市貝町の担当者が、アオコの発生が大会開催に支障が出るとの認識が薄かった点が挙げられる。また、県水連は、現地視察の際にアオコの発生について対策を講じるよう町に要請していたが、市貝町では前任者と後任者の引き継ぎが行われていなかったことも要因のひとつであるように思える。

OWS という持久的能力が求められる競技において、大会に向け心身ともに厳しい練習を重ねてきた選手・監督、さらに OWS 選手のリクルーティングにご尽力いただいた各加盟団体の方々のことを思うと、中止という結果に至った事実は断腸の思いである。男子42人、女子42人の計84人の選手が出場予定であり、なかには今年の国体で引退することを決めていた選手もいた。このようなことは二度とあってはならず、今後本連盟が主催として行う OWS 大会においては、関係機関と連絡を徹底し、再発防止に努める所存である。

### **関東ブロック会議(2022.11.27)栃木**

#### 1. 夏季、春季 JO の申込日について

夏季、春季 JO の申込日を固定していただきたい（県内の JO 最終予選会の日程を決めるため）。

(回答) 固定することになれば、夏は8月1日・春は3月1日となり、選手が標準記録を突破するチャンスが減る可能性がある。基本、夏は7月末の土日、春は2月末の土日を都道府県の最終予選会と判断しているが、夏8月・春3月の土日が月始めで、プログラムの編成上可能であれば、夏の8月頭・春の3月頭の大会までを標準記録突破ができるよう考慮している。ご理解をいただきたい。

#### 2. ブロック合宿の予算について

年末のブロック合宿を主催する県が必ず赤字になってしまうので、予算を増やせないか検討してほしい。

(回答) 現在来年度の予算を作成中だが、パリオリンピックに向けた国際競技会強化の観点から、来年度は世界選手権大会（福岡）、延期になったワールドユニバーシティゲームズやアジア大会、東アジアユース大会（開催追加の可能性）、世界ジュニア選手権（開催の可能性）、世界選手権大会（ドーハ）など、派遣する国際競技会が目白押しの異例の年となる。そのため、ブロック合宿の予算増は難しい状況であることを先ずはご理解願いたい。その上で、他ブロックからも同様の声があがっていることを考慮し、増額できないかを検討したい。

#### 3. 2024年国スポの進捗状況について

2024年国スポの進捗状況を教えてほしい。OWS：人数枠、水球：男子、競泳：種目など。

(回答) 競泳・飛込については、現状の予備エントリー後の人数調整。水球・ASについては、ブロック枠で調整（隔年枠を含む）。OWSについては、日本選手権・オーシャンズカップ5km・10kmの上位8名、その他を男子1500m・女子800mの長水路公式記録で選出するという素案でOWS委員会と調整中である。その他、人数・チーム数については、2019年3月の評議員会でお伝えした「国民体育大会第3期実施計画」とおりである。

#### 4. 第3期国スポにおける関東の水球枠について

佐賀から実施の第3期国スポにおける関東の水球枠について教えていただきたい。

(回答) 男子16チームを12チームに、女子12チームを10チームに縮小するにあたり、その地域の割り当てについては、現在、本連盟・水球委員会で検討中である。

## 5. 国体・水球男子のオーバーエイジ枠について

一時期、国体・水球男子において「2名のオーバーエイジ枠」の導入に向けた議論があった。現在の状況を教えて欲しい。

(回答) 2009年当時、国体・水球男子における「2名のオーバーエイジ枠」の導入に向けた議論が行われていたが、複数の県体協から日体協(当時)に反対の声があがり、実現に至らなかった。現在、オーバーエイジ枠ではなく、国体・水球女子と同様に、年齢区分のない形の導入を、2024年佐賀国スポからの実施に向けて協議中である。これは、国体改革が目的ではなく、「水球の国際競技力向上には、社会人リーグのような仕組みの全国展開が欠かせない」との考えに立脚するものである。

## 6. 日水連・水球委員会の対応について

日水連・県水連の双方の水球委員会に所属する委員に対して、県水連に事前連絡のないまま、日水連・水球委員会が役職を付与した。その結果、県の水球委員会に支障が生じた。事前に連絡をもらいたい。

(回答) 本連盟と県水連を兼務する委員について、本連盟の委員会における職務変更など、必要に応じて所属加盟団体へ事前に連絡する旨を、改めて周知させていただく。

## 7. 栃木国体 OWS の中止について

栃木国体 OWS 中止は、本来あってはならないことと考える。ましてや、前日の監督者会議での発表など、選手・指導者を含め、関係者一同、なかなか理解しがたい面がある。

(回答) ご指摘のとおりである。はじめに費用面についてであるが、監督者会議の会場にて同様の質問が出された際に、市貝町より「返金すべき内容であれば対応する」との回答があった。まずは、市貝町に要望を申し出ていただきたい。一方で、他のブロックからも同様の声があがっていることから、本連盟と日本スポーツ協会とで、市貝町に返金を要請することも検討したいと考えている。

次に、以下が、中止に至った経緯および本連盟の見解である。

- 7月2・3日：リハーサル大会を開催。水温の上昇と午後の天候悪化を考慮し、開始時間を早めての実施となった。この時点では、水質の悪化は認められなかった。
- 8月中旬：市貝町実行委員会(以下、市貝町)が、競技会場の水位低下およびアオコの発生を確認した。このため、水位回復に向けた給水ができるよう、町は県に国との調整を要請した。
- 8月30日：競技会場の水質検査を実施し、CODが25mg/lと、水浴基準の8mg/lを大きく上回る結果であった。(本結果は9月7日に市貝町から県水連直井 OWS 委員長に報告)。
- 8月31日：競技会場への給水を開始した。
- 9月上旬：給水により水質の改善およびアオコの繁殖の抑制が見られたが、水浴基準には至らなかった。
- 9月6日：栃木県水泳連盟から、本連盟に上記内容の報告が届いた。
- 9月7日：本連盟から、市貝町にアオコの状況報告と毒性の問題について回答を求めた。
- 9月8日：市貝町が、毒性の有無を検査機関に依頼した(結果は翌日15:00までには判明予定)。合わせて、今後の対応について主催者間で協議を開始。競技会場の現状を確認し、JSPO・本連盟・市貝町・県水連の4者にて、9日のスケジュール変更をすることになった。また、アオコの有毒性が確認された場合とCODが8mg/l以下にならない場合は中止する旨を4者で確認。
- 9月9日：前日から給水を継続したが、水質の改善が見られないため、市貝町入野町長と競技会場をボートで一周して状況を確認した。その後、JSPO・本連盟・市貝町・栃木県・県水連の5者協議を行い、アオコの状況と水質の検査結果がCOD値8mg/l以下にならなかったことから、選手の安全確保のため、主催者間の協議により、満場一致で競技会の中止を決定

した。監督者会議において、本連盟競技委員長（水泳競技役員長）が中止の決定とその理由を説明した。また、町長が挨拶し状況説明と謝罪をした。中止に伴い、全県得点は0点となった。

監督者会議以降の対応として、9月9日17:00～19:00の2時間、AS会場として準備していた日環アリーナ栃木屋内水泳場（宇都宮市）を選手の練習会場とした。また、本連盟では、救済措置として、10月14～16日の日本選手権追加受付を決定し、9月22日までエントリーを受け付けることとした。

中止に至った大きな原因として、市貝町の担当者が、アオコの発生が大会開催に支障が出るとの認識が薄かった点が挙げられる。また、県水連は、現地視察の際にアオコの発生について対策を講じるよう町に要請していたが、市貝町では前任者と後任者の引き継ぎが行われていなかったことも要因のひとつであるように思える。

OWSという持久的能力が求められる競技において、大会に向け心身ともに厳しい練習を重ねてきた選手・監督、さらにOWS選手のリクルーティングにご尽力いただいた各加盟団体の方々のことを思うと、中止という結果に至った事実は断腸の思いである。男子42人、女子42人の計84人の選手が出場予定であり、なかには今年の国体で引退することを決めていた選手もいた。

このようなことは二度とあってはならず、今後本連盟が主催として行うOWS大会においては、関係機関と連絡を徹底し、再発防止に努める所存である。

#### 8. 海なし県における国体OWS競技の会場選定について

先般行われた、日水連による群馬国体に向けたOWS会場候補地の現地視察の際に、十分な説明もないまま視察が打ち切れ、行政担当者も困惑していた。アオコが発生していたためと思われるが、できれば事前に「海なし県用のOWS会場選定基準」のようなものを示してもらいたい。

(回答) 以下のとおり、「公益財団法人日本水泳連盟 国民スポーツ大会・海なし県用OWS競技会場選定基準」を回答する。

#### 【公益財団法人日本水泳連盟 国民スポーツ大会・海なし県用OWS競技会場選定基準】

国民スポーツ大会のオープンウォータースイミングの競技会場は、自然浄化作用のある海や川・湖沼等とする。自然浄化作用のある適した会場がない場合は、水浴場水質判定基準が「可」もしくは「適」の場所で、かつ、アオコの発生等の水質環境悪化の非常時に「給水によりオーバーフローさせることができる」等、人為的な浄化作用が可能な場所とする。なお、国民スポーツ大会OWS競技会場の選定は、開催候補地チェック表（別添資料）に基づいて行う。

### **四国ブロック会議(2022.12.3)高知**

#### 1. 日水連の各委員会への問い合わせ先について

HP上では「jpn-swimming@」の記載はあるが、各委員会へ連絡が取りづらい。HP上で全ての開示は難しいと推測するが、各県事務局には一覧があれば便利だと思う。

(回答) 本連盟の委員はボランティアのため、現状、個人所有のメールアドレスや携帯電話番号を使用して委員会活動を行っている場合が多い。そのため、各委員会の連絡先を開示することは難しいが、業務の効率化を目的に進めている連盟内のシステムインフラ整備にあわせ、本件も改善したいと考えている。もう少しお時間をいただきたい。

#### 2. 日水連からの派遣競技役員の現地競技役員に対する話し方、接し方について

本年度のインターハイの際に、日水連から「競技運営を指導する立場」として派遣された競技役員による地元競技役員に対する話し方や接し方が、人を子馬鹿にしたような「上から目

線」的な印象を強く感じた。地元で長年競技役員を務めてきている人たちに対する感謝や敬意が全く感じられず、「このような言われ方をされては、心を一つにしていい大会にしようという気になれない」、「明日から来たくない」、「もう日水連の大会は引き受けたくない」という声もあがっていた。改善をお願いしたい。

(回答) 本連盟による競技役員の派遣目的は、「全国で統一した大会運営」を目指し、大会を成功裡に終了させることである。ご指摘の点については、「全国で統一した大会運営」への強い思いから、話し方や接し方に配慮が欠けていた可能性が考えられる。地元の競技役員各位の協力あっての大会運営である。改善するよう本連盟内で共有させていただく。

### 3. 栃木国体 OWS の中止について (\*重大事案につき、他ブロックでの質疑応答を転載、共有)

栃木国体 OWS 中止は、本来あってはならないことと考える。ましてや、前日の監督者会議での発表など、選手・指導者を含め、関係者一同、なかなか理解しがたい面がある。

(回答) ご指摘のとおりである。はじめに費用面についてであるが、監督者会議の会場にて同様の質問が出された際に、市貝町より「返金すべき内容であれば対応する」との回答があった。まずは、市貝町に要望を申し出ていただきたい。一方で、他のブロックからも同様の声があがっていることから、本連盟と日本スポーツ協会とで、市貝町に返金を要請することも検討したいと考えている。

次に、以下が、中止に至った経緯および本連盟の見解である。

- 7月2・3日：リハーサル大会を開催。水温の上昇と午後の天候悪化を考慮し、開始時間を早めての実施となった。この時点では、水質の悪化は認められなかった。
- 8月中旬：市貝町実行委員会（以下、市貝町）が、競技会場の水位低下およびアオコの発生を確認した。このため、水位回復に向けた給水ができるよう、町は県に国との調整を要請した。
- 8月30日：競技会場の水質検査を実施し、CODが25mg/lと、水浴基準の8mg/lを大きく上回る結果であった。（本結果は9月7日に市貝町から県水連直井 OWS 委員長に報告）。
- 8月31日：競技会場への給水を開始した。
- 9月上旬：給水により水質の改善およびアオコの繁殖の抑制が見られたが、水浴基準には至らなかった。
- 9月6日：栃木県水泳連盟から、本連盟に上記内容の報告が届いた。
- 9月7日：本連盟から、市貝町にアオコの状況報告と毒性の問題について回答を求めた。
- 9月8日：市貝町が、毒性の有無を検査機関に依頼した（結果は翌日15:00までには判明予定）。合わせて、今後の対応について主催者間で協議を開始。競技会場の現状を確認し、JSPO・本連盟・市貝町・県水連の4者にて、9日のスケジュール変更をすることになった。また、アオコの有毒性が確認された場合とCODが8mg/l以下にならない場合は中止する旨を4者で確認。
- 9月9日：前日から給水を継続したが、水質の改善が見られないため、市貝町入野町長と競技会場をボートで一周して状況を確認した。その後、JSPO・本連盟・市貝町・栃木県・県水連の5者協議を行い、アオコの状況と水質の検査結果がCOD値8mg/l以下にならなかったことから、選手の安全確保のため、主催者間の協議により、満場一致で競技会の中止を決定した。監督者会議において、本連盟競技委員長（水泳競技役員長）が中止の決定とその理由を説明した。また、町長が挨拶し状況説明と謝罪をした。中止に伴い、全県得点は0点となった。

監督者会議以降の対応として、9月9日17:00~19:00の2時間、AS会場として準備していた日環アリーナ栃木屋内水泳場（宇都宮市）を選手の練習会場とした。また、本連盟では、救済措置として、10月14~16日の日本選手権追加受付を決定し、9月22日までエントリーを受け付けることとした。

中止に至った大きな原因として、市貝町の担当者が、アオコの発生が大会開催に支障が出るとの認識が薄かった点が挙げられる。また、県水連は、現地視察の際にアオコの発生について対策を講じるよう町に要請していたが、市貝町では前任者と後任者の引き継ぎが行われていなかったことも要因のひとつであるように思える。

OWS という持久的能力が求められる競技において、大会に向け心身ともに厳しい練習を重ねてきた選手・監督、さらに OWS 選手のリクルーティングにご尽力いただいた各加盟団体の方々のことを思うと、中止という結果に至った事実は断腸の思いである。男子 42 人、女子 42 人の計 84 人の選手が出場予定であり、なかには今年の国体で引退することを決めていた選手もいた。

このようなことは二度とあってはならず、今後本連盟が主催として行う OWS 大会においては、関係機関と連絡を徹底し、再発防止に努める所存である。

## 中国ブロック会議(2023.1.15)島根

### 1. 地域スポーツ団体等の中体連主催大会の出場について

12 月はじめに日本中体連から各都道府県の中体連に通知があった。中学校側の取組はこれにより情報を得ることができた。日本水泳連盟の立場からの情報を提供いただきたい。

(回答) 日本中体連水泳競技部との合同会議より、地域スポーツ団体等からの参加要件案を以下のとおりとした。

- ・地域スポーツ団体等が(公財)日本水泳連盟への団体登録が完了していること。また、同じ内容で都道府県中学校体育連盟に登録していること(都道府県中学校体育連盟への登録の方法および登録費は、それぞれの中体連の方針による)。
- ・地域スポーツ団体等の登録所在地の都道府県から参加すること。
- ・地域スポーツ団体等で全国中学校水泳競技大会につながる予選大会に参加する場合、在籍中学校での大会参加は認めない。その逆も同様である。
- ・全国中学校水泳競技大会につながる予選大会(郡市大会等も含む)の申込締切から本大会終了まで出場団体の変更はできない。
- ・全国中学校水泳競技大会の要項にしたがうこと。

### 2. 競技役員 A 級審査について

合格基準が不透明で不合格者の得点が不明のため、なぜ不合格になったかがわからない。

(回答) プライバシーの関係から得点は未公表としているが、ご指摘については、何らかの方法で改善するよう検討したい。

### 3. AQUA ルール改正に伴う、AS システムのリニューアルについて

本年、AS は 4 年に一度のルール改正が行われるが、地方の大会運営においては、新ルールに適応したシステムが十分に備わっていない。費用もかかることから、日水連から新ルール対応のシステムのレンタルを行うなど、現状に応じた対応を検討願いたい。

(回答) AS のみならず水球などからも、新ルールおよび現状に即したシステムの展開要望が出されている。費用もかかることから安易な返答は差し控えるが、一旦持ち帰らせていただき、検討させていただきたい。

### 4. ガバナンス・コード「原則 2」の対応について・その 1

ガバナンス・コード「原則 2」に関する日水連の方向性は理解しているが、導入後、1 年目・2 年目などに、導入後の検証をぜひお願いしたい。例えば、女性理事 40%を達成したが、実際にその効果が表れているか、円滑に組織運営がなされているかなどを確認検証願いたい。

(回答) 新たなルールに基づき体制を変更することになるが、当初の予定どおりに全てが進んでいく保証はない。そのため、スタート時に定めた各種計画(例;各地区内のブロックごとの

輪番制)について、経年により曖昧になることのないよう、はじめに書面で残し双方で保管するようにしたいと考えている。

5. ガバナンス・コード「原則 2」の対応について・その 2

実際にいつ頃までに、理事候補者・評議員候補者を具体的に選出・推薦すればいいか。

(回答) 早めに人選いただくようお願いしたい。具体的には、2月末までには人選を固めていただけると助かる。その目安に向けて、今後継続的にブロック選出理事各位と連携を深めさせていただきたい。

6. 世界選手権福岡大会の各種スタッフ募集について

世界選手権福岡大会 OC から各種スタッフの募集依頼が来ているが、積極的に対応すべきか否かを教示願いたい。

(回答) 同大会 OC も財政的に非常に厳しいなか準備を進めている。是非積極的に対応いただきたい。また細部にわたる確認事項については、本連盟競技担当常務理事・鈴木浩二に直接コンタクト願いたい。

7. 競技役員 A 級審査について (再要望)

先ほど競技役員 A 級審査の合否判定についての説明を受けたが、何が原因で不合格になったかを確認できないと、再チャレンジのしようがないのではないか。また、その意欲も起きないのではないか。より解りやすい回答をお願いしたい。

(回答) ご指摘の趣旨に則した回答ができるように、検討を進めさせていただく。

8. ガバナンス・コード「原則 2」に伴う本連盟役員の退任について (懇親会にて)

懇親会の席上、ガバナンス・コード「原則 2」に伴い本連盟役員が退任することについて、中国ブロックとして懸念が示された。

9. 栃木国体 OWS の中止について (\*重大事案につき、他ブロックでの質疑応答を転載、共有)

栃木国体 OWS 中止は、本来あってはならないことと考える。ましてや、前日の監督者会議での発表など、選手・指導者を含め、関係者一同、なかなか理解しがたい面がある。

(回答) ご指摘のとおりである。はじめに費用面についてであるが、監督者会議の会場にて同様の質問が出された際に、市貝町より「返金すべき内容であれば対応する」との回答があった。まずは、市貝町に要望を申し出させていただきたい。一方で、他のブロックからも同様の声があがっていることから、本連盟と日本スポーツ協会とで、市貝町に返金を要請することも検討したいと考えている

次に、以下が、中止に至った経緯および本連盟の見解である。

- 7月 2・3日：リハーサル大会を開催。水温の上昇と午後の天候悪化を考慮し、開始時間を早めての実施となった。この時点では、水質の悪化は認められなかった。
- 8月中旬：市貝町実行委員会（以下、市貝町）が、競技会場の水位低下およびアオコの発生を確認した。このため、水位回復に向けた給水ができるよう、町は県に国との調整を要請した。
- 8月 30日：競技会場の水質検査を実施し、COD が 25mg/l と、水浴基準の 8mg/l を大きく上回る結果であった。（本結果は 9月 7日に市貝町から県水連直井 OWS 委員長に報告）。
- 8月 31日：競技会場への給水を開始した。
- 9月上旬：給水により水質の改善およびアオコの繁殖の抑制が見られたが、水浴基準には至らなかった。
- 9月 6日：栃木県水泳連盟から、本連盟に上記内容の報告が届いた。

- 9月7日：本連盟から、市貝町にアオコの状況報告と毒性の問題について回答を求めた。
- 9月8日：市貝町が、毒性の有無を検査機関に依頼した（結果は翌日15：00までには判明予定）。合わせて、今後の対応について主催者間で協議を開始。競技会場の現状を確認し、JSPO・本連盟・市貝町・県水連の4者にて、9日のスケジュール変更をすることになった。また、アオコの有毒性が確認された場合とCODが8mg/l以下にならない場合は中止する旨を4者で確認。
- 9月9日：前日から給水を継続したが、水質の改善が見られないため、市貝町入野町長と競技会場をボートで一周して状況を確認した。その後、JSPO・本連盟・市貝町・栃木県・県水連の5者協議を行い、アオコの状況と水質の検査結果がCOD値8mg/l以下にならなかったことから、選手の安全確保のため、主催者間の協議により、満場一致で競技会の中止を決定した。監督者会議において、本連盟競技委員長（水泳競技役員長）が中止の決定とその理由を説明した。また、町長が挨拶し状況説明と謝罪をした。中止に伴い、全県得点は0点となった。

監督者会議以降の対応として、9月9日17：00～19：00の2時間、AS会場として準備していた日環アリーナ栃木屋内水泳場（宇都宮市）を選手の練習会場とした。また、本連盟では、救済措置として、10月14～16日の日本選手権追加受付を決定し、9月22日までエントリーを受け付けることとした。

中止に至った大きな原因として、市貝町の担当者が、アオコの発生が大会開催に支障が出るとの認識が薄かった点が挙げられる。また、県水連は、現地視察の際にアオコの発生について対策を講じるよう町に要請していたが、市貝町では前任者と後任者の引き継ぎが行われていなかったことも要因のひとつであるように思える。

OWSという持久的能力が求められる競技において、大会に向け心身ともに厳しい練習を重ねてきた選手・監督、さらにOWS選手のリクルーティングにご尽力いただいた各加盟団体の方々のことを思うと、中止という結果に至った事実は断腸の思いである。男子42人、女子42人の計84人の選手が出場予定であり、なかには今年の国体で引退することを決めていた選手もいた。

このようなことは二度とあってはならず、今後本連盟が主催として行うOWS大会においては、関係機関と連絡を徹底し、再発防止に努める所存である。



5. 表彰関係

(1) 2022 年度有功章

NO.	推薦団体	氏名
1	(一財)北海道水泳連盟	嶺野 和夫
2	(一社)青森県水泳連盟	内海 勉
3	(一社)岩手県水泳連盟	佐藤 秀雄
4	(一財)宮城県水泳連盟	千葉 和喜
5	(一社)秋田県水泳連盟	貝森 登
6	(一社)山形県水泳連盟	高橋 利昌
7	(一社)福島県水泳連盟	小林 毅
8	(一社)茨城県水泳連盟	小泉 恵子
9	栃木県水泳連盟	大和田 博
10	(一社)群馬県水泳連盟	柳瀬 保孝
11	(一社)埼玉県水泳連盟	西川 之博
12	(一社)千葉県水泳連盟	高橋 俊一郎
13	(公財)東京都水泳協会	安田 清治
14	(公財)東京都水泳協会	立川 道宣
15	(一社)神奈川県水泳連盟	樋口 春恵
16	(一社)神奈川県水泳連盟	酒井 篤
17	(一社)山梨県水泳連盟	山下 敬七
18	(一社)長野県水泳連盟	岡部 美恵子
19	(一財)新潟県水泳連盟	金井 哲郎
20	(一社)富山県水泳連盟	宮田 靖英
21	(一社)石川県水泳協会	南出 一康
22	(一財)福井県水泳連盟	森下 正広
23	(一社)静岡県水泳連盟	白畑 文彦
24	(一社)愛知水泳連盟	葛西 昌治
25	(一社)愛知水泳連盟	八神 慎介
26	(一社)三重県水泳連盟	佐野 明彦
27	(一社)岐阜県水泳連盟	杉山 雅郁
28	(一社)滋賀県水泳連盟	陌間 恵子
29	(一社)京都水泳協会	宮崎 元
30	(一財)大阪水泳協会	新井 昌昭
31	(一財)大阪水泳協会	中道 克弥
32	(一社)兵庫県水泳連盟	大田 俊也
33	(一社)兵庫県水泳連盟	寺田 雅裕
34	(一社)奈良県水泳連盟	浦井 文彦

NO.	推薦団体	氏名
35	(一社)和歌山県水泳連盟	中野 咲子
36	(一財)鳥取県水泳連盟	本田 貴志
37	(一財)島根県水泳連盟	大澤 明希子
38	NPO法人 岡山県水泳連盟	藤原 勝馬
39	(一財)広島県水泳連盟	八津川 道彦
40	(一財)山口県水泳連盟	杉村 敦彦
41	(一社)香川県水泳協会	渡邊 治郎
42	(一社)徳島県水泳連盟	中島 茂輝
43	(一社)愛媛県水泳連盟	佐相 和希
44	(一社)高知県水泳連盟	徳田 毅
45	(一社)福岡県水泳連盟	吉田 清孝
46	(一社)佐賀県水泳連盟	古賀 速水
47	(一社)長崎県水泳連盟	平川 義隆
48	(一社)熊本県水泳協会	岩崎 公治
49	(一社)大分県水泳連盟	渡邊 俊明
50	(一財)宮崎県水泳連盟	矢野 浩司
51	(一社)鹿児島県水泳連盟	山下 万喜子
52	(一社)沖縄県水泳連盟	砂川 昭子
53	(一社)日本スイミングクラブ協会	三宅 泉
54	(一社)日本マスターズ水泳協会	野原 利花
55	競泳委員会	村松 さやか
56	飛込委員会	大久保 一司
57	水球委員会	早川 千春
58	AS委員会	梁瀬 千鶴
59	OWS委員会	守谷 雅之
60	科学委員会	立 正伸
61	医事委員会	渡部 厚一
62	地域指導者委員会	岩原 文彦
63	競技力向上コーチ委員会	寺田 晶裕
64	広報委員会	石田 伸一
65	施設用具委員会	河口 哲也
66	情報システム委員会	三浦 賢司
67	日本泳法委員会	土屋 守史

(2) 選手およびコーチの表彰

①最優秀・優秀選手賞

(最優秀選手)

・競泳

水沼 尚輝 (みずぬま なおき)

26 新潟医療福祉大学職員

(優秀選手)

・競泳

入江 陵介 (いりえ りょうすけ)

33 イトマン東進

武良 竜也 (むら りゅうや)

26 ミキハウス

花車 優 (はなぐるま ゆう)

23 キッコーマン

本多 灯 (ほんだ ともる)

21 アリーナつきみ野スポーツクラブ・  
日本大学(3年)

瀬戸 大也 (せと だいや)

28 TEAM DAIYA

青木玲緒樹 (あおき れおな)

28 ミズノ

大本 里佳 (おおもと りか)

25 全日本空輸(株)

谷川亜華葉 (たにがわ あげは)

19 イトマンスイミングスクール・  
近畿大学(1年)

大橋 悠依 (おおはし ゆい)

27 イトマン東進

・飛込

玉井 陸斗 (たまい りくと)

16 JSS 宝塚・須磨学園高等学校(1年)

三上紗也可 (みかみ さやか)

22 米子 DC・日本体育大学(4年)

金戸 凜 (かねと りん)

19 セントラルスポーツ・日本大学(1年)

・アーティスティックスイミング

乾 友紀子 (いぬい ゆきこ)

32 運動器ケア しまだ病院・

(一社)井村アーティスティックスイミングクラブ

吉田 萌 (よしだ めぐむ)

27 愛知学院大学・ザ、クラブピア・88

安永 真白 (やすなが ましろ)

23 (一社)井村アーティスティックスイミングクラブ

佐藤 友花 (さとう ともか)

21 筑波大学(3年)・

ジョイフルアスレティッククラブ

木島 萌香 (きじま もえか)

23 (株)アース製薬・

(一社)井村アーティスティックスイミングクラブ

比嘉 もえ (ひが もえ)

15 広島市立観音中学校(3年)・

アーティスティックスイミング広島

柳澤 明希 (やなぎさわ あかね)

24 東海東京フィナンシャル・ホールディングス(株)・  
アテナアクアメイツ

藤井 萌夏 (ふじい もか)

18 中京大学中京高等学校(3年)・

ザ、クラブ ピア・88

吉田 理恵 (よしだ りえ)

22 早稲田大学(4年)

ミキハウス東京アーティスティックスイミングクラブ

鈴木ひかり (すずき ひかり)

20 日本体育大学(2年)・アクラブ調布

細川 朝香 (ほそかわ あさか)

22 同志社大学(4年)・

(一社)井村アーティスティックスイミングクラブ

川瀬 由華 (かわせ ゆうか)

21 大手門学院大学(3年)・

(一社)井村アーティスティックスイミングクラブ

佐藤陽太郎 (さとう ようたろう)

18 常総学院高等学校(3年)・

ジョイフルアスレティッククラブ

②東京運動記者クラブ水泳分科会新人賞

花車 優 キッコーマン  
成田 実生 金町 SC・淑徳巣鴨高 (1年)

③スポーツ関係団体表彰

(ア) 日本スポーツ賞 (読売新聞社)

競技団体別最優秀賞 乾 友紀子 運動器ケア しまだ病院・  
(一社)井村アーティスティックスイミングクラブ

④日本記録賞

長水路日本記録賞

(男子)

水沼 尚輝

(女子)

伊與田 萌々 吉田 杏子 廣下 菜月 神野 ゆめ

短水路日本記録賞

(男子)

松元 克央 竹田 涉瑚 本多 灯

(女子)

青木 玲緒樹

(3) 優秀団体および個人の表彰

①全国 JOC ジュニアオリンピックカップ水泳競技大会 優秀クラブ・団体 (夏季大会)

(ア) 最優秀クラブ (夏季大会)

埼玉: スウィンふじみ野スイミングスクール 山梨: ブルーアース甲西

和歌山: 和歌山県立和歌山北高等学校

(イ) 優秀クラブ (夏季大会)

東京: 日本体育大学荏原高等学校

東京: メガロス町田

長野: ISC 駒ヶ根スイミングクラブ

新潟: 上越正和スイミングスクール

愛知: アシスト蟹江

三重: 津トップスイミングクラブ

三重: JSS 白子スイミングスクール

奈良: スポーツクラブ&スパ ルネサンス登美ヶ丘

②全国 JOC ジュニアオリンピックカップ水泳競技大会 優秀クラブ・団体 (春季大会)

(ア) 最優秀クラブ (春季大会)

秋田: サンフルトスイミングクラブ

東京: セントラルウエルネスクラブ成瀬

岐阜: 岐阜スイミングスクール

大阪: スペックスイミングクラブ

鳥取: JSS 米子スイミングスクール

(イ) 優秀クラブ (春季大会)

埼玉: 埼玉スウィンスイミングスクール春日部

千葉: 君津メディカルスポーツセンター

東京: 日本体育大学荏原高等学校

東京: セントラルスポーツ清瀬

東京: セントラルスポーツ成瀬

長野: ISC 高森スイミングクラブ

静岡: 株式会社浜松スポーツセンター

愛知: 特定非営利活動法人ウィル大口スポーツクラブ

三重: 津トップスイミングクラブ

大阪: JSS ガボスイミングスクール

愛媛: ファイブテン新居浜

愛媛: フィッタ松山

佐賀: アクセス・ジャパンスポーツクラブ佐賀

③記念事業並びに栄章規程による優秀団体表彰（第21条1項）

フィットネスクラブウイング五所川原	津島水泳協会
秋田水球クラブ	三重県立四日市中央工業高等学校
霞ヶ浦スイミングクラブ	REDS 岐阜中央スイミングスクール
さいたま市立白幡中学校	長岡スイミングスクール
太田スウィンスイミングスクール	三木市水泳協会
株式会社千葉アスレティックセンター	OEI SWIMMING SCHOOL
株式会社ルネサンス	鳥取水球クラブ
ウォーターメイツスイムクラブ	瀬戸内市立邑久小学校
諏訪市水泳協会	山陽小野田市水泳連盟
株式会社石原スポーツクラブ	特定非営利活動法人ユートピアくびきスポーツクラブ
アピアスポーツクラブ	長崎スイミングクラブ
宇佐美スイミングクラブ	朝日水泳スポーツ少年団

④記念事業並びに栄章規程による優秀団体表彰（第21条2項）

郡山スウィンスイミングスクール	スウィン大宮スイミングスクール南校
スウィン大教スイミングスクール二本松	春日部中央スイミングスクール
古河あかやまスイミングスクール	スウィン大教スイミングスクール・MAT 記念プール
ナガイスイミングスクール玉村校	柏洋スイマーズ江戸川台スクール
東光スイミングスクール	柏洋スイマーズ南スクール
埼玉スウィンスイミングスクール鷺宮	柏洋スイマーズ柏スクール
スウィン大宮スイミングスクール西校	公益財団法人東京都水泳協会
スウィン大教スイミングスクール大宮東	東部スイミングスクール
東松山スイミングスクール	豊川高等学校
スウィン大宮スイミングスクール本校	イトマンスイミングスクール玉出校
埼玉スウィンスイミングスクール	イトマンスイミングスクール西神戸校
スウィン日高スイミングスクール	イトマンスイミングスクール神戸御影校

《印刷・出版物》

月刊水泳 549～560 号

各 7,000 部

《諸会議・行事》

1. 専門委員会・特別委員会

評議員会(定時 1 回、臨時 1 回)	2 回	競技力向上コーチ委員会	12 回
理事会	3 回	水泳教師委員会	11 回
常務理事(定時 10 回、臨時 7 回)	17 回	広報委員会	12 回
委員長会議	10 回	施設用具委員会	11 回
競泳委員会(定時 12 回、臨時 2 回)	14 回	情報システム委員会	10 回
飛込委員会	11 回	総務委員会	3 回
水球委員会	11 回	アスリート委員会	5 回
AS 委員会(定時 12 回、臨時 1 回)	13 回	日本泳法委員会	12 回
OWS 委員会	12 回	生涯スポーツ委員会	12 回
科学委員会	12 回	スポーツ環境委員会	3 回
医事委員会	7 回	次世代構想委員会	3 回
競技委員会	11 回	指導者養成資格審査会	2 回
地域指導者委員会	11 回	特別強化委員会	10 回

2. その他(会議)

日本選手権競泳実行委員会	3 回	JO 実行委員会	12 回
日本選手権飛込実行委員会	1 回	WebSWMSYS 会議	18 回
日本選手権水球実行委員会	2 回	予算ヒアリング	19 回
日本選手権 AS 実行委員会	5 回	オフィシャルサプライヤー会議	1 回
日本選手権 OWS 実行委員会	1 回		
OWS オーシャンズカップ実行委員会	1 回		

3. コーチ会議

競泳 強化コーチ会議	2 回	10/10、2/20 オンライン会議
飛込 強化コーチ会議	1 回	10/1 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE

4. 学生

全国代表者会議	11 回
---------	------

5. その他

全国競技委員長会議	1 回	4/10 オンライン会議
全国情報システム委員長会議	1 回	1/14 オンライン会議

《慶弔関係》

(敬称略)

(慶)

たかぎ じゆん 高木 潤	(一社)青森県水泳連盟 元副会長	黄 綬 褒 章 (業界団体推薦)	2022年4月29日
こむら たかし 小村 堯	(一財)広島県水泳連盟 副会長	瑞 宝 小 綬 章 (地方自治体推薦)	2022年4月29日
おおもも まさたか 大桃 正隆	(公財)日本水泳連盟・参与 (一財)新潟県水泳連盟・副会長	瑞 宝 双 光 章 (地方自治体推薦)	2022年4月29日
すだ くにあき 須田 邦明	(公財)日本水泳連盟・評議員 (一社)埼玉県水泳連盟・理事長	文 部 科 学 省 生涯スポーツ功労者表彰 (地方自治体推薦)	2021年10月11日
のむら みゆき 野村 實	(公財)日本水泳連盟・参与 (一社)兵庫県水泳連盟・名誉会長	旭 日 双 光 章 (地方自治体推薦)	2022年11月3日
ほさか なおひろ 保坂 直廣	(一社)秋田県水泳連盟 顧問	瑞 宝 双 光 章 (地方自治体推薦)	2023年2月1日
いしもり まさひろ 石森 昌治	(一社)埼玉県水泳連盟 理事	文 部 科 学 省 生涯スポーツ功労者表彰 (地方自治体推薦)	2022年10月14日

(弔)

			逝去月日(享年)
くまの さとし 熊野 識	(一社)三重県水泳連盟 元副会長		2021年6月15日 (75)歳
うえはら たけし 上原 健志	(一社)沖縄県水泳連盟 理事		2021年12月28日 (71)歳
しばはら あきひこ 芝原 朝彦	(一社)三重県水泳連盟 元副会長		2022年2月4日 (82)歳
うあくさ たむつ 植草 完	(一社)千葉県水泳連盟 副会長		2022年3月25日 (67)歳
わき あきら 脇 明	(一社)滋賀県水泳連盟 元会長		2022年4月4日 (87)歳
やまだ きよしげ 山田 清繁	(一社)埼玉県水泳連盟 副会長		2022年5月4日 (70)歳
いしい ひろし 石井 宏	(一社)神奈川県水泳連盟 元副理事長・前強化委員長		2022年6月10日 (70)歳
たなか たいきち 田中 令吉	(一社)愛知県水泳連盟 顧問		2022年4月27日 (90)歳
よしだ しげひこ 吉田 重彦	(一社)京都水泳協会 参与		2022年5月21日 (87)歳
なか くにお 中 邦夫	(一社)神奈川県水泳連盟 参与		2022年6月27日 (73)歳
いわはし やよい 岩橋 彌生	(公財)日本水泳連盟 参与		2022年7月14日 (85)歳
たかい へいほ 高井 平八	(公財)日本水泳連盟 (一社)静岡県水泳連盟 顧問 名誉顧問		2022年7月28日 (93)歳
やまなか みちお 山中 道男	(公財)日本水泳連盟 (一財)大阪水泳協会 参与 名誉会長		2022年7月31日 (78)歳
なかむら かずお 中村 一雄	(一社)富山県水泳連盟 参与		2022年8月2日 (83)歳

なかざわ 中澤	まさはる 正治	(公財)日本水泳連盟 (一社)長野県水泳連盟	会賓 副会長	2022年9月3日	(78)歳
うえやなぎ 上柳	としろう 敏郎	(公財)日本水泳連盟	監事	2022年9月20日	(65)歳
のいり 野入	ひろよし 弘良	(一社)鹿児島県水泳連盟	元水球委員長	2022年9月26日	(88)歳
おおはし 大橋	まさゆき 正幸	(一社)静岡県水泳連盟	常務理事	2022年10月10日	(71)歳
いとう 伊藤	りょうじ 良二	(一社)青森県水泳連盟	元副会長	2022年10月29日	(72)歳
ひらい 平井	けんきち 顕吉	(公財)日本水泳連盟	顧問	2022年11月15日	(89)歳
にしだ 西田	けんじ 憲治	(一社)三重県水泳連盟	副会長	2022年12月8日	(75)歳
あきの 浅野	みつる 満	(公財)日本水泳連盟 (一社)愛知水泳連盟	会賓 参与	2022年12月19日	(89)歳
さとう 佐藤	よしお 良夫	(公財)日本水泳連盟 (一財)新潟県水泳連盟	参与 会長	2023年1月1日	(86)歳
よこち 横地	しんたろう 森太郎	(公財)日本水泳連盟	会賓	2023年1月15日	(87)歳
いまむら 今村	かいつく 魁次	(一社)青森県水泳連盟	元副会長	2023年1月29日	(85)歳
おかもと 岡本	あきら 明	(一社)高知県水泳連盟	顧問	2023年2月11日	(78)歳
はしづめ 橋爪	しろう 四郎	(公財)日本水泳連盟	顧問	2023年3月9日	(94)歳